

# 2022 単位修得要領

京都女子大学

「2022 単位修得要領」は、2022 年度に入学した学生が卒業するために必要な学的事項を記載した冊子です。回生が変わっても、卒業するまで使用します。大切に保管してください。

カリキュラムは、年次の途中で変更になることがあります。

自分の入学年度以外の年度に発行された単位修得要領等は、内容が異なりますので参考にしないでください。

京都女子大学 HP（在学生のページ）に単位修得要領が掲載されています。



## はじめに

「2022 単位修得要領」には、学生の皆さんが、自分自身でこの4年間の学生生活を計画し、実現していくために、欠かすことができない、基本的かつ重要な情報がまとめられています。

「単位修得要領」は、Ⅰ. 京都女子大学のカリキュラム、Ⅱ. 履修科目表・カリキュラムマップ、Ⅲ. 免許・諸資格、Ⅳ. 京都女子大学履修要項、等が記載されています。

大学では、「学則」や諸規定で定められたルールに従って、学生自身が自分の判断で授業科目を選択し、履修登録をして学修を進めていかなければなりません。

所属する学部・学科・専攻の教育課程の目的に応じて卒業に必要な単位数があり、必ず履修しなければならない科目がありますが、希望する進路や興味・関心に応じて履修する選択科目も多く開講されています。また、資格取得を希望する人は、その資格ごとに定められた科目を履修しなければなりません。

今、大学では「学びの質」が問われています。1年間に登録できる単位数に上限を設けています（CAP制）。これは、授業時間に学ぶだけでなく、その科目の授業を受けるための準備や関心のある事柄について、理解を深める学習の時間を確保し、学びを深める必要があるからです。修得した単位数の多さではなく、大学でどのような力を身につけたのか、何ができるようになったのか、社会で通用する力を確実に身につけてきているのか等、「自ら考え行動する人材」を社会は求めています。自分で責任をもって登録し、学習目標に沿って確実に力をつけていってください。

「単位修得要領」や、京女ポータルで公開している「シラバス（授業計画書）」を十分に読んで、時間割表を見ながら、自分自身で一年間の履修計画をしっかりと立て、確実に、学修を進めてください。シラバスには、授業の到達目標、カリキュラムマップの6つの能力、授業の概要や計画、時間外学習等について記載してありますので、熟読して、授業に臨んでください。

皆さん一人ひとりの夢や希望がかなえられるよう、この「単位修得要領」を卒業まで手元において活用し、学びを積み重ね、「一生つづくチカラ」をつけていくことを望みます。

京都女子大学において、4年間有意義な学生生活を送れることを、期待しています。

# 2022 単位修得要領 目次

## I. 京都女子大学のカリキュラム

卒業に必要な単位数	P.2
履修について	P.3
履修登録単位数の上限 (CAP 制)、カリキュラムマップ、ナンバリング	
他大学で修得した単位の認定について	P.7
成績評価について	P.8
京都女子大学副専攻プログラム	P.9

## II. 履修科目表・カリキュラムマップ

共通領域	P.16
諸課程履修科目	P.24
専門領域	
文学部	
国文学科	P.29
英文学科	P.32
史学科	P.35
発達教育学部	
教育学科教育学専攻	P.40
教育学科養護・福祉教育学専攻	P.43
教育学科音楽教育学専攻	P.45
児童学科	P.48
心理学科	P.50
家政学部	
食物栄養学科	P.52
生活造形学科	P.54
現代社会学部	
現代社会学科	P.58
法学部	
法学科	P.64

## III. 免許・諸資格

教職課程	P.69
教員免許の取得にあたって	P.70
教員免許の科目履修表	P.71
諸資格	P.97
諸資格の科目履修表	P.98

IV. 京都女子大学 履修要項	P.116
-----------------	-------

# I. 京都女子大学のカリキュラム

詳細については履修要項（P.116～）を熟読してください。

# 卒業に必要な単位数

卒業するためには、所定の授業科目を履修し合計 132 単位以上の修得が必要です。(履修要項第 1 条)

領域	科目区分	卒業要件単位数			
		必修	選択		
共通領域	仏教学	8 単位	「共通領域」から自由に 6 単位選択		
	言語コミュニケーション科目	8 単位			
	情報コミュニケーション科目	2 単位			
	健康科学科目	2 単位			
	京女の教養学 キャリア形成科目 連携活動科目 学科・専攻開放科目 他大学単位修得科目	—			
	専門領域	専門科目		72 単位 (※) 必修・選択含む	「共通領域」及び 「専門領域」から 更に 34 単位以上 選択
	合計	132 単位 (= 網掛け合計)			

(※) 各学科・専攻の専門科目については P.29～66 参照

## － 表の見方 －

132 単位のうち、共通領域 計 26 単位 (下図①・②) 及び専門領域 72 単位 (下図③) は各科目区分の定めるところとし、残りの 34 単位 (下図④) については、共通領域・専門領域から自由に選択し、履修することができます。

領域	科目区分	卒業要件単位数		
		必修	選択	
共通領域	① 仏教学	8 単位	② 「共通領域」から自由に 6 単位選択	
	言語コミュニケーション科目	8 単位		
	情報コミュニケーション科目	2 単位		
	健康科学科目	2 単位		
	京女の教養学 キャリア形成科目 連携活動科目 学科・専攻開放科目 他大学単位修得科目	—		
	③ 専門領域	72 単位 (※) 必修・選択含む		④ 「共通領域」及び 「専門領域」から 更に 34 単位以上 選択
	合計	132 単位 (= 網掛け合計)		

① 共通領域 必修 20 単位	+	② 共通領域 選択 6 単位	+	③ 専門領域 72 単位	+	④ 共通領域・専門領域 34 単位	= 132 単位
--------------------	---	-------------------	---	-----------------	---	----------------------	----------

※諸課程履修科目 (P. 24～25) は卒業要件に含みません。

# 履修について

大学の授業を履修するためには、毎年度当初に履修登録の手続きを行う必要があります。

(履修要項第4条)

履修登録とは、定められた期間にその年度に履修する科目を登録する手続きのことです。

履修登録をしていない授業に出席しても単位を修得することはできません。

履修登録にあたっては、P.2に掲載した「卒業に必要な単位数」を熟知し、4年間で必要単位(132単位)を修得できるよう、履修計画を立てたうえで行ってください。

また、定められた期間外に履修登録・修正を行うことはできません。履修登録忘れや履修登録手続きの不備による不利益は学生本人の責任となりますので注意してください。

## 履修登録単位数の上限 (CAP制)

本学では、1年間に履修登録できる単位数に上限を設ける「CAP制」を導入しています。

卒業要件として修得すべき単位のうち、1年間に履修登録できる単位数の上限は49単位です。

上限を超えて履修登録することはできません。

$$\boxed{\text{前期履修登録単位数}} + \boxed{\text{後期履修登録単位数}} = 49 \text{ 単位まで}$$

上限は登録単位数の合計であり、修得単位数の合計ではありません。

前期終了時点で単位を修得できなかった科目(59点以下又はD評価)があった場合でも、その単位数分の授業科目を後期の履修登録修正期間に追加することはできません。(前期成績の結果により1年間の履修登録単位数の上限が変動することはありません。)

\*卒業年次においても、履修登録単位数の上限は49単位です。注意してください。

\*卒業に必要な単位としてカウントされない科目(「諸課程履修科目」等)は、CAP制の対象外ですので、上限を超えて履修登録することができます。

## <各科目区分の履修登録に伴う確認一覧表>

領域	科目区分	卒業に必要な単位に含まれる科目	CAP制対象科目
共通領域	仏教学	○	○
	言語コミュニケーション科目	○	○(※)
	情報コミュニケーション科目	○	○
	健康科学科目	○	○
	京女の教養学	○	○
	キャリア形成科目	○	○(※)
	連携活動科目	○	○
	学科・専攻開放科目	○	○
	他大学単位修得科目(P.7)	○	○
専門領域	専門科目	○	○(※)
その他	諸課程履修科目	×	対象外

(※) 一部、CAP制の対象外となる科目があります。詳細はP.4を確認してください。

## <CAP 制の対象科目>

卒業に必要な単位としてカウントできる科目は、CAP 制の対象となるのが原則です。

ただし、卒業に必要な単位としてカウントできる科目のうち、卒業論文又は卒業研究、校外実習及び校外研修を中心とする科目及び当該実習指導に関する科目は CAP 制から除外されます。

### ※卒業に必要な単位としてカウントできる科目のうち、CAP 制から除外される科目

領域	科目区分	科目名 (CAP 制の対象外)
共通領域	言語コミュニケーション科目の 〔語学研修科目(集中)〕	言語と文化(1~10)
	キャリア形成科目	職業体験実習
専門領域	<b>全学部 専門科目</b>	<b>卒業論文又は卒業研究</b>
	教育学科教育学専攻 専門科目	教育実習(I、II)、教育実習論(I、II)
		特別支援教育実習、特別支援教育実習論
		社会教育基礎実習、社会教育実習
	教育学科養護・福祉教育学専攻 専門科目	養護教育実習、養護教育実習論
		教育実習
		中学校教育実習
		教育実習論
		看護臨床実習、看護臨床実習指導
		ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導
		スクールソーシャルワーク実習
		スクールソーシャルワーク実習指導
	教育学科音楽教育学専攻 専門科目	教育実習
		中学校教育実習
		教育実習論
		社会教育基礎実習
		社会教育実習
	児童学科 専門科目	保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ
		保育実習Ⅱ、保育実習指導Ⅱ
保育実習Ⅲ、保育実習指導Ⅲ		
教育実習、教育実習論		
社会教育基礎実習		
社会教育実習		
心理学科 専門科目	心理実習	
食物栄養学科 専門科目	給食運営校外実習	
	臨地実習(臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆栄養学、給食経営管理論)	
	臨地実習事前事後指導	
	給食運営校外実習事前事後指導	
生活造形学科 専門科目	テキスタイルアドバイザー実習	
現代社会学科 専門科目	多文化理解実習	
	短期英語研修A、短期英語研修B	

\*この他、本学入学前に他大学で修得した科目や、留学等により単位認定された科目、京女高大連携科目、外国語認定科目など、認定された科目(成績表に「N」と表記される科目)は卒業に必要な単位としてカウントされますが、CAP 制からは除外されます。

\*卒業に必要な単位としてカウントされない科目(「諸課程履修科目」等)は、もともと CAP 制から除外されています。



## カリキュラムマップ

本学では、学位授与の方針（※）として、修得すべき6つの能力を示しています。（表1）

また、P.16以降の履修科目表では、各科目と6つの能力の関連性を「カリキュラムマップ」に示しています。（卒業要件の単位にはならない「諸課程履修科目」を除く。）

各科目においてそれぞれの能力と特に深い関連性のある項目は「◎」、ある程度関連性のある項目は「○」を付しています。

（※）学位授与の方針についてはWeb上に詳細を掲載しています。

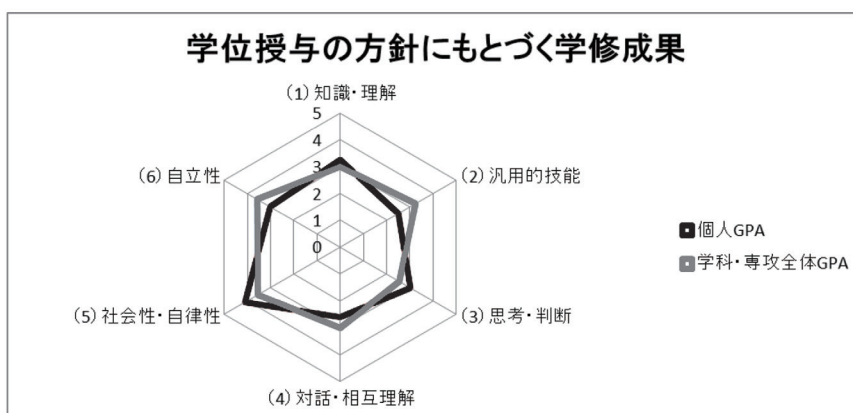
表1

<p><b>1. 知識・理解</b></p> <p>①専門分野について、高度の知識・理解・技能を有している。</p> <p>②人文、社会、自然など、広い教養を有している。</p> <p>③宗教に対する正しい理解と正しい批判力を有している。</p> <p><b>2. 汎用的技能</b></p> <p>①日本語を正確に理解・表現できる。</p> <p>②母語以外の特定の外国語が運用できる。</p> <p>③数量データを含む多様な情報を収集・分析・表現し、活用できる。</p> <p>④情報通信技術（ICT）を活用することができる。</p> <p><b>3. 思考・判断</b></p> <p>①主体的で批判的・合理的な思考を展開できる。</p> <p>②専門分野の知識・理解等に拠りつつ、広い視野と根拠に基づいて判断できる。</p> <p>③主体的に課題を発見・解決できる。</p>	<p><b>4. 対話・相互理解</b></p> <p>①様々な状況に応じた、適切な表現・理解、態度による対話ができる。</p> <p>②対話・議論を通して、他者（異文化も含めて）との相互理解・協調に努めることができる。</p> <p><b>5. 社会性・自律性</b></p> <p>①高い倫理観を備え、市民としての社会的責務に対する自覚を有している。</p> <p>②社会の規範やルールに従って、自らを律して行動できる。</p> <p>③組織の中で、自らの専門的知識・理解・技能、個性や能力を活かして協働できる。</p> <p>④適切なリーダーシップを発揮できる。</p> <p>⑤専門的知識・理解・技能等を活用して、社会に貢献できる。</p> <p><b>6. 自立性</b></p> <p>①卒業後も生涯を通じて学び続けられるよう、自立的な学習能力を身につけている。</p>
---	---

### ーカリキュラムマップを活用した学修成果の可視化についてー

修得した科目の成績から算出された6つの能力ごとのGPAの数値を線をつなぎ、レーダーチャートに表したグラフを、京女ポータルの学修ポートフォリオで確認することができます。

学修成果を視覚的に確認することにより、自身の強みや弱みを知り、履修科目の検討、進路決定や就職活動等に活用することができます。



# ナンバリング

ナンバリングは、学修の順序や当該科目の位置付け・体系性を視覚化するため、全ての開講科目に規則的な番号を付番したものです。

## 例)国文学科開講科目「国文学基礎講座 A」

L1   1   1   1   1   001  
 ①   ②   ③   ④   ⑤   ⑥

- ①:開講元ごとに付与する英字+数字の記号 (例)L1…国文学科)
- ②:学位授与の方針に示された6つの能力のうち、カリキュラムマップが示す、科目と最も関連性の深い能力の区分 (例)1…知識・理解)
- ③:開講年次に合わせて4種類に区分 (例)1…1回生)
- ④:開講形態に合わせて4種類に区分 (例)1…講義)
- ⑤:卒業要件に対して必修もしくは選択に区分 (例)1…必修(※))
- ⑥:整理番号(単位修得要領に掲載される科目の順番に付番)

(※)卒業要件としての必修・選択を示し、履修要項の「必選の別」に合わせます。

### ①開講元識別

共通領域	仏教学	A1	
	言語コミュニケーション科目	英語	B1
		ドイツ語	B2
		フランス語	B3
		中国語	B4
		韓国語	B5
		日本語	B6
	情報コミュニケーション科目	C1	
	健康科学科目	D1	
	京女の教養学	E1	
キャリア形成科目	F1		
連携活動科目	G1		
専門領域	文学部共通専門科目	L0	
	国文学科専門科目	L1	
	英文学科専門科目	L2	
	史学科専門科目	L3	
	教育学科共通科目	M0	
	教育学専攻専門科目	M1	
	養護・福祉教育学専攻専門科目	M2	
	音楽教育学専攻専門科目	M3	
	児童学科専門科目	M4	
	心理学科専門科目	M5	
	食物栄養学科専門科目	N1	
	生活造形学科専門科目	N2	
	現代社会学科専門科目	P1	
	法学科専門科目	Q1	
諸課程	教職課程科目	V1	
	学芸員課程科目	V2	
	司書課程科目	V3	
	日本語教師課程科目	V4	

### ②学位授与の方針との関連識別

知識・理解	1
汎用的技能	2
思考・判断	3
対話・相互理解	4
社会性・自律性	5
自立性	6

※諸課程科目はカリキュラムマップが設定されていない為、「0」と表示されます。

### ③開講学年識別

1回生	1
2回生	2
3回生	3
4回生	4

### ④授業形態識別

講義	1
演習・講読	2
実験・実習	3
その他(卒業論文・卒業研究)	5

### ⑤必選識別

必修	1
選択	2

# 他大学で修得した単位の認定について

大学コンソーシアム京都の単位互換制度を利用し、他大学又は短期大学で修得した単位を「他大学単位修得科目」として本学の卒業に必要な単位に含めることができます。

卒業に必要な単位に含めることができる単位数の上限は、外国語検定試験により認定を受けた科目等の単位数と併せて**60単位**までです。

## 大学コンソーシアム京都の単位互換制度について

大学コンソーシアム京都の単位互換包括協定に加盟している大学の学生が、他の加盟大学が開講する科目を履修でき、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度です。この制度を利用して受講することができる科目を単位互換科目といいます。

単位互換科目の受講は、**2回生及び3回生のみ**可能です。

### ◆単位互換科目の受講に関する注意事項

- ・大学コンソーシアム京都の単位互換制度を利用して修得した単位は、共通領域の科目区分「他大学単位修得科目」の修得単位としてカウントされます。
- ・単位互換科目は、履修登録後に登録を取り消すことができません。
- ・単位互換科目の単位数も、**CAP制（1年間に登録できる単位数の上限）に含まれます。**（※）
- ・単位互換協定により他大学で開講される教職関連科目の単位を修得しても、本学における教員免許取得のための単位として扱うことはできません。

（※）外国語認定科目等の単位数と併せて60単位を超えるものについては、卒業に必要な単位に含まれない為CAP制の対象外となります。

## 国内協定大学留学制度について

本学と協定を結んだ国内の大学に一年間又は半年間留学する制度を利用した場合、本学に学費を支払うことで留学先の学費が免除されます。

協定大学への留学期間は本学在学期間とみなされるため、休学することなく4年で卒業を目指すことができます。また、留学先での修得単位の一部（上限あり）は、授業内容に応じて本学における履修科目の単位として認定されます。

詳細については教務課にお問い合わせください。

## 海外協定大学留学制度について

本学と協定を結んだ海外の大学に一年間又は半年間留学する「協定大学留学」には、留学期間中の本学の学費相当額が協定留学生奨学金として給付される「派遣留学」と、本学に学費を支払うことで留学先の学費が免除される「交換留学」の2種類があります。

協定大学への留学期間は本学在学期間とみなされるため、休学することなく4年で卒業を目指すことができます。また、留学先での修得単位の一部（上限あり）は、授業内容に応じて本学における履修科目の単位として認定されます。

詳細については国際交流課にお問い合わせください。

# 成績評価について

## 成績評価

授業科目の成績評価は、試験やレポート、平常成績等を総合して判断し、上位より SS、S、A、B、C 及び D をもって表示します。(履修要項第 41 条)

また、それぞれの成績評価の GP (グレードポイント) から算出した単位当たりの平均値 (GPA) を成績通知書に記載します。(履修要項第 42 条)

## GPA

GPA とは「Grade Point Average」の略で、履修登録したすべての科目の成績評価を GP に置き換え、算出した平均値 (Average) のことをいいます。教職課程の履修、奨学金受給者の選出や就職活動、留学生選考等に使用する大切な基準です。

- ・卒業要件に含まれない科目の成績も GPA の計算に含まれます。
- ・100 点満点の採点を行わず、成績評価を「合格 (G) 又は不合格 (D)」、「認定 (N)」で表記する科目は、GP が算出できないため、GPA の算出対象科目から除外します。

### (1) GP (Grade Point) 算出方法

100 点満点による採点結果 (素点) から GP を求めます。

$$GP = \text{採点結果 (素点)} \times 1/10 - 5$$

種別	採点結果	成績評価	GP	判定の基準
合格	100 点	SS	5.0	授業科目の目標を完全に達成している。
	90 点～99 点	S	4.0～4.9	授業科目の目標をほぼ完全に達成している。
	80 点～89 点	A	3.0～3.9	授業科目の目標を相応に達成している。
	70 点～79 点	B	2.0～2.9	授業科目の目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。
	60 点～69 点	C	1.0～1.9	授業科目の目標の最低限を満たしている。
	G	G	—	100 点法では評価できない科目の合格。(※)
不合格	D 0 点～59 点	D	0.0	授業科目の目標の最低限を満たしていない。
単位認定合格	N	N	—	他大学等で修得した単位。 本学入学前に修得した単位。

(※) 教職実践演習及び教育実習等の学外実習・研修にかかる授業科目の成績評価は、G、D をもって表わし、G を合格とする。

### (2) GPA の算出方法

$$GPA = \frac{[(\text{登録科目の単位数}) \times (\text{登録科目で得た GP})] \text{ の総和}}{(\text{登録科目の単位数}) \text{ の総和}}$$

## 学修面談

GPA が一定基準 (※) を下回った場合、本学教員による面談を行います。(履修要項第 42 条の 2)

(※) GPA の基準 (GPA の基準は変更になることがあります。)

- ・当該学期の GPA が 2.0 未満の場合
- ・その他、学科・専攻において特に面談が必要と認めた場合

# 京都女子大学副専攻プログラム

副専攻プログラムとは、学部・学科等の専門領域以外の特定分野や特定課題について、授業科目を体系的に編成したプログラムであり、複眼的な視野を持って社会で活躍する人材を育成することを目的とした、全学共通のプログラムです。

2022年度入学生の副専攻プログラムには『仏教プログラム』と『女性地域リーダー養成プログラム』があります。それぞれに定められた科目を履修し単位を修得することで、当該副専攻プログラムの「修了証」が授与されます。

## 履修方法

各副専攻プログラムの修了に必要な科目は全て共通領域の科目であり、全学生が履修することができます。また、修得した単位は卒業要件に含めることができます。

各副専攻プログラムの科目表は P.10～11 に掲載しています。

※副専攻プログラムの履修は、申込みの必要はありません。また、履修にかかる費用等も発生しません。各副専攻プログラムの科目表に従い、4年間で所定の科目を履修してください。

## 修了証の授与

副専攻プログラムを修了した学生に対して、その学修成果を認定し、京都女子大学副専攻プログラム修了証が学長より授与されます。修了証の発行を希望する者は、3回生終了時又は4回生終了時に修了証発行申請を行う必要があります。

### 修了証発行申請時期と修了証授与時期について

3回生終了時（2025年3月）に申請 ⇒ 4回生4月に授与

4回生終了時（2026年3月）に申請 ⇒ 卒業式に授与

※修了証は再発行できません。

※成績表に副専攻プログラム名は掲載されません。履修した科目は、副専攻プログラムとしてではなく、共通領域の科目として掲載されます。

※副専攻プログラムの修了を証明するものは「修了証」のみとなります。

### 京都女子大学副専攻プログラム規程

(目的)

第1条 この規程は、京都女子大学学則第14条の2の規定に基づき、京都女子大学副専攻プログラム（以下、「副専攻」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(副専攻の区分及び修得単位)

第2条 副専攻の区分及び修了に必要な単位数は、別に定める。

(履修)

第3条 副専攻の履修に必要な手続きについては、本学の履修要項を準用する。

(修了認定)

第4条 副専攻の修了認定は、当該プログラムを運営するセンター・研究所または委員会の判定を経て、学長が行う。

2 学長は、副専攻の修了認定を受けた者に修了証を授与する。

(改廃)

第5条 この規程の改廃は、大学部局長会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は平成31年4月1日から施行し、平成31年度入学生から適用する。

## 京都女子大学副専攻 仏教プログラム

本学は親鸞聖人の体せられた仏教精神にもとづく教育を建学の精神に掲げています。その理念を達成するうえで、仏教学の学修は中核に位置づけられます。必修科目で学ぶ基礎的な知識をもとに、より発展的・実践的な科目群において学びを深め、体系的な学修を行うことで、自己と社会のあり方を深く洞察できる心豊かな人間を育成することを目的としています。

### 到達目標

必修科目である「仏教学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」において、釈尊と親鸞聖人の生涯及びその教えについて基礎的な知識を修得します。加えて、仏教の思想と文化、あるいは現代社会の諸問題を仏教的視点から考察する「アドバンスト科目」及び指定された科目を履修し、体系的な知識を修得することを目指します。これにより仏教を通じて自己と社会のあり方を問う視点を身につけます。

### 仏教プログラム 科目表

卒業必修科目 8 単位を含めて合計 16 単位以上修得すること。

科目名	単位数	科目区分	備考	
仏教学ⅠA	2	仏教学 卒業必修科目	8 単位必修	
仏教学ⅠB	2			
仏教学ⅡA	2			
仏教学ⅡB	2			
現代と仏教A	2	仏教学 アドバンスト科目	合計 8 単位以上 修得すること	
現代と仏教B	2			
仏教文学A	2			
仏教文学B	2			
仏教文化A	2			
仏教文化B	2			
仏教思想A	2			
仏教思想B	2			
外国語で読む仏教A	2			
外国語で読む仏教B	2			
地域と仏教演習	2			
社会と仏教特論	2			
日本文化特殊講義A	2			学科・専攻開放科目 (国文学科提供)
日本文化特殊講義B	2			
合計 16 単位以上修得すること。				

## 京都女子大学副専攻 女性地域リーダー養成プログラム

女性地域リーダー養成プログラムは、各学科・専攻で修得した専門性に加えて、地域課題の発見能力、問題解決能力、実践力を備えた行動できる女性、地域のリーダーとなりうる女性の養成を目的としています。

### 到達目標

導入科目である「連携活動入門」では、大学・企業をはじめとして社会全体で連携活動が求められている背景、及び連携活動に従事するにあたって知っておくべき基礎知識を学びます。連携活動科目及び指定された科目の履修を通して、各種の連携活動に関する専門知識を修得します。

「連携課題研究」において、連携活動に求められる実践力を養います。連携活動を体系的に学ぶことによって、地域社会の担い手として、地域社会が抱える諸課題を考察し、その解決に対応できる科学的思考力を身につけます。

### 女性地域リーダー養成プログラム 科目表

必修科目を含めて合計 12 単位以上修得すること。

科目名	単位数	科目区分	備考
連携活動入門	2	連携活動科目	2 単位必修
地域連携講座 A 1	2		地域連携講座 1 科目、産学連携講座 1 科目を含む計 4 科目 8 単位以上修得すること
地域連携講座 A 2	2		
地域連携講座 B 1	2		
地域連携講座 B 2	2		
産学連携講座 A 1	2		
産学連携講座 A 2	2		
産学連携講座 A 3	2		
産学連携講座 B 1	2		
産学連携講座 B 2	2		
産学連携講座 B 3	2		
地域社会学	2	学科・専攻開放科目 (現代社会学科提供)	
民俗文化論	2		
教養科目 C (京都を学ぶ)	2	京女の教養学	
連携課題研究	2	連携活動科目	2 単位必修
合計 12 単位以上修得すること			





## Ⅱ. 履修科目表・カリキュラムマップ

---

### 目次

共通領域 (全学科・専攻共通の科目)	.....	P.16
諸課程履修科目 (全学科・専攻共通の科目)	.....	P.24
専門領域		
文学部	国文学科	..... P.29
	英文学科	..... P.32
	史学科	..... P.35
発達教育学部	教育学科 教育学専攻	..... P.40
	教育学科 養護・福祉教育学専攻	..... P.43
	教育学科 音楽教育学専攻	..... P.45
	児童学科	..... P.48
	心理学科	..... P.50
家政学部	食物栄養学科	..... P.52
	生活造形学科	..... P.54
現代社会学部	現代社会学科	..... P.58
法学部	法学科	..... P.64



# 共通領域

## 全学共通

### 仏教学

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	相互理解・対話	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
A11111001	仏教学ⅠA	必	2	2									◎					○
A11111002	仏教学ⅠB	必	2		2								◎					○
A11311003	仏教学ⅡA	必	2					2					◎					○
A11311004	仏教学ⅡB	必	2						2				◎					○
A13212005	現代と仏教A	選	2		2									◎				○
A13212006	現代と仏教B	選	2			2								◎				○
A11212007	仏教文学A	選	2		2								◎	○				
A11212008	仏教文学B	選	2			2							◎	○				
A11212009	仏教文化A	選	2		2								◎	○				
A11212010	仏教文化B	選	2			2							◎	○				
A11212011	仏教思想A	選	2		2								◎	○				
A11212012	仏教思想B	選	2			2							◎	○				
A11222013	外国語で読む仏教A	選	2		2								◎	○				
A11222014	外国語で読む仏教B	選	2			2							◎	○				
A11222015	地域と仏教演習	選	2			2							◎			○		
A15212016	社会と仏教特論	選	2			2							○				◎	

アドバンスト科目

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

### 言語コミュニケーション科目

「英語」と「ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうち一外国語」のそれぞれにつき、ⅠA1、ⅠA2、ⅠB1、ⅠB2の合計8科目8単位を修得しなければならない。

#### 英語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	相互理解・対話	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
B12121001	英語ⅠA1	必	1	1									○	◎				
B12121002	英語ⅠA2	必	1	1									○	◎				
B12121003	英語ⅠB1	必	1		1								○	◎				
B12121004	英語ⅠB2	必	1		1								○	◎				
B12222005	英語ⅡA1	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222006	英語ⅡA2	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222007	英語ⅡA3	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222008	英語ⅡA4	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222009	英語ⅡA5	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222010	英語ⅡA6	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222011	英語ⅡA7	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222012	英語ⅡA8	選	1	(1)		1							○	◎				
B12222013	英語ⅡB1	選	1		(1)		1						○	◎				
B12222014	英語ⅡB2	選	1		(1)		1						○	◎				
B12222015	英語ⅡB3	選	1		(1)		1						○	◎				
B12222016	英語ⅡB4	選	1		(1)		1						○	◎				
B12222017	英語ⅡB5	選	1		(1)		1						○	◎				
B12222018	英語ⅡB6	選	1		(1)		1						○	◎				
B12222019	英語ⅡB7	選	1		(1)		1						○	◎				
B12222020	英語ⅡB8	選	1		(1)		1						○	◎				
B12322021	英語ⅢA1	選	1			(1)		1					○	◎				
B12322022	英語ⅢA2	選	1			(1)		1					○	◎				
B12322023	英語ⅢB1	選	1				(1)		1				○	◎				
B12322024	英語ⅢB2	選	1				(1)		1				○	◎				

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

英語Ⅱの科目は1回生から履修することができる。英語Ⅲの科目は2回生から履修することができる。

ドイツ語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自律性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
B22122025	ドイツ語 I A1	選	1	1																ドイツ語を選択した者は必修
B22122026	ドイツ語 I A2	選	1	1																
B22122027	ドイツ語 I B1	選	1		1															
B22122028	ドイツ語 I B2	選	1		1															
B22222029	ドイツ語 II A1	選	1	(1)		1														修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。  ドイツ語Ⅲの単位を修得するためには、ドイツ語Ⅱ6科目のうち、ドイツ語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。
B22222030	ドイツ語 II A2	選	1	(1)		1														
B22222031	ドイツ語 II A3	選	1	(1)		1														
B22222032	ドイツ語 II B1	選	1		(1)		1													
B22222033	ドイツ語 II B2	選	1		(1)		1													
B22222034	ドイツ語 II B3	選	1		(1)		1													
B22322035	ドイツ語ⅢA1	選	1			(1)		1												
B22322036	ドイツ語ⅢA2	選	1			(1)		1												
B22322037	ドイツ語ⅢB1	選	1				(1)		1											
B22322038	ドイツ語ⅢB2	選	1				(1)		1											
B22422039	ドイツ語ⅢA3	選	1					(1)		1										
B22422040	ドイツ語ⅢB3	選	1						(1)		1									

フランス語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自律性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
B32122041	フランス語 I A1	選	1	1																フランス語を選択した者は必修
B32122042	フランス語 I A2	選	1	1																
B32122043	フランス語 I B1	選	1		1															
B32122044	フランス語 I B2	選	1		1															
B32222045	フランス語 II A1	選	1	(1)		1														修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。  フランス語Ⅲの単位を修得するためには、フランス語Ⅱ6科目のうち、フランス語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。
B32222046	フランス語 II A2	選	1	(1)		1														
B32222047	フランス語 II A3	選	1	(1)		1														
B32222048	フランス語 II B1	選	1		(1)		1													
B32222049	フランス語 II B2	選	1		(1)		1													
B32222050	フランス語 II B3	選	1		(1)		1													
B32322051	フランス語ⅢA1	選	1			(1)		1												
B32322052	フランス語ⅢA2	選	1			(1)		1												
B32322053	フランス語ⅢB1	選	1				(1)		1											
B32322054	フランス語ⅢB2	選	1				(1)		1											
B32422055	フランス語ⅢA3	選	1					(1)		1										
B32422056	フランス語ⅢB3	選	1						(1)		1									

中国語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自律性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
B42122057	中国語 I A1	選	1	1																中国語を選択した者は必修
B42122058	中国語 I A2	選	1	1																
B42122059	中国語 I B1	選	1		1															
B42122060	中国語 I B2	選	1		1															
B42222061	中国語 II A1	選	1	(1)		1														修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。  中国語Ⅲの単位を修得するためには、中国語Ⅱ6科目のうち、中国語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。
B42222062	中国語 II A2	選	1	(1)		1														
B42222063	中国語 II A3	選	1	(1)		1														
B42222064	中国語 II B1	選	1		(1)		1													
B42222065	中国語 II B2	選	1		(1)		1													
B42222066	中国語 II B3	選	1		(1)		1													
B42322067	中国語ⅢA1	選	1			(1)		1												
B42322068	中国語ⅢA2	選	1			(1)		1												
B42322069	中国語ⅢB1	選	1				(1)		1											
B42322070	中国語ⅢB2	選	1				(1)		1											
B42422071	中国語ⅢA3	選	1					(1)		1										
B42422072	中国語ⅢB3	選	1						(1)		1									

コリア語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解	知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
B52122073	コリア語 I A1	選	1	1															コリア語を選択した者は必修	
B52122074	コリア語 I A2	選	1	1																
B52122075	コリア語 I B1	選	1		1															
B52122076	コリア語 I B2	選	1		1															
B52222077	コリア語 II A1	選	1	(1)		1													修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。 コリア語Ⅲの単位を修得するためには、コリア語Ⅱ6科目のうち、コリア語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。	
B52222078	コリア語 II A2	選	1	(1)		1														
B52222079	コリア語 II A3	選	1	(1)		1														
B52222080	コリア語 II B1	選	1		(1)		1													
B52222081	コリア語 II B2	選	1		(1)		1													
B52222082	コリア語 II B3	選	1		(1)		1													
B52322083	コリア語ⅢA1	選	1			(1)		1												
B52322084	コリア語ⅢA2	選	1			(1)		1												
B52322085	コリア語ⅢB1	選	1				(1)		1											
B52322086	コリア語ⅢB2	選	1				(1)		1											
B52422087	コリア語ⅢA3	選	1					(1)		1										
B52422088	コリア語ⅢB3	選	1						(1)		1									

日本語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解	知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
B62122099	日本語 I A1	選	1	1															日本語は外国人留学生に限り履修することができる。	
B62122100	日本語 I A2	選	1	1																
B62122101	日本語 I B1	選	1		1															
B62122102	日本語 I B2	選	1		1															

外国人留学生は、言語コミュニケーション科目として母語を履修することはできない。  
 英語を母語とする外国人留学生は、「ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語、日本語」より二外国語を選択し、それぞれにつき、I A1、I A2、I B1、I B2を修得して言語コミュニケーション科目の必修単位(合計8科目8単位)とすること。

語学研修科目

修得単位のうち、8単位までを卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解	知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
B12122089	言語と文化1	選	2					2											(英語 国内)	
B12122090	言語と文化2	選	4					4											(英語 カナダ)	
B12122091	言語と文化3	選	4					4											(英語 英国)	
B12122092	言語と文化4	選	4					4											(英語 オーストラリア)	
B42122093	言語と文化5	選	4					4											(中国語 中国)	
B22122094	言語と文化6	選	4					4											(ドイツ語 オーストリア)	
B32122095	言語と文化7	選	4					4											(フランス語 フランス)	
B52122096	言語と文化8	選	4					4											(コリア語 韓国)	
B12122097	言語と文化9	選	2					2											(英語 米国:ハワイ)	
B42122098	言語と文化10	選	2					2											(中国語 台湾)	

情報コミュニケーション科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解	知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
C12121001	情報リテラシー基礎	必	2	2																
C12122002	情報リテラシー応用	選	2		2															
C12222003	情報コミュニケーションA	選	2				2												アドバンスト科目 修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。 アドバンスト科目は、情報リテラシー基礎の単位を修得しなければ履修できない。	
C12222004	情報コミュニケーションB	選	2			2														
C12222005	情報コミュニケーションC	選	2				2													
C12222006	情報コミュニケーションD	選	2			2														
C12222007	情報コミュニケーションE	選	2				2													
C12222008	情報コミュニケーションF	選	2			2														
C12222009	情報コミュニケーションG	選	2			2														
C12222010	情報コミュニケーションH	選	2				2													

健康科学科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
D15111001	運動と健康科学	必	2	2	(2)												◎			
D15132002	スポーツ実践	選	1	1	(1)												◎			

京女の教養学

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
E11112001	教養科目A(文学と思想1)	選	2		2												◎			
E11112002	教養科目A(文学と思想2)	選	2		2												◎			
E11112003	教養科目A(言語と文化1)	選	2		2												◎			
E11112004	教養科目A(言語と文化2)	選	2		2												◎			
E11112005	教養科目A(歴史と文化1)	選	2		2												◎			
E11112006	教養科目A(歴史と文化2)	選	2		2												◎			
E11112007	教養科目A(芸術と表現1)	選	2		2												◎			
E11112008	教養科目A(芸術と表現2)	選	2		2												◎			
E11112009	A群 教養科目A(市民と社会1)	選	2		2												◎			
E11112010	教養科目A(市民と社会2)	選	2		2												◎			
E11112011	教養科目A(福祉とくらし1)	選	2		2												◎			
E11112012	教養科目A(福祉とくらし2)	選	2		2												◎			
E11112013	教養科目A(心とからだ1)	選	2		2												◎			
E11112014	教養科目A(心とからだ2)	選	2		2												◎			
E11112015	教養科目A(環境と生命1)	選	2		2												◎			
E11112016	教養科目A(環境と生命2)	選	2		2												◎			
E11112017	教養科目A(数と情報1)	選	2		2												◎			
E11112018	教養科目A(数と情報2)	選	2		2												◎			
E11212019	教養科目B(文学と思想3)	選	2			2											◎			
E11212020	教養科目B(文学と思想4)	選	2			2											◎			
E11212021	教養科目B(言語と文化3)	選	2			2											◎			
E11212022	教養科目B(言語と文化4)	選	2			2											◎			
E11212023	教養科目B(歴史と文化3)	選	2			2											◎			
E11212024	教養科目B(歴史と文化4)	選	2			2											◎			
E11212025	教養科目B(芸術と表現3)	選	2			2											◎			
E11212026	教養科目B(芸術と表現4)	選	2			2											◎			
E11212027	B群 教養科目B(市民と社会3)	選	2			2											◎			
E11212028	教養科目B(市民と社会4)	選	2			2											◎			
E11212029	教養科目B(福祉とくらし3)	選	2			2											◎			
E11212030	教養科目B(福祉とくらし4)	選	2			2											◎			
E11212031	教養科目B(心とからだ3)	選	2			2											◎			
E11212032	教養科目B(心とからだ4)	選	2			2											◎			
E11212033	教養科目B(環境と生命3)	選	2			2											◎			
E11212034	教養科目B(環境と生命4)	選	2			2											◎			
E11212035	教養科目B(数と情報3)	選	2			2											◎			
E11212036	教養科目B(数と情報4)	選	2			2											◎			
E11212037	教養科目C(京都を学ぶ)	選	2				2										◎			
E11212038	教養科目C(英語で京都を学ぶ)	選	2				2										◎			
E11212039	C群 教養科目C(女性を生きる)	選	2				2										◎			
E11212040	教養科目C(くらしを科学する)	選	2				2										◎			
E11212041	教養科目C(多様な社会を理解する)	選	2				2										◎			

キャリア形成科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
F15112001	キャリア開発Ⅰ	選	2		2												◎	○		
F15212002	キャリア開発Ⅱ	選	2			2	(2)										◎	○		
F15332003	職業体験実習	選	2						2								◎	○		

連携活動科目

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
G15112001	連携活動入門	選	2		2																
G15112002	地域連携講座A1	選	2		2																
G15112003	地域連携講座A2	選	2		2																
G15212004	地域連携講座B1	選	2			2															
G15212005	地域連携講座B2	選	2			2															
G15112006	産学連携講座A1	選	2		2																
G15112007	産学連携講座A2	選	2		2																
G15112008	産学連携講座A3	選	2		2																
G15212009	産学連携講座B1	選	2			2						○		○							
G15212010	産学連携講座B2	選	2			2															
G15212011	産学連携講座B3	選	2			2															
G15222012	連携課題研究	選	2				2													○	集中講義(演習)



学科・専攻開放科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L3222096	東アジア史A	選	2		2						○	◎	○					文学部共通専門科目	
L3222097	東アジア史B	選	2			2					○	◎	○						
L32212098	ヨーロッパ史A	選	2		2						○	◎	○						
L32212099	ヨーロッパ史B	選	2			2					○	◎	○						
L32212100	20世紀史A	選	2		2						○	◎	○						
L32212101	20世紀史B	選	2			2					○	◎	○						
L32112102	漢文A	選	2	2								◎		○					
L32112103	漢文B	選	2		2							◎		○					
L3222104	ラテン語A	選	2		2							◎		○					
L3222105	ラテン語B	選	2			2						◎		○					
L32212108	日本美術史A	選	2		2						○	◎							
L32212109	日本美術史B	選	2			2					○	◎							
L32212110	東洋美術史	選	2			2					○	◎							
L32212111	西洋美術史	選	2		2						○	◎							
L01212001	ことばとコミュニケーション	選	2		2						◎			○					
L01212002	中国文学史A	選	2		2						◎		○						
L01212003	中国文学史B	選	2			2					◎		○						
L01212004	近代フランス文学論	選	2		2						◎		○						
L01212005	朝鮮語史概論	選	2		2						◎		○						
L01212006	ドイツ文学論	選	2		2						◎		○						
L02222007	観光ドイツ語	選	2		2						○	◎							
L02222008	観光フランス語	選	2		2						○	◎							
L02222009	観光中国語	選	2		2						○	◎							
L02222010	観光コリア語	選	2		2						○	◎							
L11212011	国文学史2A	選	2		2						◎		○					国文学科	
L11212012	国文学史2B	選	2			2					◎		○						
L11212013	国語史A	選	2		2						◎		○						
L11212014	国語史B	選	2			2					◎		○						
L13312067	日本文化特殊講義A	選	2				2				○	○	◎						
L13312068	日本文化特殊講義B	選	2					2			○	○	◎						
L21112023	英語学基礎講義	選	2	2							◎		○	○				英文学科	
L23312047	ジェンダー批評	選	2				2				○		◎	○					
L32322023	日本古文書ⅡA	選	2				2				○	◎	○					史学科	
L32322024	日本古文書ⅡB	選	2					2			○	◎	○						
L32422025	日本古文書ⅡC	選	2						2		○	◎	○						
L32422026	日本古文書ⅡD	選	2							2	○	◎	○						
M01312003	教育・福祉連携論	選	2				2				◎				○			教育学科	
M14312074	多文化教育論	選	2					2			○		○	◎				教育学科 教育学専攻	
M13212075	アートとメディアリテラシー教育	選	2		2						○		◎	○					
M11212079	ジェンダーと教育	選	2			2					◎		○		○				
M21312047	公衆衛生学	選	2				2				◎	○						教育学科 養護・福祉教育学専攻	
M21412080	介護福祉論	選	2					2			◎								
M31312039	音楽音響学	選	2				2				◎							教育学科 音楽教育学専攻	
M31312045	音楽心理学	選	2					2			◎		○						
M44112020	現代文化・芸術論	選	2	2							○			◎				児童学科	
M51112008	医療倫理学	選	2	2							◎		○		○			心理学科	
M53312035	生徒指導心理学	選	2				2						◎		○				
M53312036	発達障害児の心理と教育	選	2					2			○		◎	○					
M53312037	教育認知心理学	選	2					2			○		◎						
N11412071	食空間プロデュース論	選	2						2		◎							食物栄養学科	
N11412074	フードコーディネーター論	選	2						2		◎								
N21212048	西洋服飾史	選	2			2					◎		○					生活造形学科	
N21312091	ファッション文化論	選	2					2			◎		○						

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自律性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
P15212037	倫理学	選	2		2						○		○		◎		現代社会学科	
P11212039	自然環境と生態系	選	2		2						◎		○					
P11212040	環境政策論	選	2		2						◎		○					
P11212041	生命倫理学	選	2			2					◎		○		○			
P11212042	生命の起源と進化	選	2			2					◎		○					
P11312044	多様性の生物学	選	2			2					◎	○						
P12312045	環境開発論	選	2			2					○	◎						
P11312046	応用倫理学	選	2				2				◎	○			○			
P12312047	エネルギーと環境	選	2				2				○	◎						
P13312048	環境社会学	選	2				2				○		◎					
P11212063	地域社会学	選	2		2						◎		○		○			
P12212066	民俗文化論	選	2			2					○	◎						
P11212117	現代イスラーム地域論	選	2			2					◎		○					
Q13312093	平和と女性	選	2				2				○		◎	○			法学科	

# 諸課程履修科目

※修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができません。

諸課程履修科目

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができない。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
V10112001	教職論	選	2	2	(2)							中学校教諭、高等学校教諭及び栄養教諭の免許状取得の所要資格を得るための「教職課程に関する科目」	
V10112002	教育原論	選	2	2	(2)								
V10112003	教育心理学	選	2	2	(2)								
V10312004	教育行政学	選	2					2	(2)				・教育職員免許状取得の所要資格を得るために必要な科目、単位及び必選の別については、別に定める免許状取得要領に従い履修すること。
V10212005	教育課程論	選	2			2	(2)						
V10212006	特別支援教育論	選	1			1	(1)						・発達教育学部における「教職課程に関する科目」は、各学科・専攻の専門科目を履修すること。
V10212007	道徳教育論	選	2			2	(2)						
V10312008	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2					2	(2)				
V10212009	教育方法論	選	2			2	(2)						(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)
V10312010	生徒指導論	選	2					2	(2)				(生徒指導と教育相談)
V10312011	進路指導論	選	2					2	(2)				
V10412012	教育実習論	選	1								1		
V10432013	教育実習	選	2								2		
V10432014	中学校教育実習	選	2								2		
V10422015	教職実践演習(中・高)	選	2								2		
V10212016	人権教育論	選	1			1	(1)						
V10212017	日本国憲法	選	2			2	(2)						
V10412018	栄養教育実習指導	選	1								1	栄養教諭の免許状取得の所要資格を得るための「教職課程に関する科目」	
V10432019	栄養教育実習	選	1								1		栄養教諭の所要資格を得るための必要な科目については、別に定める免許状取得要領に従い履修すること。
V10422020	教職実践演習(栄養教諭)	選	2								2		
V20112001	生涯学習概論	選	2	2	(2)							博物館学芸員の資格取得に必要な科目 国文学科・史学科 児童学科・生活造形学科 現代社会学科	
V20212002	博物館概論	選	2			2							
V20212003	博物館経営論	選	2				2						
V20212004	博物館資料論	選	2				2						
V20312005	博物館資料保存論	選	2					2					
V20312006	博物館展示論	選	2					2					
V20212007	博物館情報論	選	1			1							資格取得に必要な科目、単位及び必選の別については、別に定める履修科目表に従い履修すること。 児童学科においては、専門科目の「生涯学習概論Ⅰ」を履修すること。
V20212008	視聴覚教育メディア論	選	1			1	(1)						
V20212009	博物館教育論	選	2				2						
V20332010	博物館実習Ⅰ	選	2						2				
V20432011	博物館実習Ⅱ	選	2								2		
V30112001	生涯学習概論	選	2	2	(2)								図書館司書、学校図書館司書教諭及び学校司書の資格取得に必要な科目
V30112002	図書館概論	選	2	2	(2)								
V30212003	図書館制度・経営論	選	2			2	(2)						
V30212004	図書館情報技術論	選	2			2	(2)						
V30112005	図書館サービス概論	選	2	2	(2)								
V30112006	情報サービス論	選	2	2	(2)								
V30112007	児童サービス論	選	2	2	(2)								
V30222008	情報サービス演習	選	2			2	(2)						
V30112009	図書館情報資源概論	選	2	2	(2)								
V30112010	情報資源組織論	選	2	2	(2)								
V30222011	情報資源組織演習Ⅰ	選	1			1	(1)						
V30222012	情報資源組織演習Ⅱ	選	1			1	(1)						
V30212013	図書館基礎特論	選	2			2	(2)						
V30212014	図書館サービス特論	選	2			2	(2)						
V30212015	図書館情報資源特論	選	2			2	(2)						
V30212016	図書・図書館史	選	2			2	(2)						
V30212017	図書館施設論	選	2			2	(2)						
V30322018	図書館総合演習	選	2					2	(2)				
V30432019	図書館実習	選	2								2		
V30112020	学校経営と学校図書館	選	2	2	(2)								
V30112021	学校図書館メディアの構成	選	2	2	(2)								
V30112022	学習指導と学校図書館	選	2	2	(2)								
V30112023	読書と豊かな人間性	選	2	2	(2)								
V30112024	情報メディアの活用	選	2	2	(2)								
V30112025	学校図書館サービス論	選	2			2	(2)						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
P12312056	メディア文化論	選	2					2					情報処理士の資格取得に必要な科目 ・資格取得に必要な科目、単位及び必選の別については、別に定める履修科目表に従い履修すること。
P11212104	情報文明論	選	2				2						
P11212064	市民活動論	選	2					2					
P13212092	組織マネジメント論	選	2				2						
P11212102	社会情報学	選	2			2							
P11212052	社会心理学	選	2				2						
P11312083	都市政策論	選	2							2			日本語教師課程の修了認定を受けるために必要な科目 事前・事後指導を含む。
V40112001	日本語教育入門	選	2	2	(2)								
V40112002	言語と社会	選	2	2	(2)								
V40112003	言語と心理	選	2	2	(2)								
V40112004	言語と教育	選	2	2	(2)								
V40112005	日本語の構造	選	2	2	(2)								
V40332006	日本語教育実習	選	2						2		(2)		



専門領域

文学部

文学部共通専門科目

- ◆修得した単位は所属する学科の専門科目の単位に含めることができる。
- ◆「学科・専攻開放科目」に該当する科目も、文学部共通専門科目として扱う。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・	技能・	汎用的	判断・	思考・	対話・	相互理解		自覚性・	自立性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
L12212073	民俗学	選	2			2							○	◎				○	国文学科提供科目		
L12212074	風俗文化史A	選	2			2						○	◎				○				
L12212075	風俗文化史B	選	2			2						○	◎				○				
L13312076	東洋思想史A	選	2					2				○	○	◎							
L13312077	東洋思想史B	選	2					2				○	○	◎							
L23212031	英語圏研究1	選	2			2						○		◎	○			英文学科提供科目			
L23212037	英語圏研究2	選	2			2						○		◎	○						
L23212042	英語圏研究3	選	2			2						○	○	◎							
L32222021	日本古文書 I A	選	2			2						○	◎	○				史学科提供科目			
L32222022	日本古文書 I B	選	2			2						○	◎	○							
L32122095	くずし字入門	選	2	2								○	◎								
L32222096	東アジア史A	選	2			2						○	◎	○							
L32222097	東アジア史B	選	2			2						○	◎	○							
L32212098	ヨーロッパ史A	選	2			2						○	◎	○							
L32212099	ヨーロッパ史B	選	2			2						○	◎	○							
L32212100	20世紀史A	選	2			2						○	◎	○							
L32212101	20世紀史B	選	2			2						○	◎	○							
L32112102	漢文A	選	2	2									◎		○						
L32112103	漢文B	選	2	2									◎		○						
L32222104	ラテン語A	選	2			2							◎		○						
L32222105	ラテン語B	選	2			2							◎		○						
L32322106	ギリシア語A	選	2					2					◎		○						
L32322107	ギリシア語B	選	2					2					◎		○						
L32212108	日本美術史A	選	2			2						○	◎								
L32212109	日本美術史B	選	2			2						○	◎								
L32212110	東洋美術史	選	2			2						○	◎								
L32212111	西洋美術史	選	2			2						○	◎								
L01212001	ことばとコミュニケーション	選	2			2						◎			○				外国語準学科提供科目		
L01212002	中国文学史A	選	2			2						◎		○							
L01212003	中国文学史B	選	2			2						◎		○							
L01212004	近代フランス文学論	選	2			2						◎		○							
L01212005	朝鮮語史概論	選	2			2						◎		○							
L01212006	ドイツ文学論	選	2			2						◎		○							
L02222007	観光ドイツ語	選	2			2						○	◎		○						
L02222008	観光フランス語	選	2			2						○	◎		○						
L02222009	観光中国語	選	2			2						○	◎		○						
L02222010	観光コリア語	選	2			2						○	◎		○						



## 文学部国文学科

### 国文学科専門科目

◆「国文学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。

72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	汎用的技能	判断・思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性	自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
L1111001	国文学基礎講座A	必	2	2								◎	○							(音声言語及び文章表現を含む)	
L1111002	国文学基礎講座B	必	2		2							◎	○								
L1111003	国語学概説A	必	2	2								◎		○							
L1111004	国語学概説B	必	2		2							◎		○							
L11121005	入門演習A	必	2	2								◎	○		○						
L11121006	入門演習B	必	2		2							◎	○		○						
L14221007	基礎演習A	必	2			2						○		○	◎						
L14221008	基礎演習B	必	2				2					○		○	◎						
L1112009	国文学史1A	選	2	2		2						◎		○						合計8単位以上修得すること。	
L1112010	国文学史1B	選	2		2							◎		○							
L1112011	国文学史2A	選	2	2		2						◎		○							
L1112012	国文学史2B	選	2		2		2					◎		○							
L1112013	国語史A	選	2	2		2						◎		○							
L1112014	国語史B	選	2		2		2					◎		○							
L11122015	講読上代A	選	2	2		2						◎		○						合計20単位以上修得すること。	
L11122016	講読上代B	選	2		2		2					◎		○							
L11122017	講読中古A	選	2	2		2						◎		○							
L11122018	講読中古B	選	2		2		2					◎		○							
L11122019	講読中世A	選	2	2		2						◎		○							
L11122020	講読中世B	選	2		2		2					◎		○							
L11122021	講読近世A	選	2	2		2						◎		○							
L11122022	講読近世B	選	2		2		2					◎		○							
L11122023	講読近代A	選	2	2		2						◎		○							
L11122024	講読近代B	選	2		2		2					◎		○							
L11122025	講読漢文A	選	2	2		2						◎		○							
L11122026	講読漢文B	選	2		2		2					◎		○							
L11122027	講読国語学A	選	2	2		2						◎		○							
L11122028	講読国語学B	選	2		2		2					◎		○							
L13322029	演習 I A(上代)	選	2					2					○	◎	○					8単位選択必修	
L13322030	演習 I B(上代)	選	2						2				○	◎	○						
L13322031	演習 I A(中古)	選	2					2					○	◎	○						
L13322032	演習 I B(中古)	選	2						2				○	◎	○						
L13322033	演習 I A(中世)	選	2					2					○	◎	○						
L13322034	演習 I B(中世)	選	2						2				○	◎	○						
L13322035	演習 I A(近世)	選	2						2				○	◎	○						
L13322036	演習 I B(近世)	選	2							2			○	◎	○						
L13322037	演習 I A(近代)	選	2						2				○	◎	○						
L13322038	演習 I B(近代)	選	2							2			○	◎	○						
L13322039	演習 I A(漢文)	選	2						2				○	◎	○						
L13322040	演習 I B(漢文)	選	2							2			○	◎	○						
L13322041	演習 I A(国語学)	選	2						2				○	◎	○						
L13322042	演習 I B(国語学)	選	2							2			○	◎	○						
L15421043	演習 II A(注)	必	2											○		◎	○				
L15421044	演習 II B(注)	必	2											○		◎	○				

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	自律性・社会性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
L13312045	国文学特殊講義1A	選	2				2		2			○	○	◎				
L13312046	国文学特殊講義1B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312047	国文学特殊講義2A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312048	国文学特殊講義2B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312049	国文学特殊講義3A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312050	国文学特殊講義3B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312051	国文学特殊講義4A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312052	国文学特殊講義4B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312053	国文学特殊講義5A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312054	国文学特殊講義5B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312055	国文学特殊講義6A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312056	国文学特殊講義6B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312057	国文学特殊講義7A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312058	国文学特殊講義7B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312059	国文学特殊講義8A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312060	国文学特殊講義8B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312061	国文学特殊講義9A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312062	国文学特殊講義9B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312063	国語学特殊講義1A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312064	国語学特殊講義1B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312065	国語学特殊講義2A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312066	国語学特殊講義2B	選	2						2		2	○	○	◎				
L13312067	日本文化特殊講義A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312068	日本文化特殊講義B	選	2						2		2	○	○	◎				
L12122069	書道A	選	2	2								○	◎			○		(書写を中心とする)
L12122070	書道B	選	2		2							○	◎			○		
L12212071	漢文学A	選	2			2						○	◎			○		
L12212072	漢文学B	選	2				2					○	◎			○		
L12212073	民俗学	選	2			2						○	◎			○		
L12212074	風俗文化史A	選	2			2						○	◎			○		
L12212075	風俗文化史B	選	2				2					○	◎			○		
L13312076	東洋思想史A	選	2					2		2		○	○	◎				
L13312077	東洋思想史B	選	2						2		2	○	○	◎				
L12212078	国語科教育法1	選	2			2						○	◎			○		
L12212079	国語科教育法2	選	2				2					○	◎			○		
L12312080	国語科教育法3	選	2					2				○	◎			○		
L12312081	国語科教育法4	選	2						2			○	◎			○		
L16451082	卒業論文(注)	必	6							6				○		○	◎	

(注)演習ⅡA、演習ⅡB及び卒業論文は、演習ⅠAのうち1科目2単位以上、演習ⅠBのうち1科目2単位以上、計2科目4単位以上修得しなければ履修できない。

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	判断・思考	対話・相互理解	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L23212031	英語圏研究1	選	2		2							○	◎	○				英文学科提供科目	
L23212037	英語圏研究2	選	2			2						○	◎	○					
L23212042	英語圏研究3	選	2			2						○	◎	○					
L32222021	日本古文書 I A	選	2		2							○	◎	○				史学科提供科目	
L32222022	日本古文書 I B	選	2			2						○	◎	○					
L32122095	くずし字入門	選	2	2								○	◎						
L32222096	東アジア史A	選	2		2							○	◎	○					
L32222097	東アジア史B	選	2			2						○	◎	○					
L32212098	ヨーロッパ史A	選	2		2							○	◎	○					
L32212099	ヨーロッパ史B	選	2			2						○	◎	○					
L32212100	20世紀史A	選	2		2							○	◎	○					
L32212101	20世紀史B	選	2			2						○	◎	○					
L32112102	漢文A	選	2	2								◎		○					
L32112103	漢文B	選	2		2							◎		○					
L32222104	ラテン語A	選	2		2							◎		○					
L32222105	ラテン語B	選	2			2						◎		○					
L32322106	ギリシア語A	選	2				2					◎		○					
L32322107	ギリシア語B	選	2					2				◎		○					
L32212108	日本美術史A	選	2		2							○	◎						
L32212109	日本美術史B	選	2			2						○	◎						
L32212110	東洋美術史	選	2			2						○	◎						
L32212111	西洋美術史	選	2		2							○	◎						
L01212001	ことばとコミュニケーション	選	2		2							◎		○				外国語準学科提供科目	
L01212002	中国文学史A	選	2		2							◎		○					
L01212003	中国文学史B	選	2			2						◎		○					
L01212004	近代フランス文学論	選	2			2						◎		○					
L01212005	朝鮮語史概論	選	2			2						◎		○					
L01212006	ドイツ文学論	選	2			2						◎		○					
L02222007	観光ドイツ語	選	2			2						○	◎		○				
L02222008	観光フランス語	選	2			2						○	◎		○				
L02222009	観光中国語	選	2			2						○	◎		○				
L02222010	観光コリア語	選	2			2						○	◎		○				

## 文学部英文学科

### 英文学科専門科目

◆「英文学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・	技能的	判断	相互理解	自律性・	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L2111001	英語圏文化入門	必	2	2								◎		○	○				ガイダンス科目
L2111002	言語・コミュニケーション入門	必	2		2							◎		○	○				
L2212003	Oral Communication I	必	1	1								◎		○	○				
L2212004	Grammar & Expression	必	1	1								○	◎		○				
L22122005	TOEFL演習 I	選	1	1								○	◎		○				
L22121006	Oral Communication II	必	1		1							◎		○	○				
L22121007	Reading & Writing	必	1		1							○	◎		○				
L22122008	TOEFL演習 II	選	1		1							○	◎		○				
L22122009	TOEFL演習 III	選	1		1							○	◎		○				
L22121010	TOEIC演習 I	必	2		2							○	◎		○				
L22221011	Integrated Communication Skills I	必	1			1						◎		○	○				
L22221012	TOEIC演習 II	必	2			2						○	◎		○				
L22221013	Integrated Communication Skills II	必	1				1					◎		○	○				
L22222014	TOEIC演習 III	選	2				2					○	◎		○				
L21322015	Theatre Studies I	選	2					2				◎	○	○					
L22322016	Speech & Presentation	選	2					2				◎		○	○				
L22322017	TOEIC演習 IV	選	2					2				○	◎		○				
L22322018	Advanced Communication I	選	2					2				◎		○	○				
L21322019	Theatre Studies II	選	2						2			◎	○	○					
L24322020	Debate & Discussion	選	2						2			○		◎	○				
L22322021	Advanced Communication II	選	2					2				◎		○	○				
L21112022	異文化理解基礎講義	選	2	2								◎		○	○				
L21112023	英語学基礎講義	選	2	2								◎		○	○				
L21112024	英米映画研究1	選	2	2								◎		○	○				
L21112025	イギリス文学基礎講義	選	2		2							◎		○	○				
L21112026	アメリカ文学基礎講義	選	2		2							◎		○	○				
L21112027	英語学研究	選	2		2							◎		○	○				
L21212028	通訳・翻訳論	選	2			2						◎		○	○				
L21212029	英語文法語法研究	選	2			2						◎	○	○					
L21212030	英米文学研究1	選	2			2						◎		○	○				
L23212031	英語圏研究1	選	2			2						○		◎	○				
L23212032	英米映画研究2	選	2			2						○		◎	○				
L21212033	英語音声学	選	2			2						◎	○	○					
L21212034	言語習得論	選	2				2					◎		○	○				
L21212035	認知言語学	選	2				2					◎		○	○				
L21212036	英米文学研究2	選	2				2					◎		○	○				
L23212037	英語圏研究2	選	2				2					○		◎	○				
L25222038	通訳ガイド演習	選	2				2					○				◎	○		
L25222039	エアライン英語	選	2				2					○				◎	○		
L25222040	ソールズム・スタディーズ	選	2				2					○				◎	○		
L23222041	児童英語教育	選	2				2							◎		○	○		
L23212042	英語圏研究3	選	2				2					○	○	◎					
L24222043	メディア英語演習	選	2				2					○			◎	○			
L21322044	英語で読む京都	選	2					2				◎	○		○				
L23312045	英米文学研究3	選	2					2				○		◎	○				
L23312046	言語科学	選	2					2				○		◎	○				
L23312047	ジェンダー批評	選	2					2				○		◎	○				
L23312048	比較文化研究1	選	2					2				○		◎	○				
L25322049	ビジネス英語 I	選	2					2				○		○	◎				
L25312050	旅行業務	選	2					2				○		○	◎				
L23312051	英米児童文学研究	選	2						2			○		◎	○				
L23312052	社会言語学	選	2						2			○		◎	○				
L23312053	日英語対照研究	選	2						2			○		◎	○				
L25322054	ビジネス英語 II	選	2					2				○		○	◎				
L24322055	会議通訳演習	選	2					2				○		◎	○				
L21322056	英語で語る京都	選	2						2			◎	○	○	○				

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 対話・ 相互理解	社会性・ 自律性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L23312057	英米文学研究4	選	2						2			○		◎	○			専門科目	
L23412058	英米演劇研究 I	選	2						2			○		◎	○				
L23412059	英米演劇研究 II	選	2						2			○		◎	○				
L23412060	比較文化研究2	選	2						2			○		◎					
L21222061	英語科教育法1	選	2		2					◎	○	○							
L24222062	英語科教育法2	選	2			2								◎	○	○			
L24322063	英語科教育法3	選	2				2							◎	○	○			
L24322064	英語科教育法4	選	2					2		○				◎					
L24222065	Pre-Study Abroad Seminar	選	1		1						○			◎	○			協定留学プログラム及び英文学科の英語圏半年留学プログラムに参加する者のみ履修できる。	
L22232066	Study Abroad 1	選	4			4					◎			○					
L22232067	Study Abroad 2	選	4			4					◎			○					
L22232068	Study Abroad 3	選	4			4					◎			○					
L22232069	Study Abroad 4	選	4			4					◎			○					
L25322070	Post-Study Abroad Seminar	選	1				1				○			○	◎				
L22121081	Basic Research Seminar I	必	2	2						○	◎	○						発展科目	
L22121082	Basic Research Seminar II	必	2		2					○	◎	○							
L23221083	Research Seminar I	必	2			2						◎	○	○					
L23221084	Research Seminar II	必	2				2					◎	○	○					
L24321085	Advanced Research Seminar I	必	2					2				○	◎	○					
L24321086	Advanced Research Seminar II	必	2						2			○	◎	○					
L26421087	Graduation Research Seminar I	必	2						2			○		○	◎				
L26421088	Graduation Research Seminar II	必	2									○		○	◎				
L26451089	卒業研究	必	6						6					○	◎				

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	判断・思考	相互理解・対話	社会性・自律性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L12212073	民俗学	選	2		2						○	◎						国文学科提供科目	
L12212074	風俗文化史A	選	2		2						○	◎							
L12212075	風俗文化史B	選	2			2					○	◎							
L13312076	東洋思想史A	選	2				2				○	○	◎						
L13312077	東洋思想史B	選	2					2			○	○	◎						
L32222021	日本古文書 I A	選	2		2						○	◎	○					史学科提供科目	
L32222022	日本古文書 I B	選	2			2					○	◎	○						
L32122095	くずし字入門	選	2	2							○	◎							
L32222096	東アジア史A	選	2		2						○	◎	○						
L32222097	東アジア史B	選	2			2					○	◎	○						
L32212098	ヨーロッパ史A	選	2		2						○	◎	○						
L32212099	ヨーロッパ史B	選	2			2					○	◎	○						
L32212100	20世紀史A	選	2		2						○	◎	○						
L32212101	20世紀史B	選	2			2					○	◎	○						
L32112102	漢文A	選	2	2								◎		○					
L32112103	漢文B	選	2		2							◎		○					
L32222104	ラテン語A	選	2		2							◎		○					
L32222105	ラテン語B	選	2			2						◎		○					
L32322106	ギリシア語A	選	2				2					◎		○					
L32322107	ギリシア語B	選	2					2				◎		○					
L32212108	日本美術史A	選	2		2						○	◎							
L32212109	日本美術史B	選	2			2					○	◎							
L32212110	東洋美術史	選	2			2					○	◎							
L32212111	西洋美術史	選	2		2						○	◎							
L01212001	ことばとコミュニケーション	選	2		2						◎			○				外国語準学科提供科目	
L01212002	中国文学史A	選	2		2						◎		○						
L01212003	中国文学史B	選	2			2					◎		○						
L01212004	近代フランス文学論	選	2			2					◎		○						
L01212005	朝鮮語史概論	選	2			2					◎		○						
L01212006	ドイツ文学論	選	2			2					◎		○						
L02222007	観光ドイツ語	選	2			2					○	◎		○					
L02222008	観光フランス語	選	2			2					○	◎		○					
L02222009	観光中国語	選	2			2					○	◎		○					
L02222010	観光コリア語	選	2			2					○	◎		○					

## 文学部史学科

### 史学科専門科目

◆「史学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。

72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自律性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
L33121001	史学基礎演習A	必	2	2								○		◎	○					
L33121002	史学基礎演習B	必	2		2							○		◎	○					
L31111003	日本史概論A	必	2	2								◎	○	○						
L31111004	日本史概論B	必	2		2							◎	○	○						
L31111005	東洋史概論A	必	2	2								◎	○	○						
L31111006	東洋史概論B	必	2		2							◎	○	○						
L31111007	西洋史概論A	必	2	2								◎	○	○						
L31111008	西洋史概論B	必	2		2							◎	○	○						
L33222009	日本史入門演習A	選	2			2						○		◎	○					
L33222010	日本史入門演習B	選	2				2					○		◎	○					
L34322011	日本史演習 I A	選	2					2						○	◎	○				
L34322012	日本史演習 I B	選	2						2					○	◎	○				
L34422013	日本史演習 II A	選	2							2				○	◎				○	
L34422014	日本史演習 II B	選	2								2			○	◎				○	
L32222015	日本史講読 I A	選	2			2						○	◎	○						
L32222016	日本史講読 I B	選	2				2					○	◎	○						
L32322017	日本史講読 II A	選	2					2				○	◎	○						
L32322018	日本史講読 II B	選	2						2			○	◎	○						
L32422019	日本史講読 II C	選	2							2		○	◎	○						
L32422020	日本史講読 II D	選	2								2	○	◎	○						
L32222021	日本古文書 I A	選	2			2						○	◎	○						
L32222022	日本古文書 I B	選	2				2					○	◎	○						
L32322023	日本古文書 II A	選	2					2				○	◎	○						
L32322024	日本古文書 II B	選	2						2			○	◎	○						
L32422025	日本古文書 II C	選	2							2		○	◎	○						
L32422026	日本古文書 II D	選	2								2	○	◎	○						
L33212027	日本史特殊講義1	選	2			2						○	○	◎						
L33212028	日本史特殊講義2	選	2				2					○	○	◎						
L33212029	日本史特殊講義3	選	2			2						○	○	◎						
L33212030	日本史特殊講義4	選	2				2					○	○	◎						
L33212031	日本史特殊講義5	選	2			2						○	○	◎						
L33212032	日本史特殊講義6	選	2				2					○	○	◎						
L33212033	日本史特殊講義7	選	2			2						○	○	◎						
L33212034	日本史特殊講義8	選	2				2					○	○	◎						
L33212035	日本史特殊講義9	選	2			2						○	○	◎						
L33212036	日本史特殊講義10	選	2				2					○	○	◎						

日本史コース履修者は必修  
演習 II A及び II Bは、演習 I A又は I B  
のいずれか2単位を修得しなければ履修  
できない。

日本史コース履修者は、  
この枠内の科目と、東洋史・西洋史の  
特殊講義科目から16単位以上を修得す  
ること。  
ただし、日本古文書 I A～ I B、  
日本古文書 II A～ II B、  
日本史特殊講義 1～10  
から、8単位以上を必ず含めること。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相対的 理解	対話 自律性・ 社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L33222037	東洋史入門演習A	選	2			2						○	◎	○					東洋史コース履修者は必修 演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠB のいずれか2単位を修得しなければ履修 できない。
L33222038	東洋史入門演習B	選	2			2					○	◎	○						
L34322039	東洋史演習ⅠA	選	2				2					○	◎	○					
L34322040	東洋史演習ⅠB	選	2					2				○	◎	○					
L34422041	東洋史演習ⅡA	選	2						2			○	◎					○	
L34422042	東洋史演習ⅡB	選	2							2		○	◎					○	
L32222043	東洋史講読ⅠA	選	2		2						○	◎	○						東洋史コース履修者は、東洋史講読Ⅰ A・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBか ら、4単位以上修得すること。
L32222044	東洋史講読ⅠB	選	2			2					○	◎	○						
L32322045	東洋史講読ⅡA	選	2				2				○	◎	○						東洋史コース履修者は、東洋史講読Ⅱ A・ⅡB、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣB、 または史学外書講読ⅡA・ⅡBから、 4単位以上修得すること。
L32322046	東洋史講読ⅡB	選	2					2			○	◎	○						
L32422047	東洋史講読ⅡC	選	2						2		○	◎	○						
L32422048	東洋史講読ⅡD	選	2							2	○	◎	○						
L32322049	東洋史講読ⅢA	選	2				2				○	◎	○						
L32322050	東洋史講読ⅢB	選	2					2			○	◎	○						
L32422051	東洋史講読ⅢC	選	2						2		○	◎	○						
L32422052	東洋史講読ⅢD	選	2							2	○	◎	○						
L32322053	東洋史講読ⅣA	選	2				2				○	◎	○						
L32322054	東洋史講読ⅣB	選	2					2			○	◎	○						
L32422055	東洋史講読ⅣC	選	2						2		○	◎	○						
L32422056	東洋史講読ⅣD	選	2							2	○	◎	○						
L33212057	東洋史特殊講義1	選	2		2						○	○	◎						東洋史コース履修者は、東洋史・日本 史・西洋史の特殊講義科目から、 16単位を修得すること。 ただし、東洋史特殊講義1～8から、8単 位以上を必ず含めること。
L33212058	東洋史特殊講義2	選	2			2					○	○	◎						
L33212059	東洋史特殊講義3	選	2		2						○	○	◎						
L33212060	東洋史特殊講義4	選	2			2					○	○	◎						
L33212061	東洋史特殊講義5	選	2		2						○	○	◎						
L33212062	東洋史特殊講義6	選	2			2					○	○	◎						
L33212063	東洋史特殊講義7	選	2		2						○	○	◎						
L33212064	東洋史特殊講義8	選	2			2					○	○	◎						
L33222065	西洋史入門演習A	選	2		2						○	◎	○						西洋史コース履修者は必修 演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠB のいずれか2単位を修得しなければ履修 できない。
L33222066	西洋史入門演習B	選	2		2						○	◎	○						
L34322067	西洋史演習ⅠA	選	2				2					○	◎	○					
L34322068	西洋史演習ⅠB	選	2					2				○	◎	○					
L34422069	西洋史演習ⅡA	選	2						2			○	◎					○	
L34422070	西洋史演習ⅡB	選	2							2		○	◎					○	
L32222071	西洋史講読ⅠA	選	2		2						○	◎	○						西洋史コース履修者は、西洋史講読Ⅱ A・ⅡB、ⅢA・ⅢBから、4単位以上修得 すること。
L32222072	西洋史講読ⅠB	選	2			2					○	◎	○						
L32322073	西洋史講読ⅡA	選	2				2				○	◎	○						
L32322074	西洋史講読ⅡB	選	2					2			○	◎	○						
L32422075	西洋史講読ⅡC	選	2						2		○	◎	○						
L32422076	西洋史講読ⅡD	選	2							2	○	◎	○						
L32322077	西洋史講読ⅢA	選	2				2				○	◎	○						
L32322078	西洋史講読ⅢB	選	2					2			○	◎	○						
L32422079	西洋史講読ⅢC	選	2						2		○	◎	○						
L32422080	西洋史講読ⅢD	選	2							2	○	◎	○						
L33212081	西洋史特殊講義1	選	2		2						○	○	◎						西洋史コース履修者は、西洋史・日本 史・東洋史の特殊講義科目から、 16単位以上を修得すること。 ただし、西洋史特殊講義1～8から、8単 位以上を必ず含めること。
L33212082	西洋史特殊講義2	選	2			2					○	○	◎						
L33212083	西洋史特殊講義3	選	2		2						○	○	◎						
L33212084	西洋史特殊講義4	選	2			2					○	○	◎						
L33212085	西洋史特殊講義5	選	2		2						○	○	◎						
L33212086	西洋史特殊講義6	選	2			2					○	○	◎						
L33212087	西洋史特殊講義7	選	2		2						○	○	◎						
L33212088	西洋史特殊講義8	選	2			2					○	○	◎						



ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	汎用的技能	判断	思考・相互理解	対話	自律性・社会性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
L3222089	史学外書講読ⅠA	選	2			2						○	◎	○						東洋史コース履修者は、東洋史講読ⅠA・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBから、4単位以上および東洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣBまたは史学外書講読ⅡA・ⅡBから、4単位以上修得すること。日本史コースおよび西洋史コース履修者は、選択科目として卒業に必要な単位に含めることができる。
L3222090	史学外書講読ⅠB	選	2			2						○	◎	○						
L3232091	史学外書講読ⅡA	選	2					2				○	◎	○						
L3232092	史学外書講読ⅡB	選	2					2				○	◎	○						
L3242093	史学外書講読ⅡC	選	2							2		○	◎	○						
L3242094	史学外書講読ⅡD	選	2								2	○	◎	○						
L3212095	くずし字入門	選	2	2								○	◎							
L3222096	東アジア史A	選	2			2						○	◎	○						
L3222097	東アジア史B	選	2			2						○	◎	○						
L3221208	ヨーロッパ史A	選	2			2						○	◎	○						
L3221209	ヨーロッパ史B	選	2			2						○	◎	○						
L3221210	20世紀史A	選	2			2						○	◎	○						
L3221211	20世紀史B	選	2			2						○	◎	○						
L32112102	漢文A	選	2	2									◎		○					
L32112103	漢文B	選	2		2								◎		○					
L3222104	ラテン語A	選	2			2							◎		○					
L3222105	ラテン語B	選	2			2							◎		○					
L3232106	ギリシア語A	選	2				2						◎		○					
L3232107	ギリシア語B	選	2				2						◎		○					
L32212108	日本美術史A	選	2			2						○	◎							
L32212109	日本美術史B	選	2			2						○	◎							
L32212110	東洋美術史	選	2			2						○	◎							
L32212111	西洋美術史	選	2			2						○	◎							
L32212112	歴史地理学概論	選	2			2	(2)					○	◎							
L32212113	人文地理学概論	選	2			2	(2)					○	◎							
L32212114	地誌	選	2			2						○	◎							
L32312115	自然地理学	選	2					2				○	◎							
L32112116	法律学研究	選	2	2	(2)								◎			○				
L32212117	経済学研究	選	2			2	(2)						◎			○				
L32212118	哲学研究	選	2			2	(2)						◎			○				
L32212119	宗教学研究	選	2			2	(2)						◎			○				
L32112120	考古学A	選	2	2								○	◎							
L32112121	考古学B	選	2		2							○	◎							
L31212122	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2			2	(2)						◎							
L31212123	社会科教育法(公民分野)	選	2			2	(2)						◎							
L31312124	地理歴史科教育法	選	2					2	(2)				◎							
L31312125	公民科教育法	選	2					2	(2)				◎							
L36451126	卒業論文	必	6							6		○		○					◎	

日本史講読ⅡC・ⅡD、日本古文書ⅡC・ⅡD、東洋史講読ⅡC・ⅡD、東洋史講読ⅢC・ⅢD、東洋史講読ⅣC・ⅣD、西洋史講読ⅡC・ⅡD、西洋史講読ⅢC・ⅢD、史学外書講読ⅡC・ⅡDは、同一名科目のA・B、2科目4単位を修得しなければ履修できない。

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数				カリキュラムマップ						備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断		相互理解 ・ 対話	社会性・ 自律性	自立性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
L12212073	民俗学	選	2		2					○	◎			○	国文学科提供科目		
L12212074	風俗文化史A	選	2		2					○	◎			○			
L12212075	風俗文化史B	選	2			2				○	◎			○			
L13312076	東洋思想史A	選	2				2			○	○	◎					
L13312077	東洋思想史B	選	2				2			○	○	◎					
L23212031	英語圏研究1	選	2		2					○		◎	○		英文学科提供科目		
L23212037	英語圏研究2	選	2			2				○		◎	○				
L23212042	英語圏研究3	選	2			2				○	○	◎					
L01212001	ことばとコミュニケーション	選	2		2					◎			○		外国語準学科提供科目		
L01212002	中国文学史A	選	2		2					◎		○					
L01212003	中国文学史B	選	2			2				◎		○					
L01212004	近代フランス文学論	選	2			2				◎		○					
L01212005	朝鮮語史概論	選	2			2				◎		○					
L01212006	ドイツ文学論	選	2			2				◎		○					
L02222007	観光ドイツ語	選	2			2				○	◎		○				
L02222008	観光フランス語	選	2			2				○	◎		○				
L02222009	観光中国語	選	2			2				○	◎		○				
L02222010	観光コリア語	選	2			2				○	◎		○				

專 門 領 域

発達教育学部

## 発達教育学部教育学科教育学専攻

◆必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たしたうえで、専門科目（「教育学科共通科目」、「教育学科教育学専攻専門科目」、「専攻間履修科目（養護・福祉教育学専攻）」及び「専攻間履修科目（音楽教育学専攻）」より72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

### 教育学科共通科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自得性	社会性・ 自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
M01212001	生涯学習概論Ⅰ	選	2		2							◎	○	○						(*注)
M01212002	生涯学習概論Ⅱ	選	2			2						◎	○	○						
M01312003	教育・福祉連携論	選	2					2				◎			○					

### 教育学科教育学専攻専門科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自得性	社会性・ 自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
M12121001	教育学入門演習Ⅰ	必	2	2								◎	○	○						
M12121002	教育学入門演習Ⅱ	必	2		2							◎	○	○						
M13221003	教育学演習Ⅰ	必	2		2							◎	○	○						
M13221004	教育学演習Ⅱ	必	2			2						◎	○	○						
M11111005	教育原論	必	2	2								◎	○	○						
M13111006	人権教育論	必	1	1								◎	○	○						
M14111007	教職論	必	2		2							○	○	◎	○					
M11111008	教育心理学	必	2	2								◎								
M1211009	教育課程論	必	2		2							◎	○	○						
M11111010	教育方法論	必	2		2							◎	○	○						(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)
M1211011	教育行政学	必	2			2						◎	○							
M13212012	教育哲学	選	2			2						○	◎			○				
M1212013	教育史	選	2		2							◎	○							
M1212014	教育社会学	選	2			2						◎	○			○				
M13212015	比較・国際教育論	選	2			2						○	◎	○						
M11112016	国語科教育内容論	選	2		2							◎	○		○					
M11112017	社会科教育内容論	選	2		2							◎	○	○						
M11112018	算数科教育内容論	選	2	2								◎	○	○						
M12212019	理科教育内容論	選	2		2							○	◎	○						
M11112020	生活科教育内容論	選	2		2							◎	○	○						
M1212021	音楽科教育内容論	選	2		2							◎	○	○						
M1212022	図工科教育内容論	選	2		2							◎	○	○						
M12212023	家庭科教育内容論	選	2		2							◎	◎	○						
M11112024	体育科教育内容論	選	2	2								◎	○	○						
M1212025	外国語科教育内容論	選	2			2						◎	○		○					
M1212026	国語科教育方法論	選	2		2							◎	○		○					
M1212027	社会科教育方法論	選	2		2							◎		○	○					
M11112028	算数科教育方法論	選	2		2							◎		○		○				
M13212029	理科教育方法論	選	2			2						○		◎	○					
M13212030	生活科教育方法論	選	2		2							○		◎	○					
M1212031	音楽科教育方法論	選	2			2						◎	○	○						
M1212032	図工科教育方法論	選	2			2						◎	○	○						
M13212033	家庭科教育方法論	選	2			2						○		◎						○
M12112034	体育科教育方法論	選	2		2							○	◎	○						
M1312035	外国語科教育方法論	選	2				2					◎	○		○					
M13212036	道徳教育論	選	2		2							○		◎	○					
M11312037	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2				2					◎		○						
M14312038	生徒指導論	選	2				2					○			◎	○				(生徒指導と教育相談)
M14312039	進路指導論	選	2					2				○			◎	○				
M13212040	幼児理解と教育相談	選	2			2						○		◎						
M1212041	保育内容指導法1	選	2		2							◎		○	○					(健康)
M14312042	保育内容指導法2	選	2				2					○		○	◎					(人間関係)
M13312043	保育内容指導法3	選	2				2					○		◎	○					(環境)
M1212044	保育内容指導法4	選	2			2						◎	○		○					(言葉)
M13212045	保育内容指導法5	選	2			2						○		◎	○					(表現)
M1212046	教育実習論Ⅰ	選	1			1						◎		○		○				

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	判断	相互理解	対話・自律性	社会性	自立性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
M11312047	教育実習論Ⅱ	選	1					1				◎				○		
M15232048	教育実習Ⅰ	選	2			2										○	◎	○
M15332049	教育実習Ⅱ	選	3					3								○	◎	○
M16422050	教職実践演習(幼・小)	選	2								2					○	○	◎
M11112051	特別支援教育論	選	1	1								◎						
M11212052	特別支援教育総論	選	2			2						◎						
M11212053	インクルーシブ教育論	選	2			2						◎						
M11212054	知的障害者の生理・病理	選	2			2						◎						
M11212055	病弱者の心理・生理・病理	選	2			2						◎						
M11212056	知的障害教育論	選	2			2						◎						
M11312057	知的障害者の心理	選	2			2						◎						
M11312058	肢体不自由者の医学概論	選	2			2						◎						
M11312059	肢体不自由教育論	選	2			2						◎						
M11312060	病弱教育論	選	2			2						◎						
M13312061	知的障害児(者)の発達と教育	選	2			2						○		◎				
M11312062	肢体不自由児(者)の発達と教育	選	2			2						◎						
M11312063	病弱児の心理と教育	選	2			2						◎						
M11312064	視覚障害者教育総論	選	2			2						◎						
M11312065	聴覚障害者教育総論	選	2			2						◎						
M11312066	重複障害・発達障害教育論	選	2			2						◎						
M11412067	特別支援教育実習論	選	1						1			◎		○		○		
M15432068	特別支援教育実習	選	2						2						○	◎	○	
M12122069	ピアノ・ベーシックA	選	1	1									◎					
M12122070	ピアノ・ベーシックB	選	1	1									◎					
M11112071	学校教育論	選	2	2								◎		○				
M11112072	学校外教育論	選	2	2								◎		○	○			
M11212073	発達心理学	選	2			2						◎						
M14312074	多文化教育論	選	2					2				○		○	◎			
M13212075	アートとメディアリテラシー教育	選	2			2						○		◎				
M11212076	学級経営論	選	2			2						◎			○	○		
M13312077	幼児教育論	選	2			2						○		◎	○			
M15232078	社会教育基礎実習	選	2			2								○	○	◎		
M11212079	ジェンダーと教育	選	2			2						◎		○		○		
M11312105	生涯学習支援論Ⅰ	選	2			2						◎	○		○			
M11312106	生涯学習支援論Ⅱ	選	2			2						◎	○		○			
M11312107	社会教育経営論Ⅰ	選	2			2						◎	○	○				
M11312108	社会教育経営論Ⅱ	選	2			2						◎	○	○				
M12322082	外国書講読	選	2			2						○	◎	○				
M11312083	教育調査・統計法	選	2			2						◎	○	○				
M15332084	社会教育実習	選	2			2								○	○	◎		
M11312085	教育評価論	選	2			2						◎	○	○				
M13312086	家庭教育論	選	2			2						○		◎	○			
M13312087	自然体験型環境教育	選	2			2								◎	○	○		
M13322088	遊び活動演習	選	2			2						○		◎	○			
M16422089	国語科実践研究	選	2						2				○	○				◎
M13422090	理科実践研究	選	2						2					◎	○			○
M12422091	音楽科実践研究	選	2						2					◎	○			○
M11422092	体育科実践研究	選	2						2			◎		○				○
M16422093	家庭科実践研究	選	2						2					○	○			◎
M13422094	算数科実践研究	選	2						2			○		◎				○
M11422095	社会科実践研究	選	2						2			◎			○			○
M13422096	図工科実践研究	選	2						2					◎	○			○
M13422097	生活科実践研究	選	2						2					◎	○			○
M14422098	社会教育演習	選	2						2			○		○	◎			
M14422099	社会教育課題研究	選	2						2			○		○	◎			
M14321100	教育学研究Ⅰ	必	2			2							○	○	◎			
M14321101	教育学研究Ⅱ	必	2			2								○	◎	○		
M15421102	教育学研究Ⅲ	必	2			2								○	○	◎		
M16421103	教育学研究Ⅳ	必	2			2								○		○	◎	
M16451104	卒業研究	必	6						6					○		○	◎	

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

専攻間履修科目(養護・福祉教育学専攻科目)

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
M21112005	社会福祉概論 I	選	2	2								◎		○					
M21212039	精神保健 I	選	2			2						◎							
M21212026	学校保健	選	2		2							◎	○						
M21212027	児童・家庭福祉論	選	2		2							◎							
M21312069	小児保健	選	2					2				◎							

専攻間履修科目(音楽教育学専攻科目)

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
M31122003	ソルフェージュ	選	2	2								◎							
M31122010	音楽理論2	選	2		2							◎							
M31112006	音楽史1(西洋)	選	2	2								◎							
M31212008	音楽文化特論1(西洋)	選	2		2							◎							

## 発達教育学部 教育学科 養護・福祉教育学専攻

◆必修科目修得の要件を満たしたうえで、専門科目(「教育学科共通科目」、「教育学科養護・福祉教育学専攻専門科目」、「専攻間履修科目(教育学専攻)」及び「専攻間履修科目(音楽教育学専攻)」より72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

### 教育学科共通科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	社会的自律性	自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
M01212001	生涯学習概論Ⅰ	選	2		2							◎	○	○						
M01212002	生涯学習概論Ⅱ	選	2				2					◎	○	○						
M01312003	教育・福祉連携論	選	2						2			◎			○					

### 教育学科養護・福祉教育学専攻専門科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	社会的自律性	自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
M26121001	入門演習Ⅰ	必	2	2												○	◎			
M22121002	入門演習Ⅱ	必	2		2							◎	○							
M22221003	基礎演習Ⅰ	必	2			2						◎	○							
M24221004	基礎演習Ⅱ	必	2				2						○	◎						
M21111005	社会福祉概論Ⅰ	必	2	2								◎	○							
M21112006	社会福祉概論Ⅱ	選	2		2							◎								
M21112007	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	選	2	2								◎	○							
M21112008	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	選	2		2							◎	○							
M21111009	解剖生理学	必	2	2								◎								
M21112010	社会学	選	2	2								◎								
M21112011	教職論	選	2	2	(2)							◎	○	○						
M21112012	教育原論	選	2	2	(2)							◎	○			○				
M21112013	教育心理学	選	2	2	(2)							◎								
M21111014	臨床医学概論	必	2	2								◎								
M21112015	養護概説	選	2		2							◎	○							
M21112016	人体生理学	選	2		2							◎								
M21112017	心理学	選	2		2							◎								
M21212018	ソーシャルワーク論Ⅰ	選	2			2						◎	○							
M21212019	ソーシャルワーク論Ⅱ	選	2				2					◎	○							
M22222020	ソーシャルワーク演習Ⅰ	選	1			1							◎		○	○				
M22222021	ソーシャルワーク演習Ⅱ	選	1				1					○	◎	○						
M21212022	看護学Ⅰ	選	2			2						◎	○	○						
M21212023	看護学Ⅱ	選	2				2					◎	○	○						
M21212024	地域福祉論Ⅰ	選	2			2						◎	○							
M21212025	地域福祉論Ⅱ	選	2				2					◎	○							
M21212026	学校保健	選	2			2						◎	○							
M21212027	児童・家庭福祉論	選	2			2						◎								
M21212028	微生物学	選	2			2						◎								
M21212029	免疫学	選	2			2						◎	○							
M21212030	特別支援教育論	選	1			1	(1)					◎		○						
M23212031	道徳教育論	選	2			2	(2)					○		◎	○					
M21212032	教育課程論	選	2			2	(2)					◎	○	○						
M21212033	教育方法論	選	2			2	(2)					◎	○	○						(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)
M23212034	人権教育論	選	1			1	(1)							◎		○				
M21212035	障害者福祉論	選	2				2					◎								
M21222036	救急処置及び看護法	選	2				2					◎	○							
M21212037	栄養学	選	2				2					◎	○							
M21212038	刑事司法と福祉	選	2				2					◎								
M21212039	精神保健Ⅰ	選	2				2					◎								
M21312040	精神保健Ⅱ	選	2					2				◎	○				○			
M21312041	社会保障論Ⅰ	選	2					2				◎								
M21312042	社会保障論Ⅱ	選	2						2			◎								
M21312043	ソーシャルワーク論Ⅲ	選	2					2				◎		○						
M21312044	ソーシャルワーク論Ⅳ	選	2						2			◎		○						
M22322045	ソーシャルワーク演習Ⅲ	選	1					1				○	◎	○						
M22322046	ソーシャルワーク演習Ⅳ	選	1						1				◎	○						
M21312047	公衆衛生学	選	2						2			◎	○							(予防医学を含む)

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自立性						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
M21312048	身体動作学	選	2					2					◎	○								
M21312049	公的扶助論	選	2					2					◎									
M21312050	看護技術 I	選	2					2					◎	○								
M21312051	看護技術 II	選	2					2					◎	○								
M21312052	保健医療論	選	2					2					◎									
M21312053	老人福祉論	選	2					2					◎									
M21212054	保健科教育法1	選	2		2								◎	○								
M22212055	保健科教育法2	選	2			2							○	◎	○							
M21312056	保健科教育法3	選	2				2						◎	○								
M22312057	保健科教育法4	選	2					2					○	◎	○							
M21312058	運動生理学	選	2					2					◎	○								
M21312059	衛生学	選	2					2					◎	○	○							
M21312060	法学	選	2					2					◎									
M23312061	健康相談活動論	選	2					2					○	◎								
M22322062	ソーシャルワーク演習 V	選	1						1				◎								○	
M21312063	薬理概論	選	2					2					◎	○								
M22312064	社会福祉調査	選	2					2					○	◎								
M21312065	教育行政学	選	2					2 (2)					◎		○							
M21312066	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2					2 (2)					◎		○	○						
M24312067	生徒指導論	選	2					2 (2)					○			◎	○					(生徒指導と教育相談)
M24312068	進路指導論	選	2					2 (2)					○			◎	○					
M21312069	小児保健	選	2					2					◎									
M22322070	看護臨床実習指導	選	1						1				◎		○	○						
M22332071	看護臨床実習	選	1						1				◎		○	○						
M21312072	スクールソーシャルワーク論	選	2					2					◎		○							
M22322073	スクールソーシャルワーク演習	選	1						1				◎		○	○						
M22322074	スクールソーシャルワーク実習指導	選	1							1			◎		○	○						
M22332075	スクールソーシャルワーク実習	選	2							2			◎		○	○						
M22332076	ソーシャルワーク実習	選	4							4			◎		○	○						
M22322077	ソーシャルワーク実習指導	選	3							3			◎		○	○						
M21412079	福祉サービスの組織と経営	選	2							2			◎									
M21412081	養護教育実習論	選	1							1			◎		○		○					
M25432082	養護教育実習	選	4								4					○	◎	○				
M26422083	教職実践演習(養護教諭)	選	2								2					○	○	◎				
M21412084	教育実習論	選	1							1			◎		○		○					
M25432085	教育実習	選	2								2					○	◎	○				
M21432086	中学校教育実習	選	2								2		◎	○								
M26422087	教職実践演習(中・高)	選	2								2					○	○	◎				
M23321088	演習 I	必	2					2						○	◎	○						
M23321089	演習 II	必	2						2					○	◎	○						
M23421090	研究法 I	必	2							2				○	◎							
M23421091	研究法 II	必	2								2			○	◎							
M23451092	卒業研究	必	6								6			○	◎							

専攻間履修科目(教育学専攻科目)

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自立性						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
M11212073	発達心理学	選	2			2							◎									
M13312086	家庭教育論	選	2							2			○		◎	○						

専攻間履修科目(音楽教育学専攻科目)

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自立性						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
M34312040	音楽療法	選	2					2								◎	○					
M31312045	音楽心理学	選	2						2				◎		○							



## 発達教育学部教育学科音楽教育学専攻

◆必修科目修得の要件を満たしたうえで、専門科目(「教育学科共通科目」、「教育学科音楽教育学専攻専門科目」、「専攻間履修科目(教育学専攻)」及び「専攻間履修科目(養護・福祉教育学専攻)」)より72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

### 教育学科共通科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考					
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
M01212001	生涯学習概論Ⅰ	選	2		2																		
M01212002	生涯学習概論Ⅱ	選	2			2																	
M01312003	教育・福祉連携論	選	2					2															

### 教育学科音楽教育学専攻専門科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考					
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
M31121001	音楽教育学入門演習Ⅰ	必	2	2																			
M31121002	音楽教育学入門演習Ⅱ	必	2		2																		
M31121003	ソルフェージュ	必	2	2																			
M31131004	声楽1	必	1	1																			
M31131005	ピアノ1	必	1	1																			
M31111006	音楽史1(西洋)	必	2	2																			(西洋)
M31111007	音楽史2(日本及び民族)	必	2		2																		(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)
M31211008	音楽文化特論1(西洋)	必	2		2																		(西洋)
M31211009	音楽文化特論2(日本及び民族)	必	2			2																	(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)
M31121010	音楽理論2	必	2		2																		(和声法Ⅰ)
M31221011	音楽理論3	必	2		2																		(和声法Ⅱ)
M31321012	合奏1	必	2				2																
M31121013	合唱1	必	2	2																			
M31122014	合唱2	選	2		2																		
M31122015	音楽理論1	選	2	2																			(楽典)
M31132016	声楽2	選	1		1																		
M31232017	声楽3	選	1			1																	
M31232018	声楽4	選	1				1																
M31132019	ピアノ2	選	1		1																		
M31232020	ピアノ3	選	1			1																	
M31232021	ピアノ4	選	1				1																
M31132022	管楽器入門	選	1		1																		
M31232023	管楽器1	選	1			1																	
M31232024	管楽器2	選	1				1																
M31222025	声楽基礎Ⅰ	選	2		2																		(日本の伝統的な歌唱を含む)
M34222026	声楽基礎Ⅱ	選	2			2																	
M31222027	器楽基礎Ⅰ	選	2		2																		(伴奏並びに和楽器を含む)
M31222028	器楽基礎Ⅱ	選	2			2																	
M31222029	和楽器演習Ⅰ	選	2		2																		
M31222030	和楽器演習Ⅱ	選	2			2																	
M31222031	音楽理論4	選	2		2																		(和声法Ⅲ)
M34222032	伴奏法	選	2			2																	
M31222033	指揮法Ⅰ	選	2			2																	
M31322034	指揮法Ⅱ	選	2				2																
M31322035	アナリーゼ	選	2				2																
M31322036	音楽理論5	選	2				2																(和声法Ⅳ)
M31322037	音楽理論6	選	2					2															(対位法)
M31322038	キーボードハーモニー	選	2				2																
M31312039	音楽音響学	選	2				2																
M34312040	音楽療法	選	2				2																
M31322041	合唱指導法	選	2				2																
M31312042	音楽教育概論	選	2					2															
M36322043	ピアノ指導法	選	2					2															
M31312044	現代音楽	選	2					2															
M31312045	音楽心理学	選	2					2															
M31322046	チェンバロ奏法	選	2					2															

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断・ 思考・ 相互理解	対話・ 自律性・ 社会性・ 自立性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
M31322047	合奏2	選	2						2		◎					○			
M31422048	合奏指導法	選	2						2		◎					○			
M31422049	音楽理論7	選	2						2		◎							(オーケストレーション)	
M31622050	作曲法	選	2						2				○				◎	(編曲法を含む)	
M31332051	音楽実技A1	選	1					1			◎					○	○	(声楽・管楽器)	
M31332052	音楽実技A2	選	1					1			◎					○	○	(声楽・管楽器)	
M31432053	音楽実技A3	選	1						1		◎					○	○	(声楽・管楽器)	
M31432054	音楽実技A4	選	1						1		◎					○	○	(声楽・管楽器)	
M31332055	音楽実技B1	選	1					1			◎					○	○	(ピアノ・和楽器)	
M31332056	音楽実技B2	選	1					1			◎					○	○	(ピアノ・和楽器)	
M31432057	音楽実技B3	選	1						1		◎					○	○	(ピアノ・和楽器)	
M31432058	音楽実技B4	選	1						1		◎					○	○	(ピアノ・和楽器)	
M34422059	アンサンブル研究1	選	2						2							◎			
M34422060	アンサンブル研究2	選	2						2							◎			
M31112061	教育原論	選	2	2	(2)						◎								
M31112062	教職論	選	2	2	(2)						◎								
M31312063	教育行政学	選	2					2	(2)		◎								
M31112064	教育心理学	選	2	2	(2)						◎								
M31212065	特別支援教育論	選	1			1	(1)				◎								
M31212066	教育課程論	選	2			2	(2)				◎								
M31212067	道徳教育論	選	2			2	(2)				◎								
M31312068	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2					2	(2)		◎								
M31212069	教育方法論	選	2			2	(2)				◎							(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	
M31312070	生徒指導論	選	2					2	(2)		◎							(生徒指導と教育相談)	
M31312071	進路指導論	選	2					2	(2)		◎								
M31412072	教育実習論	選	1						1		◎								
M32432073	教育実習	選	2						2		◎								
M32432074	中学校教育実習	選	2						2		◎								
M32422075	教職実践演習(中・高)	選	2						2		◎								
M31222076	音楽科教育法1	選	2			2					◎		○						
M33322077	音楽科教育法2	選	2					2				○	◎						
M33322078	音楽科教育法3	選	2					2				○	◎						
M33322079	音楽科教育法4	選	2					2				○	◎						
M33212080	人権教育論	選	1			1	(1)						◎	○	○				
M33221081	音楽文化研究 I	必	2			2					○		◎						
M33221082	音楽文化研究 II	必	2			2					○		◎						
M33321083	音楽教育演習 I	必	2					2				○	◎						
M33321084	音楽教育演習 II	必	2					2				○	◎						
M33421085	音楽教育演習 III	必	2						2			○	◎						
M33421086	音楽教育演習 IV	必	2						2			○	◎						
M33451087	卒業研究	必	6						6			○	◎						

専攻間履修科目(教育学専攻科目)

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	技能	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
M11112016	国語科教育内容論	選	2		2							◎	○		○					
M11112024	体育科教育内容論	選	2	2								◎	○	○						
M11112018	算数科教育内容論	選	2	2								◎	○	○						
M11212021	音楽科教育内容論	選	2			2						◎	○	○						
M11112020	生活科教育内容論	選	2		2							◎	○	○						
M11212022	図工科教育内容論	選	2		2							◎	○	○						
M11112072	学校外教育論	選	2		2							◎		○	○					
M11212014	教育社会学	選	2				2					◎		○		○				
M15232078	社会教育基礎実習	選	2				2							○	○	◎				
M11212079	ジェンダーと教育	選	2				2					◎		○		○				
M11312105	生涯学習支援論Ⅰ	選	2					2				◎	○		○					
M11312106	生涯学習支援論Ⅱ	選	2						2			◎	○		○					
M11312107	社会教育経営論Ⅰ	選	2						2			◎	○	○						
M11312108	社会教育経営論Ⅱ	選	2							2		◎	○	○						
M15332084	社会教育実習	選	2							2				○	○	◎				
M13312086	家庭教育論	選	2						2			○		◎	○	◎				
M14422098	社会教育演習	選	2								2	○		○	◎					
M14422099	社会教育課題研究	選	2									○		○	◎					

専攻間履修科目(養護・福祉教育学専攻科目)

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	技能	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
M21212039	精神保健Ⅰ	選	2				2					◎								
M21112017	心理学	選	2		2							◎								
M21212026	学校保健	選	2			2						◎	○							
M21212027	児童・家庭福祉論	選	2			2						◎								
M21212024	地域福祉論Ⅰ	選	2			2						◎		○						
M21112010	社会学	選	2	2								◎								
M21312069	小児保健	選	2							2		◎								
M21312072	スクールソーシャルワーク論	選	2						2			◎		○						

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

## 発達教育学部児童学科

### 児童学科専門科目

- ◆「児童学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、72単位以上修得すること。
- ◆72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解	知識・技能	汎用的	思考・判断	対話・相互理解	自律性・社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
M42121001	児童学入門演習Ⅰ	必	2	2								◎	○	○							
M42121002	児童学入門演習Ⅱ	必	2	2								◎	○	○							
M41221003	児童学基礎演習Ⅰ	必	2		2							◎									
M41221004	児童学基礎演習Ⅱ	必	2			2						◎									
M41111005	教職論	必	2	2								◎		○	○						
M41111006	教育原論	必	2	2								◎		○		○					
M41111007	教育心理学Ⅰ	必	2	2								◎		○							
M41111008	発達心理学Ⅰ	必	2	2								◎		○							
M41111009	児童表現学	必	2	2								◎			○						
M43111010	人権教育論	必	1	1										◎	○	○					
M41122011	生理学演習	選	2	2								◎	○	○							
M42122012	ピアノ・ベーシックA	選	1	1								○	◎								
M41111013	児童保健学	必	2	2								◎		○							
M41111014	児童文化学	必	2	2								◎	○	○							
M41122015	教育心理学Ⅱ	選	2	2								◎		○	○						
M41112016	幼児と表現	選	2	2								◎			○						
M41112017	保育原理	選	2	2								◎		○							
M41112018	乳児保育Ⅰ	選	2	2								◎	○	○							
M41112019	絵本論	選	2	2								◎			○						
M44112020	現代文化・芸術論	選	2	2								○				◎					
M42122021	ピアノ・ベーシックB	選	1	1								○	◎								
M41212022	発達心理学Ⅱ	選	2		2							◎		○							
M41212023	社会福祉	選	2		2							◎									
M41212024	児童家庭福祉	選	2		2							◎		○		○					
M41222025	障害児保育	選	2		2							◎		○							
M41212026	児童文学論	選	2		2							◎									
M41222027	児童音楽Ⅰ	選	2		2							◎	○								
M41222028	児童図工Ⅰ	選	2		2							◎		○							
M41212029	幼児と健康	選	2		2							◎	○								
M41212030	幼児と言葉	選	2		2							◎	○		○						
M43222031	保育内容総論	選	1		1							○		◎	○						
M43222032	保育内容演習(健康)	選	1		1							○		◎	○						
M41212033	乳児保育Ⅱ	選	1		1							◎	○	○							
M44212034	多文化教育論	選	2		2							○		○	◎						
M41212035	生涯学習概論Ⅰ	選	2		2							◎	○	○							
M43232036	保育実習Ⅰ	選	4		4									◎	○	○					
M41222037	保育実習指導Ⅰ	選	2		2							◎		○		○					
M45222038	子ども子育て支援演習Ⅰ	選	1		1							○	○		○	◎					
M41212039	教育課程論	選	2		2							◎		○							
M41222040	児童体育Ⅰ	選	2		2							◎		○		○					
M41222041	児童栄養	選	2		2							◎	○	○							
M41212042	子ども家庭支援論	選	2		2							◎		○	○	○					
M43212043	社会的養護Ⅰ	選	2		2							○		◎		○					
M41212044	幼児と人間関係	選	2		2							◎		○							
M41212045	幼児と環境	選	2		2							◎		○							
M42222046	保育内容演習(言葉)	選	1		1							○	◎								
M42222047	保育内容演習(表現)	選	1		1							○	◎								
M41212048	児童文化活動論	選	2		2							◎		○		○					
M41212049	教育社会学	選	2		2							◎		○		○					
M41212050	ジェンダーと教育	選	2		2							◎		○		○					
M41212051	生涯学習概論Ⅱ	選	2		2							◎	○	○							
M45232052	社会教育基礎実習	選	2		2									○	○	◎					
M44321053	発達支援演習	必	2		2							○			◎			○			(幼児理解と教育相談)
M41321054	児童保健学演習	必	2		2							◎	○	○							

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	判断・思考・相互理解	対話・自律性・社会性	自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
M43331055	児童文化化学実習	必	2				2					○	◎	○					
M41312056	教育行政学	選	2				2					◎							
M44312057	特別支援教育論	選	1				1					○			◎				
M41332058	児童発達研究法実習 I	選	2				2					◎	○		○				
M43322059	児童体育 II	選	2				2						◎	○	○				
M43322060	音楽あそび	選	2				2					○	◎	○					
M42322061	児童図工 II	選	2				2						◎						○
M41322062	保育内容演習(人間関係)	選	1				1					◎		○	○				
M44322063	保育内容演習(環境)	選	1				1					○			◎				
M41312064	幼児教育方法論	選	2				2					◎		○					○
M44332065	保育実習 II	選	2				2								◎	○	○		
M44322066	保育実習指導 II	選	1				1					○			◎	○			
M44332067	保育実習 III	選	2				2					○			◎	○			
M44322068	保育実習指導 III	選	1				1					○			◎	○			
M41312097	生涯学習支援論 I	選	2				2					◎	○		○				
M41312098	社会教育経営論 I	選	2				2					◎	○	○					
M45322070	子ども子育て支援演習 II	選	1				1					○	○		○	◎			
M42332071	教育実習	選	4						4				◎	○	○				
M41312072	教育実習論	選	1						1				◎	○	○				
M45321073	児童学実践演習	必	1						1						○	◎			
M41312074	児童社会学	選	2						2				◎		○				
M41322075	社会的養護 II	選	1						1				◎		○				
M43322076	子育て支援	選	1						1				○	○	◎	○			
M44332077	障害児支援実習	選	2						2				○			◎			
M41322078	子どもの認知発達	選	2						2				◎		○				
M41332079	児童発達研究法実習 II	選	2						2				◎	○		○			
M43312080	パーソナリティ発達研究	選	2						2				○		◎				
M43322081	人形劇演習	選	2						2				○		◎	○			
M44322082	児童音楽 II	選	2						2					○		◎			
M41312099	生涯学習支援論 II	選	2						2				◎	○		○			
M41312100	社会教育経営論 II	選	2						2				◎	○	○				
M45332084	社会教育実習	選	2						2						○	○	◎		
M46422085	生涯運動演習	選	2							2						○	○	◎	
M41422086	音楽応用演習 I	選	1							1			◎	○					○
M42422087	おもちゃ研究	選	1							1			○	◎					
M43422088	社会教育演習	選	2							2			○	○	◎				
M42422089	保育・教職実践演習(幼)	選	2								2			◎	○				
M41422090	音楽応用演習 II	選	1								1		◎	○					○
M44422091	社会教育課題研究	選	2								2		○		○	◎			
M41321092	児童学専門演習 I	必	2						2				◎		○	○			
M41321093	児童学専門演習 II	必	2							2			◎		○	○			
M41421094	児童学研究演習 I	必	2							2			◎		○				○
M41421095	児童学研究演習 II	必	2								2		◎		○				○
M41451096	卒業研究	必	6								6		◎		○				○

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

## 発達教育学部心理学科

### 心理学科専門科目

◆「心理学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	相互理解	対話・自律性	社会性	自立性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
M52121001	心理学入門演習	必	2	2																		
M51121002	心理的アセスメント	必	2	2								◎										
M51111003	心理学概論	必	2	2								◎										
M51111004	臨床心理学概論	必	2	2								◎										
M53112005	公認心理師の職責	選	2	2								○		◎								○
M51111006	心理学統計法	必	2	2								◎	○	○								
M5112007	人体の構造と機能及び疾病	選	2	2								◎										
M5112008	医療倫理学	選	2	2								◎		○								○
M51111009	心理学研究法 I	必	2	2								◎	○	○								
M5112010	心理学研究法 II	選	2	2								◎	○									
M51222011	心理学研究法 III	選	2		2							◎	○									心理学研究法 III、心理学研究法 IV、
M51222012	心理学研究法 IV	選	2			2						◎	○									心理学実験 I、心理学実験 II
M51232013	心理学実験 I	選	2		2							◎	○	○								より4単位以上修得すること。
M51232014	心理学実験 II	選	2		2							◎	○	○								
M52221015	心理学文献講読 I	必	2	2									◎									
M52221016	心理学文献講読 II	必	2	2									◎									
M51212017	発達心理学	選	2		2							◎										
M53212018	乳幼児心理学	選	2		2							○		◎								
M53212019	障害者・障害児心理学	選	2		2							○		◎								
M51212020	感情・人格心理学	選	2		2							◎										
M51212021	精神疾患とその治療	選	2	2								◎										
M51212022	学習・言語心理学A	選	2	2								◎										
M51212023	学習・言語心理学B	選	2		2							◎										
M51212024	教育・学校心理学A	選	2	2								◎										
M51212025	教育・学校心理学B	選	2		2							◎		○								
M51212026	知覚・認知心理学A	選	2	2								◎										
M51212027	知覚・認知心理学B	選	2		2							◎										
M51212028	心理学的支援法A	選	2		2							◎		○								
M51312029	心理学的支援法B	選	2		2							◎		○								
M54212030	社会・集団・家族心理学A	選	2	2								○			◎							
M51312031	社会・集団・家族心理学B	選	2			2						◎										
M51312032	司法・犯罪心理学A	選	2			2						◎										
M51312033	司法・犯罪心理学B	選	2			2						◎										
M51312034	青年心理学	選	2			2						◎										
M53312035	生徒指導心理学	選	2			2								◎								○
M53312036	発達障害児の心理と教育	選	2			2						○		◎		○						
M53312037	教育認知心理学	選	2			2						○		◎								
M51312038	福祉心理学	選	2			2						◎										
M51312039	関係行政論	選	2			2						◎										
M51312040	産業・組織心理学	選	2			2						◎										
M51312041	神経・生理心理学	選	2			2						◎										
M51312042	健康・医療心理学	選	2			2						◎										
M51312043	成人・老年心理学	選	2			2						◎										
M54322044	心理演習A	選	2			2						○		○	◎							
M54322045	心理演習B	選	2			2						○		○	◎							
M53321046	心理学演習 I	必	2			2								◎	○							○
M53321047	心理学演習 II	必	2			2								◎	○							○
M53421048	心理学演習 III	必	2					2						◎	○							○
M53421049	心理学演習 IV	必	2						2					◎	○							○
M55432050	心理実習	選	2						2					○		◎						○
M56451051	卒業研究	必	6							6				○								◎

專門領域

家政学部

## 家政学部食物栄養学科

### 食物栄養学科専門科目

◆「食物栄養学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 汎用的	判断	相互理解	対話・ 自律性・ 社会性	自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
N1111001	基礎の生物学	必	2	2							◎									
N1111002	基礎の有機化学	必	2	2							◎									
N1112003	基礎の化学	必	2	2							◎									
N1112004	食物栄養基礎演習	必	2	2							◎	○	○							
N1111005	基礎調理学	必	2	2							◎	○	○							
N1111006	解剖生理学	必	2	2							◎		○					○		
N1113007	調理学実習Ⅰ	必	1	1							◎	○	○							
N1111008	食物栄養の化学	必	2	2							◎		○							
N1111009	生化学	必	2	2							◎		○					○		
N1112010	応用調理学	選	2	2							◎		○							
N1212011	科学英語A	必	2	2							◎			○						
N1131012	基礎実験	必	1	1							◎									
N1132013	食品加工実習	選	1	1							◎		○					○		
N1131014	調理学実習Ⅱ	必	1	1							◎	○	○							
N11112015	臨床医学概論	選	2	2							◎		○					○		
N11112016	応用生理学	選	2	2							◎		○					○		
N1121017	食品学総論	必	2		2						◎		○					○		
N1121018	食品学各論	必	2		2						◎		○					○		
N1121019	基礎栄養学	必	2		2						◎		○					○		
N11212020	ライフステージ別栄養学	選	2		2						◎	○	○							
N11212021	運動栄養学	選	1		1						◎		○					○		
N11211022	食品衛生学	必	2		2						◎		○					○		
N11212023	栄養教育総論	選	2		2						◎							○		
N11212024	給食運営論	選	2		2						◎							○		
N11212025	栄養評価論	選	2		2						◎	○	○							
N11231026	食品学実験	必	2		2						◎	○	○							
N11232027	基礎栄養学実習	選	1		1						◎		○					○		
N11212028	臨床病態学	選	2		2						◎		○					○		
N11212029	微生物学	選	2		2						◎		○					○		
N11212030	介護福祉概論	選	2			2					◎		○					○		
N11212031	栄養教育各論	選	2			2					◎		○					○		
N11212032	臨床栄養学	選	2			2					◎		○							
N11212033	バイオテクノロジー	選	2			2					◎									
N1222034	科学英語B	選	2			2						◎		○						
N11212035	栄養機能論	選	1			1					◎		○					○		
N11212036	病態栄養学	選	2			2					◎		○					○		
N11212037	給食経営管理論	選	2			2					◎		○					○		
N11212038	学校栄養指導論	選	2			2					◎			○				○		
N11231039	生化学実験	必	1			1					◎		○					○		
N11231040	食品衛生学実験	必	1			1					◎		○					○		
N11232041	ライフステージ別栄養学実習	選	1			1					◎		○					○		
N14232042	給食運営実習	選	1			1					○	○			◎					
N1232043	臨床栄養学実習	選	1			1					○	◎	○							
N11311044	公衆衛生学	必	2				2				◎		○					○		
N11312045	公衆栄養学	選	2				2				◎	○						○		
N14312046	栄養カウンセリング論	選	2				2						○	◎				○		
N13312047	臨床栄養管理学	選	2				2				○		◎							
N11312048	栄養薬理学	選	1				1				◎		○					○		
N11331049	生理学実験	必	1				1				◎		○					○		
N11332050	解剖生理学実験	選	1				1				◎		○					○		
N11332051	バイオテクノロジー実験	選	1				1				◎		○					○		
N13332052	臨床栄養管理学実習	選	1				1				○		◎	○						
N13332053	栄養教育論実習	選	1				1				○		◎	○						
N13332054	給食経営管理実習	選	1				1				○		◎					○		
N11312055	健康環境論	選	2					2			◎		○					○		
N11312056	分子栄養学	選	2						2		◎							○		
N11312057	機器分析概論	選	2						2		◎							○		



ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 対話・ 相互理解	社会性・ 自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
N11312058	公衆栄養活動論	選	1					1					◎		○	○		
N11312059	栄養疫学	選	1					1					◎		○	○		
N11332060	調理学実習Ⅲ	選	1					1					◎	○	○			
N11332061	バイオサイエンス実験	選	1					1					◎					
N12332062	公衆栄養学実習	選	1					1					◎			○		
N15312063	チーム医療論	選	1					1					○		○		◎	
N14312064	学校栄養実践論	選	2					2					○			◎	○	
N11312065	臨床栄養実践論	選	2				2						◎		○	○		①臨床栄養系列
N11312066	食行動療法論	選	2				2						◎		○	○		
N11312067	健康教育実践論	選	2				2						◎		○	○		②健康教育系列
N13312068	スポーツ栄養学	選	2				2						○		◎	○		
N13312069	バイオサイエンス	選	2				2						○		◎	○		③研究開発系列
N13312070	食品開発論	選	2				2						○		◎	○		
N11412071	食空間プロデュース論	選	2					2					◎					
N14412072	臨床心理学概論	選	2					2					○			◎	○	
N11412073	食生活・食文化論	選	2					2					◎					
N11412074	フードコーディネーター論	選	2					2					◎					
N13422075	管理栄養士特別演習	選	2					2					○		◎			
N16321076	食物栄養研究法Ⅰ	必	2				2						○	○			◎	
N16421077	食物栄養研究法Ⅱ	必	2					2					○	○			◎	
N16421078	食物栄養研究法Ⅲ	必	2						2				○	○			◎	
N15322079	給食運営校外実習事前事後指導	選	1				1						○				◎	
N15332080	給食運営校外実習	選	1					1						○	○	◎		
N15322081	臨地実習事前事後指導	選	1				1						○				◎	
N14332082	臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)	選	1					1					○			◎	○	
N14332083	臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)	選	1					1					○			◎	○	
N14332084	臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)	選	1					1					○			◎	○	管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者は、合計3単位修得すること。
N14332085	臨地実習(公衆栄養学)	選	1					1					○			◎	○	
N14332086	臨地実習(給食経営管理論)	選	1					1					○			◎	○	
N12222087	情報処理	選	2		2									◎	○	○		
N11212088	被服学概論	選	2		2	(2)							◎		○	○		
N11212089	住居学概論	選	2		2	(2)							◎		○	○		(製図を含む)
N11212090	保育学	選	2		2	(2)							◎		○	○		(実習及び家庭看護を含む)
N11312091	家庭経営学	選	2				2	(2)					◎		○	○		(家族関係学及び家庭経済学を含む)
N11332092	衣服実習	選	2				2	(2)					◎		○	○		
N11312093	家庭電気・機械	選	2				2	(2)					◎		○	○		
N11212094	家庭科教育法1	選	2		2	(2)							◎		○	○		
N11212095	家庭科教育法2	選	2		2	(2)							◎		○	○		
N11312096	家庭科教育法3	選	2				2	(2)					◎		○	○		
N11312097	家庭科教育法4	選	2				2	(2)					◎		○	○		
N16451098	卒業研究	必	6						6					○	○			◎

管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者及び食品衛生監視員、栄養教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状「家庭」、高等学校教諭一種免許状「家庭」に関する履修は、別に定める履修科目表に従うこと。

## 家政学部生活造形学科

### 生活造形学科専門科目

◆「生活造形学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必 選 の 別	単 位 数 計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理 解 ・ 知 識	汎 用 的 技 能	判 断 思 考	相 互 理 解 対 話	社 会 性 自 律 性	自 立 性		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期								
N21121001	生活造形基礎演習	必	2	2							◎		○	○					
N21111002	生活デザインベーシック	必	2	2							◎		○						
N21111003	衣生活概論	必	2	2							◎		○			○			
N21111004	建築一般構造	必	2	2							◎	○	○						
N21132005	アパレル製作実習	選	2	2							◎		○						○
N21132006	建築設計製図実習	選	2	2							◎	○							○
N23132007	デザイン実習 I	選	2	2								○	◎	○					
N23112008	生活文化学	選	2		2								◎	○					
N21112009	色彩学	選	2		2						◎	○	○						
N21112010	ファッションデザイン学	選	2		2						◎		○			○			
N21112011	アパレル設計学	選	2		2						◎	○	○						
N21112012	デザイン人間工学1	選	2		2						◎		○			○			
N21112013	住宅計画	選	2		2						◎		○	○					
N21112014	構造計画	選	2		2						◎	○	○						
N22132015	デザイン実習 II	選	2		2						◎	◎	○						
N21132016	ファッションデザイン学実習 I	選	2		2						◎		○			○			
N21132017	アパレル設計製図実習	選	2		2						◎	○	○						
N22132018	空間デザイン実習 I A(※1)	選	2		2							◎	○						○
N22132019	空間デザイン実習 I B(※1)	選	2		2							◎	○						○
N25122020	クリエイティブ・ライティング	選	2		2							○	○					◎	
N21212021	デザイン材料論	選	2			2					◎	○							
N24212022	World Art History 1	選	2			2									◎		○		
N23212023	デザイン人間工学2	選	2			2					○		◎						
N21212024	アパレル材料学1	選	2			2					◎		○						
N21212025	日本服飾史	選	2			2					◎		○						
N21212026	アパレル体型学	選	2			2					◎	○	○						
N21212027	ファッションブランド論	選	2			2					◎		○						
N21212028	建築計画1	選	2			2					◎	○	○						
N21212029	住宅再生論	選	2			2					◎		○			○			
N21212030	インテリア計画	選	2			2					◎		○			○			
N21212031	日本建築史	選	2			2					◎		○						
N21212032	環境計画	選	2			2					◎		○			○			
N22232033	デザイン実習 III	選	2			2					○	◎	○						
N21232034	ファッションデザイン学実習 II	選	2			2					◎		○			○			
N21232035	アパレルCAD実習(※2)	選	2			2					◎		○			○			
N22232036	空間デザイン実習 II A(※3)	選	2			2						◎	○						○
N22232037	空間デザイン実習 II B(※3)	選	2			2						◎	○						○
N22232038	建築CAD実習A(※4)	選	2			2						◎	○						○
N22232039	建築CAD実習B(※4)	選	2			2						◎	○						○
N22222040	外書講読1	選	2			2					○	◎	○						
N21212041	構造力学 I	選	2			2					◎		○						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自立性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
N24212042	京都工芸論1	選	2				2						○			◎					
N21212043	造形芸術論1	選	2				2						◎	○	○						
N26222044	World Art History 2	選	2				2							○				○	◎		
N21212045	デザインマーケティング論	選	2				2						◎	○				○			
N21212046	アパレル材料学2	選	2				2						◎		○						
N21212047	アパレル染色学	選	2				2						◎		○						
N21212048	西洋服飾史	選	2				2						◎		○						
N21212049	ファッション社会学	選	2				2						◎		○						
N21212050	アパレル造形学	選	2				2						◎		○			○			
N21212051	ファッションビジネス論	選	2				2						◎		○			○			
N21212052	建築計画2	選	2				2						◎		○			○			
N21212053	インテリアエレメント	選	2				2						◎		○			○			
N21212054	西洋建築史	選	2				2						◎		○						
N21212055	建築環境工学	選	2				2						◎	○	○						
N21222056	伝統技法演習	選	2				2						◎		○						
N23232057	デザイン実習IVA	選	2				2							○	◎	○					
N23232058	デザイン実習IVB	選	2				2							○	◎	○					
N24232059	デザイン実習IVC	選	2				2								○	◎	○				
N23232060	アパレル繊維・材料学実験 I	選	2				2						○	○	◎						
N21232061	テキスタイルデザイン実習	選	2				2						◎	○						○	
N21232062	アパレル生産実習	選	2				2						◎	○						○	
N22232063	空間デザイン実習ⅢA(※5)	選	2				2							◎		○				○	
N22232064	空間デザイン実習ⅢB(※5)	選	2				2							◎		○				○	
N21212065	地域建築再生論	選	2				2						◎	○							○
N21212066	構造力学Ⅱ	選	2				2						◎		○						
N24312067	近代日本絵画史	選	2						2							◎	○				
N23312068	造形芸術論2	選	2						2					○	◎						○
N21312069	景観デザイン論	選	2						2				◎		○			○			
N21322070	webデザイン演習	選	2						2				◎		○						
N21312071	京都学	選	2						2				◎			○					
N23312072	衣環境論	選	2						2				○		◎			○			
N21312073	アパレル管理学	選	2						2				◎		○			○			
N21312074	アパレル企画論	選	2						2				◎		○	○					
N21312075	室内様式史	選	2						2				◎		○						
N21312076	建築材料	選	2						2				◎	○	○						
N22322077	外書講読2	選	2						2					◎		○					○
N23332078	デザイン実習VA	選	2						2					○	◎	○					
N23332079	デザイン実習VB	選	2						2					○	◎	○					
N23332080	アパレル繊維・材料学実験Ⅱ	選	2						2				○	○	◎						
N22332081	アパレル企画実習	選	2						2					◎		○				○	
N21332082	工芸染色実習	選	2						2				◎	○							○
N24332083	テキスタイルアドバイザー実習(※6)	選	2						2						○	◎	○				
N22332084	空間デザイン実習ⅣA(※7)	選	2						2					◎	○						○
N22332085	空間デザイン実習ⅣB(※7)	選	2						2					◎	○						○
N21312086	建築デザイン論	選	2						2				◎		○			○			
N24332087	デザイン実習VC	選	2						2						○	◎					○
N21312088	消費生活論	選	2						2				◎		○						○

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	相互理解・対話	社会性・自律性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
N25322089	論文作成演習	選	2						2					○	○		◎		
N21312090	京都工芸論2	選	2						2					◎			○		
N21312091	ファッション文化論	選	2						2					◎		○			
N25312092	アパレル特殊講義	選	2						2					○			◎	○	
N21312093	建築法規	選	2						2					◎		○		○	
N21312094	建築設備	選	2						2					◎	○	○			
N21312095	建築施工	選	2						2					◎	○	○			
N21332096	アパレル染色整理学実験	選	2						2					◎		○			○
N23332097	アパレル造形実習	選	2						2							◎		○	○
N22332098	空間造形実習A(※8)	選	2						2					◎		○	○		
N22332099	空間造形実習B(※8)	選	2						2					◎	○				○
N22332100	空間造形実習C(※8)	選	2						2					◎			○	○	
N21312101	メディアデザイン	選	2						2					◎		○			
N25312102	消費科学	選	2						2					○				◎	
N21321103	生活造形学専門演習(※9)	必	2						2					◎	○				○
N21421104	生活造形学卒業研究演習Ⅰ	必	2						2					◎		○			○
N21421105	生活造形学卒業研究演習Ⅱ	必	2						2					◎		○			○
N21212106	食物栄養学概論	選	2			2								◎		○			
N21212107	保育学	選	2			2								◎	○	○			(実習及び家庭看護を含む)
N22212108	住居学概論	選	2			2								◎	○				(製図を含む)
N21312109	家庭経営学	選	2						2					◎		○		○	(家族関係学及び家庭経済学を含む)
N22332110	調理実習	選	2						2					◎	○				
N21312111	家庭電気・機械	選	2						2					◎	○	○			
N21321112	情報処理	選	2						2					◎	○	○			
N21212113	家庭科教育法1	選	2			2	(2)							◎		○		○	
N21212114	家庭科教育法2	選	2			2	(2)							◎		○	○		
N21312115	家庭科教育法3	選	2						2	(2)				◎		○		○	
N22312116	家庭科教育法4	選	2						2	(2)				◎		○		○	
N23451117	卒業研究	必	6							6						◎		○	○

- (※1) 空間デザイン実習Ⅰ(A,B)は、建築設計製図実習の単位を修得しなければ履修できない。
  - (※2) アパレルCAD実習は、アパレル設計製図実習の単位を修得しなければ履修できない。
  - (※3) 空間デザイン実習Ⅱ(A,B)は、空間デザイン実習Ⅰ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
  - (※4) 建築CAD実習(A,B)は、空間デザイン実習Ⅰ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
  - (※5) 空間デザイン実習Ⅲ(A,B)は、空間デザイン実習Ⅱ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
  - (※6) テキスタイルアドバイザー実習は、衣料管理士(1級)の資格取得希望者以外は履修できない。
  - (※7) 空間デザイン実習Ⅳ(A,B)は、空間デザイン実習Ⅲ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
  - (※8) 空間造形実習A・空間造形実習B・空間造形実習Cは、空間デザイン実習Ⅳ(A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
  - (※9) 生活造形学専門演習は、生活造形基礎演習の単位を修得しなければ履修できない。
- 1級建築士及び2級・木造建築士並びに衣料管理士(1級)に関する履修は、別に定める履修科目表に従うこと。

専門領域

現代社会学部

## 現代社会学部 現代社会学科 (現代社会専攻・国際社会専攻・情報システム専攻)

### 現代社会学科専門科目

◆「現代社会学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。  
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	相互理解 思考	対話・ 自律性	社会性・ 自律性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
P15111001	現代社会入門Ⅰ	必	2	2																導入科目
P11111002	現代社会入門Ⅱ	必	2	2																
P16111003	ジェンダーと現代社会	必	2		2															
外国語科目	P12212004	専門英語Ⅰ	選	2		2														<b>スキル科目</b> 【現代社会専攻】 合計10単位以上修得すること。 【国際社会専攻】 専門英語Ⅰ・専門英語Ⅱ・専門英語Ⅲ・専門英語Ⅳの4科目8単位中3科目6単位を含む、合計10単位以上修得すること。 【情報システム専攻】 プログラミング入門とコンピュータ・ネットワークⅠの2科目4単位を含む 合計10単位以上修得すること。
	P12212005	専門中国語Ⅰ	選	2			2													
	P12212006	専門韓国語Ⅰ	選	2				2												
	P12212007	専門英語Ⅱ	選	2				2												
	P12312008	専門中国語Ⅱ	選	2					2											
	P12312009	専門韓国語Ⅱ	選	2						2										
	P12312010	専門英語Ⅲ	選	2						2										
	P12312011	専門英語Ⅳ	選	2							2									
情報科目	P11112012	数学入門	選	2	2															(実習を含む)  (実習を含む)  (実習を含む)
	P11112013	基礎数学Ⅰ	選	2		2														
	P11212014	基礎数学Ⅱ	選	2			2													
	P12212015	数理モデル	選	2				2												
	P12312016	統計学	選	2					2											
	P11112017	プログラミング入門	選	2		2														
	P12212018	応用プログラミングⅠ	選	2			2													
	P11212019	コンピュータ・ネットワークⅠ	選	2				2												
	P12212020	コンピュータ・ネットワークⅡ	選	2					2											
	P12112021	社会データ処理基礎	選	2		2														
調査科目	P12222022	社会データ分析入門	選	2			2													
	P13222023	社会データ分析実践	選	2				2												
	P12212024	社会調査法Ⅰ	選	2			2													
	P12212025	社会調査法Ⅱ	選	2				2												
	P12312026	社会調査法Ⅲ	選	2					2											
アプローチ科目	P11112027	哲学アプローチ	選	2	2															<b>アプローチ科目</b> 【現代社会専攻】 合計10単位以上修得すること。 【国際社会専攻】 国際関係論アプローチを含む合計10単位以上修得すること。 【情報システム専攻】 情報学アプローチを含む合計10単位以上修得すること。
	P11112028	社会学アプローチ	選	2	2															
	P11112029	経済学アプローチ	選	2	2															
	P11112030	法学アプローチ	選	2	2															
	P11112031	情報学アプローチ	選	2	2															
	P11112032	政治学アプローチ	選	2		2														
	P11112033	心理学アプローチ	選	2		2														
	P11112034	経営学アプローチ	選	2		2														
	P11112035	環境学アプローチ	選	2		2														
	P11112036	国際関係論アプローチ	選	2		2														

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	相互理解・対話・自律性	社会性・自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
P15212037	倫理学	選	2		2							○			◎			
P11212038	人間学	選	2		2							◎				○		
P11212039	自然環境と生態系	選	2		2							◎	○					
P11212040	環境政策論	選	2		2							◎	○					
P11212041	生命倫理学	選	2		2							◎		○			○	
P11212042	生命の起源と進化	選	2		2							◎		○				
P11312043	現代人権論	選	2				2					◎	○				○	
P11312044	多様性の生物学	選	2				2					◎	○					
P12312045	環境開発論	選	2				2					○	◎					
P11312046	応用倫理学	選	2				2					◎	○				○	
P12312047	エネルギーと環境	選	2				2					○	◎					
P13312048	環境社会学	選	2				2					○		◎				
P11212049	臨床心理学	選	2		2							◎		○				
P14212050	文化人類学	選	2		2							○			◎			
P11212051	社会学概論	選	2		2							◎	○		○			
P11212052	社会心理学	選	2		2							◎				○		
P11212053	文化社会学	選	2		2							◎	○	○				
P11212054	ニューロサイエンス概論	選	2		2							◎						
P11312055	精神医学概論	選	2				2					◎						
P12312056	メディア文化論	選	2				2					○	◎					
P12312057	労働の社会学	選	2				2					○	◎					
P14312058	人間関係の心理学	選	2				2					○			◎			
P11312059	比較文化精神医学	選	2				2					◎		○				
P11312060	現代宗教論	選	2				2					◎			○			
P11212061	家族社会学	選	2		2							◎		○				
P11212062	福祉と家族	選	2		2							◎	○					
P11212063	地域社会学	選	2		2							◎		○			○	
P11212064	市民活動論	選	2		2							◎		○				
P11212065	家族法	選	2		2							◎	○					
P12212066	民俗文化論	選	2		2							○	◎					
P11212067	国際結婚論	選	2		2							◎	○		○			
P14312068	比較家族史	選	2				2					○			◎		○	
P11312069	ジェンダーと法	選	2				2					◎	○	○				
P13312070	家族経済論	選	2				2					○		◎				
P14312071	家族の人類学	選	2				2					○			◎			
P11312072	ジェンダーの社会学	選	2				2					◎	○	○				
P12212073	政治過程論	選	2		2							○	◎	○				
P11212074	マイノリティと法	選	2		2							◎		○				
P11212075	日本国憲法	選	2		2							◎	○	○				
P12212076	行政学	選	2		2							○	◎	○				
P11212077	法社会学	選	2		2							◎		○				
P11212078	民法	選	2		2							◎	○	○				
P12212079	比較政治論	選	2		2							○	◎					
P11312080	行政法	選	2				2					◎	○	○				
P12312081	社会福祉論	選	2				2					○	◎					
P11312082	地方自治論	選	2				2					◎	○	○				
P11312083	都市政策論	選	2				2					◎	○					
P11312084	労働法	選	2				2					◎	○	○				
P12312085	社会保障制度論	選	2				2					○	◎				○	
P13212086	マクロ経済学	選	2		2							○	○	◎				
P13212087	ミクロ経済学	選	2		2							○		◎				
P13212088	経営戦略論	選	2		2							○	○	◎				
P12212089	簿記 I	選	2		2								◎	○			○	
P13212090	金融論	選	2		2							○	○	◎				
P13212091	財政学	選	2		2							○	○	◎				
P13212092	組織マネジメント論	選	2		2							○		◎				
P12212093	簿記 II	選	2		2								◎	○			○	
P13312094	国際経営論	選	2				2					○		◎				
P13312095	マーケティング論	選	2				2						○	◎				
P13312096	会計学	選	2				2						○	◎				
P13312097	日本経済史	選	2				2					○	○	◎				
P13312098	教育経済学	選	2				2					○		◎				
P13322099	マーケティング分析	選	2				2					○	◎					

クラスター科目

各専攻とも以下の条件のもと、合計26単位以上修得すること。

①「主選択」及び「副選択」の2つのクラスターを選択すること。

②主選択のクラスターから12単位以上修得すること。

③副選択のクラスターから10単位以上修得すること。

②及び③の条件を満たしたうえで、全7クラスターのいずれかより4単位以上修得して、合計26単位以上修得すること。

「主選択」のクラスター

【現代社会専攻】  
「人間・環境」  
「心理・文化」  
「家族・地域社会」  
「政治・公共政策」  
「経済・ビジネス」  
(5クラスターから1つ選択)

【国際社会専攻】  
「国際社会」

【情報システム専攻】  
「情報」

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話・ 自律性	社会性・ 自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
P13212100	アルゴリズム論	選	2		2						○	◎							クラスター科目  (実習を含む)	
P11212101	情報数学	選	2		2						◎	○	○							
P11212102	社会情報学	選	2		2						◎	○	○							
P11212103	情報ネットワーク	選	2			2					◎	○	○							
P11212104	情報文明論	選	2			2					◎	○	○				○			
P11212105	ロボット社会論	選	2			2					◎	○	○				○			
P11312106	情報理論	選	2				2				◎	○	○							
P11312107	情報セキュリティ	選	2				2				◎	○	○							
P11312108	データベース	選	2				2				◎	○	○							
P12312109	応用データベース	選	2					2			○	◎								
P11312110	知能情報学	選	2				2				◎	○								
P12312111	Webシステムデザイン	選	2					2				◎	○							
P11212112	現代ヨーロッパ論	選	2		2						◎		○	○						
P11212113	現代アジア論	選	2		2						◎		○	○						
P11212114	現代アフリカ論	選	2		2						◎		○	○						
P11212115	現代北米論	選	2		2						◎		○	○						
P11212116	国際関係論	選	2			2					◎		○							
P11212117	現代イスラーム地域論	選	2			2					◎		○							
P11212118	現代ラテンアメリカ論	選	2			2					◎		○	○						
P13212119	国際法	選	2			2					○	◎								
P11312120	国際関係史	選	2				2				◎		○							
P13312121	国際経済学	選	2				2				○	○	◎							
P11312122	国際観光論	選	2				2				◎		○							
P14312123	多文化社会論	選	2					2				○	◎							
P13312124	現代世界経済論	選	2				2				○	○	◎							
P12322125	ソーシャル・リサーチ I	選	2				2					◎	○				○			
P12322126	ソーシャル・リサーチ II	選	2					2			○	◎	○							
P12322127	フィールド・ワーク I	選	2					2				◎	○				○			
P12322128	フィールド・ワーク II	選	2					2			○	◎	○							
P13312129	簿記III	選	2				2					○	◎							
P13312130	サービス経営特論	選	2				2						◎	○						
P12212131	応用プログラミング II	選	2			2					○	◎					○			
P11212132	ヒューマンコンピュータインタラクション	選	2			2					◎		○							
P12312133	応用ネットワーク	選	2				2				○	◎					○			
P11312134	プロジェクト管理	選	2				2				◎		○							
P12312135	ネットワーク運用	選	2					2			○	◎					○			
P11312136	情報技術者の社会的責任	選	2					2			◎		○				○			
P14231237	多文化理解実習	選	2		2								○	◎						
P13212138	国際協力論	選	2			2					○		◎	○						
P11112139	短期英語研修A	選	4	4							◎	○		○						
P11112140	短期英語研修B	選	2	2							◎	○		○						
P11212141	Japan Studies 1	選	2		2						◎	○		○						
P11212142	Japan Studies 2	選	2			2					◎	○		○						
P11212143	Study Abroad A I	選	4			4					◎	○		○						
P11212144	Study Abroad A II	選	4			4					◎	○		○						
P11212145	Study Abroad A III	選	4			4					◎	○		○						
P11212146	Study Abroad A IV	選	4			4					◎	○		○						
P11312147	Study Abroad A V	選	4				4				◎	○		○						
P11312148	Study Abroad A VI	選	4				4				◎	○		○						
P11312149	Study Abroad A VII	選	4				4				◎	○		○						
P11312150	Study Abroad A VIII	選	4				4				◎	○		○						
P11212151	Study Abroad B I	選	2			2					◎	○		○						
P11312152	Study Abroad B II	選	2				2				◎	○		○						
P11212153	特講A	選	2		2						◎									
P11212154	特講B	選	2			2					◎									
P11312155	特講C	選	2				2				◎									
P11312156	特講D	選	2					2			◎									



ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	相互理解・ 思考	対話・ 自律性・ 社会性	自立性						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
P11112157	日本史概論	選	2	2	(2)										◎							
P11112158	東洋史概論	選	2	2	(2)										◎							
P11112159	西洋史概論	選	2	2	(2)										◎							
P11212160	歴史地理学概論	選	2			2	(2)								◎							
P11212161	人文地理学概論	選	2			2	(2)								◎							
P11312162	地誌学概論	選	2					2	(2)						◎							
P11312163	自然地理学概論	選	2					2	(2)						◎							
P11212164	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2			2	(2)								◎							
P11212165	社会科教育法(公民分野)	選	2			2	(2)								◎							
P11312166	地理歴史科教育法	選	2					2	(2)						◎							
P11312167	公民科教育法	選	2					2	(2)						◎							
P11212168	情報科教育法1	選	2			2									◎		○					
P11212169	情報科教育法2	選	2			2									◎		○					
P13121170	基礎演習 I	必	2	2												◎	○					
P13121171	基礎演習 II	必	2		2											◎	○					
P13221172	演習 I	必	2			2										◎	○					
P13221173	演習 II	必	2				2									◎	○					
P13321174	演習 III	必	2					2								◎	○					
P13321175	演習 IV	必	2						2							◎	○					
P13421176	演習 V	必	2							2						◎	○					
P13421177	演習 VI	必	2								2					◎	○					
P15451178	卒業論文	必	4												○		○			◎		

- (注1)「専門中国語 I」及び「専門中国語 II」は、「中国語 I A1」、「中国語 I A2」、「中国語 I B1」、「中国語 I B2」及び「中国語 II A1」の5科目(5単位)、並びに「中国語 II A2」または「中国語 II A3」のいずれか1科目(1単位)、合計6科目(6単位)を修得しなければ履修できない。
- (注2)「専門コア語 I」及び「専門コア語 II」は、「コア語 I A1」、「コア語 I A2」、「コア語 I B1」、「コア語 I B2」及び「コア語 II A1」の5科目(5単位)、並びに「コア語 II A2」または「コア語 II A3」のいずれか1科目(1単位)、合計6科目(6単位)を修得しなければ履修できない。
- (注3)「社会データ分析実践」は「社会データ分析入門」の単位を修得しなければ履修できない。
- (注4)「簿記Ⅲ」は、「簿記 I」「簿記 II」の単位を修得しなければ履修できない。
- (注5)「サービス経営特論」は、「経営戦略論」「組織マネジメント論」「マーケティング論」の単位を修得しなければ履修できない。
- (注6)「多文化理解実習」「短期英語研修A」「短期英語研修B」は、履修要項第4条第4項に定める「1年間に登録できる授業科目の単位数」に含めない。
- (注7)「Study Abroad A I」～「Study Abroad AⅧ」、「Study Abroad B I」及び「Study Abroad B II」は半期・通年の留学の読み替え科目。(単位登録、単位の認定等必要な事項は別に定める。)これらの科目は「国際関係論アプローチ」の単位を予め修得しなければ履修できない。
- (注8)「演習 V」、「演習 VI」及び「卒業論文」は、「基礎演習 I」、「基礎演習 II」、「演習 I」、「演習 II」、「演習 III」及び「演習 IV」の6科目(12単位)中、4科目(8単位)以上修得しなければ履修できない。



専門領域

法学部

## 法学部法学科

### 法学科専門科目

◆「法学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。

72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位として含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
Q11112001	法学入門	選	2	2								◎		○							
Q11112002	司法制度入門	選	2	2								◎		○							
Q12121003	導入演習	必	2	2								◎		○							○
Q11112004	日本法制史	選	2	2								◎		○							
Q11112005	西洋法制史	選	2		2							◎	○								
Q13212006	法社会学	選	2			2						○	◎								
Q13312007	法哲学	選	2				2					○		◎							
Q11312008	英米法 I	選	2				2					◎	○	○							
Q11312009	英米法 II	選	2				2					◎	○	○							
Q11111010	憲法 I A(人権)	必	2	2								◎		○							
Q11112011	憲法 I B(人権)	選	2	2								◎		○							
Q11112012	憲法 II A(統治)	選	2		2							◎		○							
Q11112013	憲法 II B(統治)	選	2		2							◎		○							
Q11212014	行政法総論 I	選	2			2						◎		○							
Q11212015	行政法総論 II	選	2			2						◎		○							
Q11212016	行政救済法	選	2				2					◎			○						
Q11312017	地方自治法	選	2					2				◎		○							
Q11111018	民法 I A(総則)	必	2	2								◎		○							
Q11112019	民法 I B(総則)	選	2	2								◎		○							
Q11112020	民法 II (物権)	選	2		2							◎		○							
Q11212021	民法 III (担保物権)	選	2				2					◎		○							
Q11212022	民法 IV A (債権総論)	選	2			2						◎		○							
Q11212023	民法 IV B (債権総論)	選	2			2						◎		○							
Q11112024	民法 V A (債権各論)	選	2		2							◎		○							
Q11212025	民法 V B (債権各論)	選	2				2					◎		○							
Q11112026	民法 VI A (親族・相続)	選	2		2							◎		○							
Q11212027	民法 VI B (親族・相続)	選	2				2					◎		○							
Q11312028	民事訴訟法 I	選	2					2				◎		○							
Q13312029	民事訴訟法 II	選	2						2			○		◎							
Q11312030	民事執行法・民事保全法	選	2						2			◎		○							
Q11312031	破産法	選	2						2			◎		○							
Q11211032	企業法総論	必	2			2						◎		○							
Q11212033	商取引法	選	2			2						◎		○							
Q11212034	会社法 I (ガバナンス)	選	2				2					◎		○							
Q11212035	会社法 II (ファイナンス)	選	2				2					◎		○							
Q11312036	保険法	選	2					2				◎		○							
Q11312037	有価証券法	選	2						2			◎		○							
Q11111038	刑法 I A(総論)	必	2	2								◎		○							
Q11112039	刑法 I B(総論)	選	2	2								◎		○							
Q11112040	刑法 II A(各論)	選	2		2							◎		○							
Q11112041	刑法 II B(各論)	選	2		2							◎		○							
Q11212042	刑事訴訟法 I	選	2			2						◎		○							
Q12212043	刑事訴訟法 II	選	2				2					◎	◎								
Q11312044	刑事政策 I (犯罪原因)	選	2						2			◎		○							
Q11312045	刑事政策 II (犯罪対策)	選	2						2			◎		○							
Q11312046	少年法	選	2						2			◎		○							
Q11212047	租税法	選	2			2						◎		○							
Q11212048	生命倫理法	選	2				2					◎		○							
Q11212049	法と心理	選	2				2					◎		○							
Q11212050	労働法 I	選	2				2					◎		○							
Q11212051	労働法 II	選	2				2					◎		○							
Q11312052	社会保障法	選	2					2				◎		○							
Q11312053	知的財産法 I	選	2					2				◎		○							
Q11312054	知的財産法 II	選	2					2				◎		○							
Q11312055	消費者法	選	2						2			◎		○							
Q11312056	経済法	選	2						2			◎		○							
Q11412057	模擬裁判	選	2							2		◎		○							

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断・ 思考・ 相互理解	対話・ 自律性・ 社会性	自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
Q11112058	国際機構論	選	2		2							◎			○				
Q11212059	国際法ⅠA	選	2			2						◎		○					
Q11212060	国際法ⅠB	選	2			2						◎		○					
Q11212061	国際法Ⅱ	選	2				2					◎		○					
Q11312062	国際法Ⅲ	選	2					2				◎		○					
Q11312063	国際私法ⅠA	選	2					2				◎		○					
Q11312064	国際私法ⅡA	選	2					2				◎		○					
Q11312065	国際私法ⅠB	選	2						2			◎		○					
Q11312066	国際私法ⅡB	選	2							2		◎		○					
Q11112067	政治学	選	2	2								◎		○					
Q11112068	政治思想史	選	2		2							◎		○					
Q11212069	比較政治論	選	2				2					◎		○					
Q11212070	行政学	選	2				2					◎		○					
Q11212071	財政学	選	2				2					◎		○					
Q11312072	政策学	選	2					2				◎		○					
Q11312073	地方自治論	選	2					2				◎		○					
Q11112074	国際社会と日本	選	2	2								◎		○					
Q11112075	国際人権論	選	2		2							◎		○					
Q11212076	国際関係論	選	2			2						◎		○					
Q11212077	グローバル社会論	選	2			2						◎		○					
Q13212078	平和研究Ⅰ	選	2				2					○	◎	○					
Q13212079	平和研究Ⅱ	選	2					2				○	◎	○					
Q11312080	国際関係史	選	2					2				◎		○					
Q11112081	ミクロ経済学	選	2		2							◎		○					
Q11212082	マクロ経済学	選	2			2						◎		○					
Q11312083	国際経済学	選	2					2				◎		○					
Q11312084	会計学	選	2					2				◎	○						
Q11111085	ジェンダー法Ⅰ	必	2		2							◎		○					
Q14232086	ジェンダー法実習	選	2			2								◎	○				
Q13212087	ジェンダー法Ⅱ	選	2			2						○		◎					
Q13212088	ジェンダー法Ⅲ	選	2			2						○		◎					
Q13212089	ジェンダー法Ⅳ	選	2				2					○		◎					
Q13212090	ジェンダー法Ⅴ	選	2					2				○		◎					
Q13312091	ジェンダー法Ⅵ	選	2						2					◎				○	
Q11212092	生命と法	選	2			2						◎		○					
Q13312093	平和と女性	選	2					2				○		◎	○				
Q11112094	実務法学基礎Ⅰ	選	2	2								◎	○						
Q11112095	実務法学基礎Ⅱ	選	2	2								◎		○					
Q11112096	実務法学基礎Ⅲ	選	2		2							◎		○					
Q11212097	実務法学Ⅰ	選	2			2						◎		○					
Q11212098	実務法学Ⅱ	選	2			2						◎		○					
Q15212099	法律アクティブ・リサーチⅠ	選	2				2						○	○	◎				
Q15312100	法律アクティブ・リサーチⅡ	選	2					2					○	○	◎				
Q12322101	外国語文献講読Ⅰ(英)	選	2					2				○	◎	○					
Q12322102	外国語文献講読Ⅰ(仏)	選	2						2			○	◎	○					
Q12322103	外国語文献講読Ⅰ(独)	選	2						2			○	◎	○					
Q12322104	外国語文献講読Ⅱ(英)	選	2						2			○	◎	○					
Q12121105	基礎演習	必	2		2								◎		○				○
Q13221106	専門入門演習Ⅰ	必	2			2							◎	○	○				○
Q13221107	専門入門演習Ⅱ	必	2				2						◎	○	○				○
Q13321108	事例演習Ⅰ	必	2					2					◎	○	○				○
Q13321109	事例演習Ⅱ	必	2						2				◎	○	○				○
Q13421110	専門演習Ⅰ	必	2							2			◎	○	○				○
Q13421111	専門演習Ⅱ	必	2								2		◎	○	○				○
Q13422112	法学文献講読	選	2								2		◎		○				○

6単位選択必修  
(「ジェンダー法Ⅰ」を除く8科目から3科目選択)  
※「ジェンダー法Ⅲ」「ジェンダー法Ⅳ」は隔年開講

—専門領域 法学科—

ナンバリング	科目名	必 選 の 別	単 位 数 計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理 解 ・ 技 能	判 断 ・ 思 考 ・ 相 互 理 解	対 話 ・ 社 会 性 ・ 自 立 性	自 立 性					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期									
Q11112113	日本史概論	選	2	2	(2)															
Q11112114	東洋史概論	選	2	2	(2)															
Q11112115	西洋史概論	選	2	2	(2)															
Q11112116	心理学アプローチ	選	2	2																
Q11212117	倫理学	選	2		2															
Q11212118	歴史地理学概論	選	2		2	(2)														
Q11212119	人文地理学概論	選	2		2	(2)														
Q11312120	地誌学概論	選	2				2	(2)												
Q11312121	自然地理学概論	選	2				2	(2)												
Q11312122	生命倫理学	選	2					2												
Q11212123	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2		2	(2)														
Q11212124	社会科教育法(公民分野)	選	2		2	(2)														
Q11312125	地理歴史科教育法	選	2				2	(2)												
Q11312126	公民科教育法	選	2				2	(2)												
Q16451127	卒業研究	必	2						2			○								◎

(注) 専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、法学文献講読及び卒業研究は、導入演習、基礎演習、専門入門演習Ⅰ、専門入門演習Ⅱ、事例演習Ⅰ、事例演習Ⅱの6科目12単位中、4科目8単位以上修得しなければ履修できない。

# Ⅲ. 免許・諸資格

## 目 次

### 教職課程

【学科・専攻別 取得可能免許一覧】.....	P.69
教員免許の取得にあたって .....	P.70
教員免許 科目履修表 .....	P.71

### 諸資格

【学科・専攻別 取得可能諸資格一覧】.....	P.97
諸資格 科目履修表.....	P.98





# 教職課程

## 【学科・専攻別 取得可能免許一覧】

学科・専攻ごとに、取得可能な諸資格に「●」を付しています。  
「●」の下に履修表の掲載ページを記載しています。

学科・専攻 教員免許の種類	国文学科	英文学科	史学科	教育学専攻 教育学科	養護・福祉教育学専攻 教育学科	音楽教育学専攻 教育学科	児童学科	食物栄養学科	生活造形学科	現代社会学科	法学科
中学校(国語)	● P.71										
中学校(外国語「英語」)		● P.73									
中学校(社会)			● P.75							● P.91	● P.94
中学校(保健)					● P.80						
中学校(音楽)						● P.83					
中学校(家庭)								● P.86	● P.89		
高等学校(国語)	● P.72										
高等学校(外国語「英語」)		● P.74									
高等学校(地理歴史)			● P.76								
高等学校(公民)										● P.92	● P.95
高等学校(情報)										● P.93	
高等学校(保健)					● P.81						
高等学校(音楽)						● P.84					
高等学校(家庭)								● P.87	● P.90		
小学校				● P.78							
幼稚園				● P.77			● P.85				
特別支援学校				● P.79							
養護教諭					● P.82						
栄養教諭								● P.88			

◆心理学科は教員免許状を取得することができません。

# 教員免許の取得にあたって

## 1. 教職課程と教育職員免許状について

教員として働くためには、「**教育職員免許状**」（以下「免許状」）を取得することが必要です。免許状は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・栄養教諭・養護教諭など、学校種・免許種ごと（さらに中学校・高等学校は教科別）に分かれています。

免許状を取得するためには、教職課程のある大学等において、所定の単位を修得する必要があります。大学を卒業し、免許状取得の所要資格を得た後、各都道府県の教育委員会へ申請手続きを行うことで、免許状が授与されます。

但し、本学で取得できる免許状は、履修要項第 56 条に規定のとおり、所属する学科・専攻によって異なります。

## 2. 『教職課程ハンドブック』の配布について

『教職課程ハンドブック』とは、教職課程（免許状を取得するための課程）の概要や履修方法、各種手続き方法等をまとめたものです。2 回生時に開催する「**教職課程履修ガイダンス**」にて配布します。配布対象の学生は、後述の「教職課程履修費」を納入した学生となります。

## 3. 教職課程履修費について

履修要項第 9 章の第 57 条に規定のとおり、教職課程を履修する者は「**教職課程履修費**」の納入が必要となります。2 回生時より毎年 13,000 円（合計 39,000 円）を納入してください。納入期間等の詳細については、1 回生終了時に「京女ポータル」にてお知らせします。

## 4. 教職課程履修制限について

養成する教員の「質」を社会に対して保証するため、履修要項第 9 章の第 55 条第 1 項に規定のとおり、成績（累積 GAP）による履修制限を設けています。

また、履修要項第 55 条第 2 項に規定のとおり、免許の種類や教科によって、履修制限を設けています。現時点では、**中学校教諭一種免許状（外国語「英語」）**、**高等学校教諭一種免許状（外国語「英語」）**が該当し、本学で受験可能な英語検定試験に基づく履修制限を設けています。

## 5. 教職課程の履修辞退について

教職課程の履修を辞退する場合は、手続きが必要です。必ず教務課に申し出てください。

### ※ 教職課程の履修について

「新入生用 教職課程ガイダンス」及び「教職課程に関するスケジュール」（←Teams（チーム名：履修支援）に掲載）を必ず確認してください。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
開教育の実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	中学校教育実習	2
		教職実践演習(中・高)	2
<b>法定単位数(合計27単位)</b>		<b>すべて必修(合計28単位) ※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定大学が独自に定める科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
<b>○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)		○国語学概説A(音声言語及び文章表現を含む)	2		
		○国語学概説B	2		
		国語史A	2		
		国語史B	2		
		講読国語学A	2		
		講読国語学B	2		
		国語学特殊講義1A	2		
		国語学特殊講義1B	2		
		国語学特殊講義2A	2		
		国語学特殊講義2B	2		
		国文学(国文学史を含む。)	教科に関する専門的事項	○国文学史1A	2
				国文学史1B	2
				国文学史2A	2
				国文学史2B	2
				講読上代A	2
				講読上代B	2
				講読中古A	2
				講読中古B	2
				講読中世A	2
				講読中世B	2
講読近世A	2				
講読近世B	2				
講読近代A	2				
講読近代B	2				
国文学特殊講義1A	2				
国文学特殊講義1B	2				
国文学特殊講義2A	2				
国文学特殊講義2B	2				
国文学特殊講義3A	2				
国文学特殊講義3B	2				
国文学特殊講義4A	2				
国文学特殊講義4B	2				
国文学特殊講義5A	2				
国文学特殊講義5B	2				
国文学特殊講義6A	2				
国文学特殊講義6B	2				
漢文学		講読漢文A	2		
		講読漢文B	2		
書道(書写を中心とする。)		○漢文学A	2		
		漢文学B	2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○書道A(書写を中心とする)	2		
		書道B	2		
		○国語科教育法1	2		
		○国語科教育法2	2		
		○国語科教育法3	2		
○国語科教育法4	2				
<b>法定単位数(合計28単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2</b>			

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳、総合的な学習の時間、特別活動に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	進路指導論	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育実習論	1	
教育実習			
教育実習	教育実習	2	
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	
<b>法定単位数(合計23単位)</b>		<b>すべて必修(合計24単位) ※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
<b>○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○国語学概説A(音声言語及び文章表現を含む)	2
		○国語学概説B	2
		国語史A	2
		国語史B	2
		講読国語学A	2
		講読国語学B	2
		国語学特殊講義1A	2
		国語学特殊講義1B	2
		国語学特殊講義2A	2
		国語学特殊講義2B	2
	国文学(国文学史を含む。)	○国文学史1A	2
		国文学史1B	2
		国文学史2A	2
		国文学史2B	2
		講読上代A	2
		講読上代B	2
		講読中古A	2
		講読中古B	2
		講読中世A	2
		講読中世B	2
		講読近世A	2
講読近世B	2		
講読近代A	2		
講読近代B	2		
国文学特殊講義1A	2		
国文学特殊講義1B	2		
国文学特殊講義2A	2		
国文学特殊講義2B	2		
国文学特殊講義3A	2		
国文学特殊講義3B	2		
国文学特殊講義4A	2		
国文学特殊講義4B	2		
国文学特殊講義5A	2		
国文学特殊講義5B	2		
国文学特殊講義6A	2		
国文学特殊講義6B	2		
漢文学	講読漢文A	2	
	講読漢文B	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○漢文学A	2	
	漢文学B	2	
	○国語科教育法1	2	
	国語科教育法2	2	
<b>法定単位数(合計24単位)</b>	○国語科教育法3	2	
	国語科教育法4	2	
<b>○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2</b>			

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数		
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	
	10			
指導法及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2	
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2	
	特別活動の指導法			
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2	
	10			
教育に関する実践科目	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	進路指導論	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	5			
	2			
教育実習	教育実習論	1		
	教育実習	2		
	中学校教育実習	2		
2	教職実践演習	2		
2	教職実践演習 (中・高)	2		
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1		

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学基礎講義	2
		○ 英語音声学	2
		英語文法語法研究	2
		英語学研究	2
		認知言語学	2
	言語科学	2	
	英語文学	○ イギリス文学基礎講義	2
		○ アメリカ文学基礎講義	2
		英米文学研究 1	2
		英米文学研究 2	2
		英米文学研究 3	2
		英米文学研究 4	2
英語コミュニケーション	○ Oral Communication I	1	
	○ Oral Communication II	1	
	○ Reading & Writing Speech & Presentation	2	
異文化理解	○ 異文化理解基礎講義	2	
	英語圏研究 1	2	
	英語圏研究 2	2	
	英語圏研究 3	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 英語科教育法 1	2	
	○ 英語科教育法 2	2	
	○ 英語科教育法 3	2	
	○ 英語科教育法 4	2	
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	※1
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	※2
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	進路指導論	2	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育実習に関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
<b>法定単位数 (合計23単位)</b>		<b>すべて必修 (合計24単位) ※1</b>	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学基礎講義	2
		○ 英語音声学	2
		英語文法語法研究	2
		英語学研究	2
		認知言語学	2
	言語科学	2	
	英語文学	○ イギリス文学基礎講義	2
		○ アメリカ文学基礎講義	2
		英米文学研究 1	2
		英米文学研究 2	2
	英語コミュニケーション	英米文学研究 3	2
		英米文学研究 4	2
○ Oral Communication I		1	
異文化理解	○ Oral Communication II	1	
	○ Reading & Writing	1	
	Speech & Presentation	2	
	○ 異文化理解基礎講義	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語圏研究 1	2	
	英語圏研究 2	2	
	英語圏研究 3	2	
	○ 英語科教育法 1	2	
法定単位数 (合計24単位)	○ 英語科教育法 2	2	
	○ 英語科教育法 3	2	
	○ 英語科教育法 4	2	
	○ 英語科教育法 4	2	
<b>法定単位数 (合計24単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
<b>○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法	教育実習論	1
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育実習	2
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	中学校教育実習	2	
関する実科目に	教育実習	教育実習	2
	職業実践演習	職業実践演習(中・高)	2
<b>法定単位数(合計27単位)</b>		<b>すべて必修(合計28単位) ※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
設大定する独自の科目	○人権教育論 1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2
<b>○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。</b>	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
日本国憲法	日本国憲法 2
体育	運動と健康科学 2
	スポーツ実践 1
外国語コミュニケーション	英語 I A1 1
	英語 I A2 1
	英語 I B1 1
	英語 I B2 1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎 2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○ 日本史概論 A	2
		○ 日本史概論 B	2
		○ 東洋史概論 A	2
		○ 東洋史概論 B	2
		○ 西洋史概論 A	2
		○ 西洋史概論 B	2
		日本史特殊講義 1	2
		日本史特殊講義 2	2
		日本史特殊講義 3	2
		日本史特殊講義 4	2
		日本史特殊講義 5	2
		日本史特殊講義 6	2
		日本史特殊講義 7	2
		日本史特殊講義 8	2
		日本史特殊講義 9	2
		日本史特殊講義 10	2
		東洋史特殊講義 1	2
		東洋史特殊講義 2	2
		東洋史特殊講義 3	2
		東洋史特殊講義 4	2
		東洋史特殊講義 5	2
		東洋史特殊講義 6	2
		東洋史特殊講義 7	2
		東洋史特殊講義 8	2
		西洋史特殊講義 1	2
		西洋史特殊講義 2	2
		西洋史特殊講義 3	2
		西洋史特殊講義 4	2
西洋史特殊講義 5	2		
西洋史特殊講義 6	2		
西洋史特殊講義 7	2		
西洋史特殊講義 8	2		
地理学(地誌を含む。)	歴史地理学概論	2	
	○ 人文地理学概論	2	
	○ 地誌	2	
「法律学、政治学」	○ 自然地理学	2	
	○ 法律学研究	2	
「社会学、経済学」	○ 経済学研究	2	
	△ 哲学研究	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	△ 宗教学研究	2	
	○ 社会科教育法(地理歴史分野)	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法(公民分野)	2	
	○ 地理歴史科教育法	2	
	○ 公民科教育法	2	
<b>法定単位数(合計28単位)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○印を付した科目は必修。</li> <li>・ △印を付した「哲学研究」、「宗教学研究」の2科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。</li> <li>・ 合計32単位以上修得すること。 ※2</li> </ul>		

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳、及び総合的な学習の時間に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	進路指導論	2	
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
	教職実践演習	教育実習	2
		教職実践演習 (中・高)	2
<b>法定単位数 (合計23単位)</b>		<b>すべて必修 (合計24単位) ※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
<b>○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	日本史	○ 日本史概論 A	2
		○ 日本史概論 B	2
		日本史特殊講義 1	2
		日本史特殊講義 2	2
		日本史特殊講義 3	2
		日本史特殊講義 4	2
		日本史特殊講義 5	2
		日本史特殊講義 6	2
		日本史特殊講義 7	2
		日本史特殊講義 8	2
	日本史特殊講義 9	2	
	日本史特殊講義 10	2	
	外国史	○ 東洋史概論 A	2
		○ 東洋史概論 B	2
		東洋史特殊講義 1	2
		東洋史特殊講義 2	2
		東洋史特殊講義 3	2
		東洋史特殊講義 4	2
		東洋史特殊講義 5	2
		東洋史特殊講義 6	2
東洋史特殊講義 7		2	
東洋史特殊講義 8		2	
○ 西洋史概論 A	2		
○ 西洋史概論 B	2		
西洋史特殊講義 1	2		
西洋史特殊講義 2	2		
西洋史特殊講義 3	2		
西洋史特殊講義 4	2		
西洋史特殊講義 5	2		
西洋史特殊講義 6	2		
西洋史特殊講義 7	2		
西洋史特殊講義 8	2		
人文地理学・自然地理学	歴史地理学概論	2	
	○ 人文地理学概論	2	
	○ 自然地理学	2	
地誌	○ 地誌	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法 (地理歴史分野)	2	
	○ 地理歴史科教育法	2	
<b>法定単位数 (合計24単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2</b>	

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。



教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○ 教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○ 教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○ 教育行政学 生涯学習概論 I	2 2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○ 教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○ 特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○ 教育課程論	2
生涯指導等に関する科目(生涯学習の推進、総合的な学習の時間等に関する科目)並びに	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	幼児理解の理論及び方法	○ 幼児理解と教育相談	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
関教する実践科目に	教育実習	○ 教育実習論 I ○ 教育実習論 II ○ 教育実習 I ○ 教育実習 II	1 1 2 3
	教職実践演習	○ 教職実践演習(幼・小)	2
法定単位数(合計21単位)		○印を付した科目は必修。 (合計24単位以上修得すること) ※1	

領域及び保育内容の指導法に関する科目(すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
領域に関する専門的事項(※)	国語	国語科教育内容論	2
	算数	算数科教育内容論	2
	生活	生活科教育内容論	2
	音楽	音楽科教育内容論	2
	図画工作	図工科教育内容論	2
	体育	体育科教育内容論	2
保育内容の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		保育内容指導法 1(健康)	2
		保育内容指導法 2(人間関係)	2
		保育内容指導法 3(環境)	2
		保育内容指導法 4(言葉)	2
		保育内容指導法 5(表現)	2
法定単位数(合計16単位)		すべて必修(合計22単位) ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
設大定学する独自科目に	○人権教育論 道徳教育論 幼児教育論 特別活動及び総合的な学習の時間指導法		1 2 2 2
	法定単位数(21単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1 法定単位数(16単位)を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」 ※2		
○印を付した科目は必修。合計14単位以上修得すること。			

(※)領域に関する専門的事項について

教育職員免許法施行規則の改正に伴う経過措置として、教職課程(小学校教諭)の「教科に関する専門的事項」の単位修得により、教職課程(幼稚園教諭)の「領域に関する専門的事項」の単位修得とみなす。(2022年度入学生まで適用)ただし、卒業と同時に幼稚園教諭免許取得に必要な単位が修得できなかった者が、卒業後に免許取得を目指す場合は、同経過措置が適用されないため、改正法による「領域に関する専門的事項」に該当する科目の単位修得が必要となる。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法		2
体育	運動と健康科学		2
	スポーツ実践		1
外国語コミュニケーション	英語 I A1		1
	英語 I A2		1
	英語 I B1		1
	英語 I B2		1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎		2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○ 教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○ 教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○ 教育行政学 生涯学習概論 I	2 2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○ 教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○ 特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○ 教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	○ 道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	○ 特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	○ 教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○ 生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○ 進路指導論	2	
関教育する実践科目	教育実習	○ 教育実習論 I ○ 教育実習論 II ○ 教育実習 I ○ 教育実習 II	1 1 2 3
	教職実践演習	○ 教職実践演習(幼・小)	2
<b>法定単位数(合計27単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。(合計30単位以上修得すること)※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
○ 人権教育論	1
法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」	※1
法定単位数(30単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」	※2
<b>○印を付した科目は必修。合計2単位以上修得すること。</b>	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
日本国憲法	日本国憲法 2
体育	運動と健康科学 2
	スポーツ実践 1
外国語コミュニケーション	英語 I A1 1
	英語 I A2 1
	英語 I B1 1
	英語 I B2 1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎 2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	国語科教育内容論	2
	社会	社会科教育内容論	2
	算数	算数科教育内容論	2
	理科	理科教育内容論	2
	生活	生活科教育内容論	2
	音楽	音楽科教育内容論	2
	図画工作	図工科教育内容論	2
	家庭	家庭科教育内容論	2
	体育	体育科教育内容論	2
	外国語	外国語科教育内容論	2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語(書写を含む。)	○ 国語科教育方法論	2
	社会	○ 社会科教育方法論	2
	算数	○ 算数科教育方法論	2
	理科	○ 理科教育方法論	2
	生活	○ 生活科教育方法論	2
	音楽	○ 音楽科教育方法論	2
	図画工作	○ 図工科教育方法論	2
	家庭	○ 家庭科教育方法論	2
	体育	○ 体育科教育方法論	2
	外国語	○ 外国語科教育方法論	2
<b>法定単位数(合計30単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。選択必修の条件を満たし、合計30単位以上修得すること。※2</b>	

5科目  
10単位  
選択必修

全て必修

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

# 特別支援学校教諭一種免許状（教育学科 教育学専攻）2022

（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学規定科目及び単位数		備考
		授業科目	単位数	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	○ 特別支援教育総論	2	
		インクルーシブ教育論	2	
特別支援教育領域に関する科目	16	○ 知的障害者の心理	2	これら3科目より、1科目2単位以上修得すること。
		○ 知的障害者の生理・病理	2	
		○ 肢体不自由者の医学概論	2	
		○ 病弱者の心理・生理・病理	2	
		○ 知的障害教育論	2	
		○ 肢体不自由教育論	2	
		○ 病弱教育論	2	
		・ 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	2	
		・ 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5			
		○ 視覚障害者教育総論	2	
		○ 聴覚障害者教育総論	2	
○ 重複障害・発達障害教育論	2			
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	○ 特別支援教育実習論	1	
		○ 特別支援教育実習	2	
<b>法定単位数（合計26単位）</b>		○印を付した科目は必修。 選択必修の条件を満たし、合計27単位以上修得すること。		

○特別支援学校教諭免許状取得にあたっては、基礎となる教諭の免許状を取得すること。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法及び生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	10		
教育の実践に関する科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位)※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	生理学・栄養学	○解剖生理学 人体生理学 運動生理学 ○栄養学	2 2 2 2
	衛生学・公衆衛生学	○公衆衛生学 ○衛生学	2 2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	○臨床医学概論 ○学校保健 ○精神保健Ⅰ 精神保健Ⅱ ○救急処置及び看護法 ○小児保健	2 2 2 2 2 2
		○保健科教育法1 ○保健科教育法2 ○保健科教育法3 ○保健科教育法4	2 2 2 2
法定単位数(合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」	※1
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」	※2
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語ⅠA1	1
	英語ⅠA2	1
	英語ⅠB1	1
	英語ⅠB2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	進路指導論	2	
教育実習に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
	教職実践演習	教育実習	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	○解剖生理学	2
		人体生理学	2
	運動生理学	2	
衛生学・公衆衛生学	○微生物学	2	
	○栄養学	2	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	○公衆衛生学	2	
	○衛生学	2	
	○臨床医学概論	2	
	○学校保健	2	
	○精神保健 I	2	
	○精神保健 II	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○救急処置及び看護法	2	
	○小児保健	2	
	○保健科教育法1	2	
	○保健科教育法2	2	
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
の道徳、相談等及び合意的な指導に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育論	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	生徒指導の理論及び方法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
関教する実科践目に	養護実習	養護教育実習論	1
	教職実践演習	養護教育実習	4
法定単位数(合計21単位)		すべて必修(合計26単位)※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
設定する独自の科目	○人権教育論 1
	法定単位数(21単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「養護に関する科目」 ※2
○印を付した科目は必修。合計7単位以上修得すること。	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
日本国憲法	日本国憲法 2
体育	運動と健康科学 2
	スポーツ実践 1
外国語コミュニケーション	英語 I A1 1
	英語 I A2 1
	英語 I B1 1
	英語 I B2 1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎 2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

養護に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学(予防医学を含む。)	○公衆衛生学 ○衛生学	2 2	
	学校保健	○学校保健 小児保健	2 2	
	養護概説	○養護概説	2	
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	○健康相談活動論	2	
	栄養学(食品学を含む。)	○栄養学	2	
	解剖学・生理学	○解剖生理学 人体生理学 運動生理学	2 2 2	
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	△微生物学 △免疫学 △薬理概論	2 2 2	
	精神保健	○精神保健 I 精神保健 II	2 2	
	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	○臨床医学概論 ○看護学 I ○看護学 II ○救急処置及び看護法 ○看護技術 I ○看護技術 II ○看護臨床実習指導 ○看護臨床実習	2 2 2 2 2 2 1 1	
		法定単位数(合計28単位)	・○印を付した科目は必修。 ・△印を付した「微生物学」、「免疫学」、「薬理概論」の3科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。 ・合計32単位以上修得すること。 ※2	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
教育に関する実践科目	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	進路指導論	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		
	教育実習	教育実習論	1
	教育実習	教育実習	2
	中学校教育実習	2	
	教職実践演習	2	2
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	○ ソルフェージュ	2
	音楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	○ 声楽基礎 I (日本の伝統的な歌唱を含む)	2
		声楽基礎 II	2
		○ 合唱 1	2
		合唱 2	2
	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	○ 器楽基礎 I (伴奏並びに和楽器を含む)	2
		器楽基礎 II	2
		○ 合奏 1	2
		和楽器演習 I	2
	指揮法	○ 指揮法 I	2
指揮法 II		2	
音楽理論・作曲法 (編曲法を含む。)	○ 音楽理論 2	2	
	○ 作曲法 (編曲法を含む)	2	
	キーボードハーモニー	2	
	○ 音楽史 1 (西洋)	2	
	○ 音楽文化特論 1 (西洋)	2	
音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	○ 音楽史 2 (日本及び民族) (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)	2	
	○ 音楽文化特論 2 (日本及び民族) (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 音楽科教育法 1	2	
	○ 音楽科教育法 2	2	
	○ 音楽科教育法 3	2	
	○ 音楽科教育法 4	2	
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計32単位以上修得すること。 ※2	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
<b>法定単位数 (合計23単位)</b>		<b>すべて必修 (合計24単位) ※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2		
<b>○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	○ ソルフェージュ	2
	声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	○ 声楽基礎 I (日本の伝統的な歌唱を含む)	2
		声楽基礎 II	2
		○ 合唱 1 合唱 2	2 2
	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	○ 器楽基礎 I (伴奏並びに和楽器を含む)	2
		器楽基礎 II	2
		○ 合奏 1 和楽器演習 I	2 2
	指揮法	○ 指揮法 I 指揮法 II	2 2
		音楽理論・作曲法 (編曲法を含む。)	○ 音楽理論 2
	○ 作曲法 (編曲法を含む)		2
キーボードハーモニー	2		
○ 音楽史 1 (西洋)	2		
○ 音楽文化特論 1 (西洋)	2		
○ 音楽史 2 (日本及び民族) (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 音楽科教育法 1	2	
	音楽科教育法 2	2	
	○ 音楽科教育法 3	2	
	音楽科教育法 4	2	
<b>法定単位数 (合計24単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2</b>	



## 幼稚園教諭一種免許状

## (児童学科) 2022

### 教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 I	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
生涯時間等に関する指導法及び教育相談等の科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	幼児教育方法論	2
	幼児理解の理論及び方法	発達支援演習 (幼児理解と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
関教育する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 4
	教職実践演習	保育・教職実践演習(幼)	2
	5		
法定単位数(合計21単位)		すべて必修(合計22単位) ※1	

### 領域及び保育内容の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	2
	人間関係	幼児と人間関係	2
	環境	幼児と環境	2
	言葉	幼児と言葉	2
	表現	幼児と表現	2
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	16	保育内容演習(健康)	1
		保育内容演習(人間関係)	1
		保育内容演習(環境)	1
		保育内容演習(言葉)	1
		保育内容演習(表現)	1
		保育内容総論	1
法定単位数(合計16単位)		すべて必修(合計16単位)	

### 大学が独自に設定する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
大学が独自に設定する科目	人権教育論	1
	発達心理学 I	2
	児童表現学	2
	児童保健学	2
	多文化教育論	2
	子ども家庭支援論	2
	児童文化学実習	2
	法定単位数(21単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	※1
すべて必修。合計14単位修得すること。		

### 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育に関する実践科目	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	教育実習論	1
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育実習	2
		中学校教育実習	2
		教職実践演習	2
<b>法定単位数 (合計27単位)</b>		<b>すべて必修 (合計28単位) ※1</b>	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○ 家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む)	2
	被服学 (被服製作実習を含む。)	○ 被服学概論 ○ 衣服実習	2 2
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	臨床栄養学	2
		○ 分子栄養学	2
		○ 食品学総論	2
		○ 食品衛生学実験	1
		○ 食品学実験	2
		食品加工学実習	1
	住居学	○ 基礎調理学	2
		○ 応用調理学	2
○ 調理学実習 I		1	
○ 調理学実習 II		1	
保育学 (実習を含む。)	○ 食品学各論	2	
	○ 住居学概論 (製図を含む)	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 保育学 (実習及び家庭看護を含む)	2	
	○ 家庭科教育法 1	2	
	○ 家庭科教育法 2	2	
	○ 家庭科教育法 3	2	
	○ 家庭科教育法 4	2	
<b>法定単位数 (合計28単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。合計33単位以上修得すること。 ※2</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定大学が定める独自科目	○ 人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
<b>○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳、総合的な学習の時間、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	進路指導論	2
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
	教職実践演習	教育実習	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2
	被服学 (被服製作実習を含む。)	○被服学概論 ○衣服実習	2 2
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	臨床栄養学	2
		○分子栄養学	2
		○食品学総論	2
		○食品衛生学実験	1
		○食品学実験	2
		食品加工学実習	1
		○基礎調理学	2
	住居学 (製図を含む。)	○住居学概論 (製図を含む)	2
保育学 (実習及び家庭看護を含む。)		○保育学 (実習及び家庭看護を含む)	2
家庭電気・家庭機械・情報処理		○家庭電気・機械	2
		○情報処理	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○家庭科教育法 1	2	
	○家庭科教育法 2	2	
	○家庭科教育法 3	2	
	○家庭科教育法 4	2	
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計33単位以上修得すること。 ※2	

## 栄養教諭一種免許状

## (食物栄養学科) 2022

### 教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	8		
の道徳相導、談法総等及び合にび的な関生な学指す徒学指導の科目、時間教育等	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育論	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	生徒指導の理論及び方法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
関教育する実践科目に	栄養教育実習	栄養教育実習指導	1
		栄養教育実習	1
	教職実践演習	教職実践演習(栄養教諭)	2
法定単位数(合計18単位)		すべて必修(合計23単位)	

### 栄養に係る教育に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養指導論	2
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
	食生活に関する歴史的及び文化的事項	学校栄養実践論	2
	食に関する指導の方法に関する事項		
<b>すべて必修。合計4単位修得すること。</b>			

(注) 栄養教諭一種免許状の取得希望者は、諸課程履修科目として開講される「人権教育論」を修得しなければならない。

### 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む)	2
	被服学(被服製作実習を含む。)	○衣生活概論	2
		アパレル設計学	2
		アパレル材料学2	2
		○アパレル製作実習	2
		ファッションデザイン学	2
	住居学	アパレル造形学	2
		アパレル管理学	2
		○食物栄養学概論	2
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	○調理実習	2
保育学(実習を含む。)		○住居学概論(製図を含む)	2
	住宅計画	2	
	インテリア計画	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○保育学(実習及び家庭看護を含む)	2	
	○家庭科教育法1	2	
	○家庭科教育法2	2	
	○家庭科教育法3	2	
法定単位数(合計28単位)	○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2		2
	○家庭科教育法4		2

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論
指 導 法 及 び 生 徒 指 導 等 に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間指導法
	特別活動の指導法		教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)
	教育の方法及び技術		生徒指導論 (生徒指導と教育相談)
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		進路指導論
	生徒指導の理論及び方法		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
関 教 育 実 践 目 的 的 科目	教育実習	3	教育実習論 教育実習
	教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○ 家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2
	被服学 (被服製作実習を含む。)	○ 衣生活概論	2
		アパレル設計学	2
		アパレル材料学2	2
		○ アパレル製作実習	2
		ファッションデザイン学	2
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	○ 食物栄養学概論	2
		○ 調理実習	2
	住居学 (製図を含む。)	○ 住居学概論 (製図を含む)	2
		住宅計画 インテリア計画	2 2
保育学 (実習及び家庭看護を含む。)	○ 保育学 (実習及び家庭看護を含む)	2	
家庭電気・家庭機械・情報処理	○ 家庭電気・機械	2	
	○ 情報処理	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 家庭科教育法1	2	
	家庭科教育法2	2	
	○ 家庭科教育法3	2	
	家庭科教育法4	2	
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設 大 定 学 ず がる 独 科 自 目 的 的 科目	○ 人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
関係する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		
日本史・外国史		○ 日本史概論	2		
		○ 東洋史概論	2		
地理学(地誌を含む。)		歴史地理学概論	2		
		○ 人文地理学概論	2		
		○ 地誌学概論	2		
		○ 自然地理学概論	2		
「法学、政治学」		○ 法学アプローチ	2		
		政治学アプローチ	2		
		マイノリティと法	2		
		比較政治論	2		
		国際関係論	2		
		国際関係史	2		
		○ 国際法	2		
		ジェンダーと法	2		
		地方自治論	2		
		都市政策論	2		
		市民活動論	2		
		「社会学、経済学」		経済学アプローチ	2
				国際経済学	2
○ 社会学アプローチ	2				
家族社会学	2				
文化社会学	2				
多文化社会論	2				
ミクロ経済学	2				
マクロ経済学	2				
教育経済学	2				
家族経済論	2				
国際結婚論	2				
環境社会学	2				
社会学概論	2				
環境政策論	2				
エネルギーと環境	2				
「哲学、倫理学、宗教学」		現代宗教論	2		
		生命倫理学	2		
		○ 倫理学	2		
		人間学	2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		応用倫理学	2		
		○ 社会科教育法(地理歴史分野)	2		
		○ 社会科教育法(公民分野)	2		
		○ 公民科教育法	2		
法定単位数(合計28単位)		○ 地理歴史科教育法	2		
		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2			

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関教する実践科目	教育実習	教育実習論	1
	教職実践演習	教育実習	2
		教職実践演習 (中・高)	2
<b>法定単位数 (合計23単位)</b>		<b>すべて必修 (合計24単位) ※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1 法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
<b>○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「法律学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」	○ 法学アプローチ	2
		政治学アプローチ	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	「社会学、経済学 (国際経済学を含む。)」	マイノリティと法	2
		比較政治論	2
		国際関係論	2
		国際関係史	2
		○ 国際法	2
		ジェンダーと法	2
		地方自治論	2
		都市政策論	2
		市民活動論	2
		経済学アプローチ	2
		国際経済学	2
		○ 社会学アプローチ	2
		家族社会学	2
		文化社会学	2
多文化社会論	2		
マクロ経済学	2		
教育経済学	2		
家族経済論	2		
国際結婚論	2		
環境社会学	2		
社会学概論	2		
環境政策論	2		
エネルギーと環境	2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	△ 現代宗教論	2	
	△ 心理学アプローチ	2	
	△ 生命倫理学	2	
	△ 倫理学	2	
	△ 人間学	2	
	△ 応用倫理学	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法 (公民分野)	2	
	○ 公民科教育法	2	
<b>法定単位数 (合計24単位)</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○印を付した科目は必修。</li> <li>・ △印を付した「現代宗教論」、「心理学アプローチ」、「生命倫理学」、「倫理学」、「人間学」、「応用倫理学」の6科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。</li> <li>・ 合計24単位以上修得すること。 ※2</li> </ul>	

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。



教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
関教育実習に	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	○情報文明論	2
		メディア文化論	2
	コンピュータ・情報処理(実習を含む。)	○プログラミング入門(実習を含む)	2
		応用プログラミング I(実習を含む)	2
		○アルゴリズム論	2
		情報数学	2
	情報システム(実習を含む。)	データベース	2
		応用データベース	2
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	○Webシステムデザイン(実習を含む)	2
		○コンピュータ・ネットワーク I	2
マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)	○情報ネットワーク	2	
	情報理論 情報セキュリティ	2	
情報と職業	○情報学アプローチ 数理モデル(実習を含む)	2	
	○社会情報学 組織マネジメント論	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○情報科教育法 1 ○情報科教育法 2	2 2
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間、特別活動の指導法、教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法、生徒指導の理論及び方法、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。の)理論及び方法、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		
教育実習	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	
<b>法定単位数(合計27単位)</b>		<b>すべて必修(合計28単位)※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定するが独自に	○人権教育論	1
法	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
定	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
数	<b>○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。</b>	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	憲法ⅠA(人権)	2
	憲法ⅠB(人権)	2
	憲法ⅡA(統治)	2
	憲法ⅡB(統治)	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語ⅠA1	1
	英語ⅠA2	1
	英語ⅠB1	1
	英語ⅠB2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		
日本史・外国史		○日本史概論	2		
		○東洋史概論	2		
地理学(地誌を含む。)		○西洋史概論	2		
		歴史地理学概論	2		
		○人文地理学概論	2		
「法学、政治学」		○地誌学概論	2		
		○自然地理学概論	2		
		○法学入門	2		
		司法制度入門	2		
		英米法Ⅰ	2		
		行政法総論Ⅰ	2		
		行政救済法	2		
		民法ⅠA(総則)	2		
		民法Ⅱ(物権)	2		
		民法ⅤA(債権各論)	2		
		民法ⅥA(親族・相続)	2		
		企業法総論	2		
		会社法Ⅰ(ガバナンス)	2		
		有価証券法	2		
		商取引法	2		
		保険法	2		
		刑法ⅠA(総論)	2		
		刑法ⅡA(各論)	2		
		労働法Ⅰ	2		
		社会保障法	2		
		国際法ⅠA	2		
		国際機構論	2		
		国際私法ⅠA	2		
		国際関係論	2		
		ジェンダー法Ⅰ	2		
		「社会学、経済学」		○法社会学	2
				マクロ経済学	2
				ジェンダー法Ⅵ	2
「哲学、倫理学、宗教学」		国際経済学	2		
		現代と仏教A	2		
		生命倫理学	2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○倫理学	2		
		○社会科教育法(地理歴史分野)	2		
		○社会科教育法(公民分野)	2		
		○公民科教育法	2		
		○地理歴史科教育法	2		
<b>法定単位数(合計28単位)</b>		<b>○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。※2</b>			

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
教育実習科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
<b>法定単位数 (合計23単位)</b>		<b>すべて必修 (合計24単位) ※1</b>	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1 法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
<b>○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。</b>		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	憲法 I A (人権)	2
	憲法 I B (人権)	2
	憲法 II A (統治)	2
	憲法 II B (統治)	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「法学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」	○ 法学入門	2
		司法制度入門	2
		英米法 I	2
		行政法総論 I	2
		行政救済法	2
		民法 I A (総則)	2
		民法 II (物権)	2
		民法 V A (債権各論)	2
		民法 VI A (親族・相続)	2
		企業法総論	2
		会社法 I (ガバナンス)	2
		有価証券法	2
		商取引法	2
		保険法	2
		刑法 I A (総論)	2
		刑法 II A (各論)	2
		労働法 I	2
		社会保障法	2
		国際法 I A	2
	国際機構論	2	
国際私法 I A	2		
国際関係論	2		
ジェンダー法 I	2		
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○ 法社会学	2	
	マクロ経済学	2	
	ジェンダー法 VI	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	国際経済学	2	
	現代と仏教 A	2	
	生命倫理学	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 倫理学	2	
	心理学アプローチ	2	
	○ 社会科教育法 (公民分野)	2	
<b>法定単位数 (合計24単位)</b>	○ 公民科教育法	2	
	<b>○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2</b>		



# 諸資格

## 【学科・専攻別 取得可能諸資格一覧】

学科・専攻ごとに、取得可能な諸資格に「●」を付しています。

学科・専攻 資格の種類	国文学科	英文学科	史学科	教育学専攻	教育学専攻 養護・福祉教育学専攻	音楽教育学専攻	教育学専攻	児童学科	心理学科	食物栄養学科	生活造形学科	現代社会学科	法学科	備考	掲載ページ
博物館学芸員	●		●					●			●	●			98
社会教育主事				●		●	●							(※1)	99
社会福祉士(受験資格)					●										100
スクールソーシャルワーカー					●									(※2)	101
保育士							●								102
公認心理師(受験資格)									●					(※3)	103
管理栄養士(受験資格)										●					104
栄養士										●					105
食品衛生管理者・監視員										●					106
1級建築士(受験資格)											●				107
2級・木造建築士(受験資格)											●				107
衣料管理士											●				108
上級情報処理士												●			109
社会調査士												●			110
情報処理士	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		現社 109 現社以外 111
図書館司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		112
学校図書館司書教諭	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		112
学校司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		113
日本語教師	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		114

(※1)社会教育主事 …社会教育主事課程に定められた所定の単位を修得した者は、「社会教育主事」の資格及び「社会教育士」の称号を得ることができます。

(※2)スクールソーシャルワーカー …必修科目の「スクールソーシャルワーク実習」は履修条件があります。その他の履修条件等、詳細はP.101の科目表の※を確認してください。

(※3)公認心理師(受験資格) …公認心理師試験を受験するには実務経験が必要です。大学院に進学することで、実務経験を満たすことができます。

## 博物館学芸員に関する履修科目表

### ＜必修科目＞

法定規定科目	本学規定科目及び単位数	回生	備考	
生涯学習概論	生涯学習概論	2	1	児童学科以外の者が履修
	生涯学習概論Ⅰ	2	2	児童学科の者が履修
博物館概論	博物館概論	2	2	
博物館資料論	博物館資料論	2	2	
博物館経営論	博物館経営論	2	2	
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3	
博物館展示論	博物館展示論	2	3	
博物館情報・メディア論	博物館情報論	1	2	
	視聴覚教育メディア論	1	2	
博物館教育論	博物館教育論	2	2	
博物館実習	博物館実習Ⅰ	2	3	
	博物館実習Ⅱ	2	4	(事前・事後の指導を含む) 「博物館実習Ⅱ」は最終学年の者で、「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報論」「博物館実習Ⅰ」の単位をすでに修得し、かつ、当該年度中に資格に必要な単位のすべてを充足し得る者しか履修できない。

### ＜選択科目＞ 自分の所属する学科に指定されている科目を履修すること。

本学規定科目及び単位数								
系列	国文学科	史学科	児童学科	生活造形学科	現代社会学科			
Ⅰ	風俗文化史A	2	日本古文書ⅠA	2	児童文化活動論	2	近代日本絵画史	2
	風俗文化史B	2	日本古文書ⅠB	2	児童文学論	2	デザインマーケティング論	2
Ⅱ	日本美術史A	2	日本美術史A	2	現代文化・芸術論	2	京都学	2
	日本美術史B	2	日本美術史B	2			京都工芸論1	2
			東洋美術史	2			京都工芸論2	2
			西洋美術史	2			World Art History 1	2
Ⅲ	民俗学	2	考古学A	2	絵本論	2	民俗文化論	2
			考古学B	2				
			民俗学	2				
Ⅳ								
Ⅴ							自然環境と生態系	2
							環境開発論	2
							多様性の生物学	2
							生命の起源と進化	2

各学科につき、Ⅰ～Ⅴの系列のうち、2系列以上にわたり8単位以上修得すること。

## 社会教育主事に関する履修科目表

社会教育主事課程に定められた所定の単位を修得した者は、「社会教育主事」の資格及び「社会教育士」の称号を得ることができます。

### ＜教育学科(教育学専攻・音楽教育学専攻)＞

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備 考
生涯学習概論	生涯学習概論Ⅰ	2	必	
	生涯学習概論Ⅱ	2	必	
生涯学習支援論	生涯学習支援論Ⅰ	2	必	
	生涯学習支援論Ⅱ	2	必	
社会教育経営論	社会教育経営論Ⅰ	2	必	
	社会教育経営論Ⅱ	2	必	
社会教育特講	ジェンダーと教育	2	選	8 単位以上修得すること。
	家庭教育論	2	選	
	教育社会学	2	選	
	学校外教育論	2	選	
	教育行政学	2	選	
	教育・福祉連携論	2	選	
社会教育実習	社会教育実習	2	必	
社会教育演習	社会教育演習	2	選	4 単位以上修得すること。
社会教育実習	社会教育基礎実習	2	選	
社会教育課題研究	社会教育課題研究	2	選	

### ＜児童学科＞

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備 考
生涯学習概論	生涯学習概論Ⅰ	2	必	
	生涯学習概論Ⅱ	2	必	
生涯学習支援論	生涯学習支援論Ⅰ	2	必	
	生涯学習支援論Ⅱ	2	必	
社会教育経営論	社会教育経営論Ⅰ	2	必	
	社会教育経営論Ⅱ	2	必	
社会教育特講	ジェンダーと教育	2	選	8 単位以上修得すること。
	児童社会学	2	選	
	教育社会学	2	選	
	教育行政学	2	選	
	児童文化活動論	2	選	
社会教育実習	社会教育実習	2	必	
社会教育演習	社会教育演習	2	選	4 単位以上修得すること。
社会教育実習	社会教育基礎実習	2	選	
社会教育課題研究	社会教育課題研究	2	選	
	児童文化学実習	2	選	

## 教育学科 養護・福祉教育学専攻 社会福祉士に関する履修科目表

法定規定科目				本学規定科目				
科目		時間	単位	科目		時間	単位	必選
人間と社会及び その関係性の理解 (90時間)	医学概論	30	2	解剖生理学	30	2	必	
				臨床医学概論	30	2	必	
	心理学と心理的支援	30	2	心理学	30	2	必	
	社会学と社会システム	30	2	社会学	30	2	必	
複合化・複雑化した 福祉課題及び 包括的な支援の理解 (240時間)	社会福祉の原理と政策	60	4	社会福祉概論Ⅰ	30	2	必	
				社会福祉概論Ⅱ	30	2	必	
	社会保障	60	4	社会保障論Ⅰ	30	2	必	
				社会保障論Ⅱ	30	2	必	
	権利擁護を支える法制度	30	2	法学	30	2	必	
	地域福祉と包括的支援体制	60	4	地域福祉論Ⅰ	30	2	必	
				地域福祉論Ⅱ	30	2	必	
	高齢者福祉	30	2	老人福祉論	30	2	必	
	障害者福祉	30	2	障害者福祉論	30	2	必	
	児童・家庭福祉	30	2	児童・家庭福祉論	30	2	必	
	貧困に対する支援	30	2	公的扶助論	30	2	必	
保健医療と福祉	30	2	保健医療論	30	2	必		
刑事司法と福祉	30	2	刑事司法と福祉	30	2	必		
ソーシャルワークの 基礎及び 理論と方法の理解 (240時間)	ソーシャルワークの基盤と専門職	30	2	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	30	2	必	
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	30	2	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	30	2	必	
	ソーシャルワークの理論と方法	60	4	ソーシャルワーク論Ⅰ	30	2	必	
				ソーシャルワーク論Ⅱ	30	2	必	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60	4	ソーシャルワーク論Ⅲ	30	2	必	
				ソーシャルワーク論Ⅳ	30	2	必	
	社会福祉調査の基礎	30	2	社会福祉調査	30	2	必	
福祉サービスの組織と経営	30	2	福祉サービスの組織と経営	30	2	必		
ソーシャルワークの 方法及び 実践の理解 (480時間)	ソーシャルワーク演習	30	1	ソーシャルワーク演習Ⅰ	30	1	必	
	ソーシャルワーク演習(専門)	120	4	ソーシャルワーク演習Ⅱ	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習Ⅲ	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習Ⅳ	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習Ⅴ	30	1	必	
	ソーシャルワーク実習指導	90	3	ソーシャルワーク実習指導	90	3	必	
ソーシャルワーク実習	240	4	ソーシャルワーク実習	240	4	必		
法定規定科目合計単位数		1200	60	本学規定科目合計単位数		1230	62	



## 教育学科 養護・福祉教育学専攻

## スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程履修科目表

規程による指定科目	本学規定科目及び単位数			備考
スクール(学校)ソーシャルワーク論	スクールソーシャルワーク論	2	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	1	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	1	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	2	必	
教育の基礎理論に関する科目のうち、「教育に関する社会的、制度的または経営的事項」を含む科目(1科目以上)	教職論	2	必	
	教育行政学	2	必	
教育の基礎理論に関する科目のうち「幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達及び学習の過程に関する事項」を含む科目及び生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目(1科目以上)	教育心理学	2	必	
	生徒指導論	2	必	
精神保健の課題と支援	精神保健 I	2	必	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度				

※スクールソーシャルワーカー資格取得に必要な科目の単位を全て修得し、社会福祉士の国家資格に合格した者が、スクールソーシャルワーカーの資格を取得することができます。

※スクールソーシャルワーク実習は、社会福祉士課程のソーシャルワーク実習指導及びソーシャルワーク実習を履修し、かつ選抜試験に合格した者のみ履修することができます。

## 児童学科 保育士に関する履修科目表

区分	指定保育士養成施設の指定基準科目				本学規定科目			
	規定科目	授業形態	単位数	必選の別	授業科目	時間	単位数	必選の別
教養科目	外国語、体育以外の科目	—	6以上	必	仏教学ⅠA	30	2	必
					仏教学ⅠB	30	2	必
					仏教学ⅡA	30	2	必
					仏教学ⅡB	30	2	必
	外国語	演習	2以上	必	人権教育論	15	1	必
					英語ⅠA1	30	1	必
体育	講義 実技	1	必	英語ⅠA2	30	1	必	
				運動と健康科学	30	2	必	
保育の本質・目的に関する科目	スポーツ実践	30	1	必				
	保育原理	講義	2	必	保育原理	30	2	必
	教育原理	講義	2	必	教育原論	30	2	必
	子ども家庭福祉	講義	2	必	児童家庭福祉	30	2	必
	社会福祉	講義	2	必	社会福祉	30	2	必
	子ども家庭支援論	講義	2	必	子ども家庭支援論	30	2	必
	社会的養護Ⅰ	講義	2	必	社会的養護Ⅰ	30	2	必
	保育者論	講義	2	必	教職論	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	必	発達心理学Ⅰ	30	2	必
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	必	発達心理学Ⅱ	30	2	必
	子ども理解と援助	演習	1	必	教育心理学Ⅱ	30	2	必
	子どもの保健	講義	2	必	児童保健学	30	2	必
	子どもの食と栄養	演習	2	必	児童栄養	30	2	必
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	必	教育課程論	30	2	必
	保育内容総論	演習	1	必	保育内容総論	30	1	必
	保育内容演習	演習	5	必	保育内容演習(健康)	30	1	必
					保育内容演習(人間関係)	30	1	必
					保育内容演習(環境)	30	1	必
					保育内容演習(言葉)	30	1	必
					保育内容演習(表現)	30	1	必
	保育内容の理解と方法	演習	4	必	児童音楽Ⅰ	60	2	必
					児童体育Ⅰ	30	2	必
					児童図工Ⅰ	60	2	必
	乳児保育Ⅰ	講義	2	必	児童文化化学実習	60	2	必
	乳児保育Ⅱ	演習	1	必	乳児保育Ⅰ	30	2	必
	子どもの健康と安全	演習	1	必	乳児保育Ⅱ	30	1	必
	障害児保育	演習	2	必	児童保健学演習	60	2	必
社会的養護Ⅱ	演習	1	必	障害児保育	30	2	必	
子育て支援	演習	1	必	社会的養護Ⅱ	30	1	必	
子育て支援	演習	1	必	子育て支援	30	1	必	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	必	保育実習Ⅰ	160	4	必
保育実習指導Ⅰ	演習	2	必	保育実習指導Ⅰ	30	2	必	
総合演習	保育実践演習	演習	2	必	保育・教職実践演習(幼)	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目					※特別支援教育論	15	1	選
保育の内容・方法に関する科目					※幼児と健康	30	2	選
					※幼児と人間関係	30	2	選
					※幼児と環境	30	2	選
					※幼児と言葉	30	2	選
					※幼児と表現	30	2	選
					※幼児教育方法論	30	2	選
					※人形劇演習	60	2	選
					※児童文化活動論	30	2	選
					※絵本論	30	2	選
					※児童音楽Ⅱ	30	2	選
					※児童体育Ⅱ	30	2	選
					※児童図工Ⅱ	30	2	選
					保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習			※保育実習Ⅲ		80	2	選
				※保育実習指導Ⅱ		15	1	選
				※保育実習指導Ⅲ	15	1	選	

※選択科目から、9単位以上(うち保育実習3単位以上(うち保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ2単位以上、保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ1単位以上))修得しなければならない。

心理学科 公認心理師に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備 考
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	必	
心理学概論	心理学概論	2	必	
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	必	
心理学研究法	心理学研究法 I	2	必	
心理学統計法	心理学統計法	2	必	
心理学実験	心理学実験 I	2	必	
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学A	2	必	
	知覚・認知心理学B	2	必	
学習・言語心理学	学習・言語心理学A	2	必	
	学習・言語心理学B	2	必	
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	必	
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	必	
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学A	2	必	
	社会・集団・家族心理学B	2	必	
発達心理学	発達心理学	2	必	
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	必	
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	必	
心理学的支援法	心理学的支援法A	2	必	
	心理学的支援法B	2	必	
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	必	
福祉心理学	福祉心理学	2	必	
教育・学校心理学	教育・学校心理学A	2	必	
	教育・学校心理学B	2	必	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学A	2	必	
	司法・犯罪心理学B	2	必	
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	必	
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	必	
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	必	
関係行政論	関係行政論	2	必	
心理演習	心理演習A	2	必	
	心理演習B	2	必	
心理実習	心理実習	2	必	80時間

※公認心理師試験(国家試験)の受験資格を得るためには、上記の科目を履修した後に、大学院へ進学し所定の科目を履修する、もしくは一定期間の実務経験が必要です。

食物栄養学科 管理栄養士に関する履修科目

管理栄養士学校指定規則の規定			本学規定科目				備考	
教育内容	単位数		科目名	単位数		必選の別		
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習			
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	健康環境論	2		必		
			公衆衛生学	2		必		
			介護福祉概論	2		必		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	解剖生理学	2		必	
				応用生理学	2		必	
				生化学	2		必	
				分子栄養学	2		必	
				臨床医学概論	2		必	
				臨床病態学	2		必	
				微生物学	2		必	
				生理学実験		1	必	
				解剖生理学実験		1	必	
				生化学実験		1	必	
	バイオテクノロジー実験		1	必				
	食べ物と健康	8		食品学総論	2		必	
				食品学各論	2		必	(食品加工学を含む)
				食品衛生学	2		必	
				応用調理学	2		必	
				食品学実験		2	必	
				食品加工学実習		1	必	
食品衛生学実験					1	必		
調理学実習Ⅰ					1	必		
調理学実習Ⅱ		1	必					
専門基礎分野合計	28	10		28	10			
専門分野	基礎栄養学	2	基礎栄養学	2		必		
			基礎栄養学実習		1	必		
	応用栄養学	6		ライフステージ別栄養学	2		必	
				栄養評価論	2		必	
				栄養機能論	1		必	
				運動栄養学	1		必	
				ライフステージ別栄養学実習		1	必	
	栄養教育論	6		栄養教育総論	2		必	
				栄養教育各論	2		必	
				栄養カウンセリング論	2		必	
				栄養教育論実習		1	必	
	臨床栄養学	8	8	病態栄養学	2		必	
				臨床栄養学	2		必	
				臨床栄養管理学	2		必	
				栄養薬理学	1		必	
				チーム医療論	1		必	
				臨床栄養学実習		1	必	
	公衆栄養学	4		公衆栄養学	2		必	
				公衆栄養活動論	1		必	
				栄養疫学	1		必	
公衆栄養学実習					1	必		
給食経営管理論	4		給食運営論	2		必		
			給食経営管理論	2		必		
			給食運営実習		1	必		
			給食経営管理実習		1	必		
総合演習	2	—	給食運営校外実習事前事後指導	1		必		
			臨地実習事前事後指導	1		必		
			管理栄養士特別演習	2		必		
臨地実習	—	4	給食運営校外実習		1	必	5科目中3科目3単位を修得すること	
			臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)		1	選		
			臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)		1	選		
			臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)		1	選		
			臨地実習(公衆栄養学)		1	選		
臨地実習(給食経営管理論)		1	選					
専門分野合計	32	12		34	12			
合計	60	22		62	22			

食物栄養学科 栄養士に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目	単位数		備考
		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	公衆衛生学	2		
	介護福祉概論	2		
人体の構造と機能	解剖生理学	2		
	応用生理学	2		
	生化学	2		
	分子栄養学	2		
	生理学実験		1	
	生化学実験		1	
食品と衛生	食品学総論	2		
	食品学各論	2		(食品加工学を含む)
	食品衛生学	2		
	食品学実験		2	
	食品加工学実習		1	
	食品衛生学実験		1	
栄養と健康	基礎栄養学	2		
	基礎栄養学実習		1	
	ライフステージ別栄養学	2		
	運動栄養学	1		
	栄養機能論	1		
	ライフステージ別栄養学実習		1	
	臨床栄養学	2		
臨床栄養学実習		1		
栄養の指導	栄養教育総論	2		
	栄養教育各論	2		
	栄養教育論実習		1	
	公衆栄養学	2		
	公衆栄養学実習		1	
給食の運営	給食運営論	2		
	応用調理学	2		
	調理学実習Ⅰ		1	
	調理学実習Ⅱ		1	
	給食運営実習		1	
	給食経営管理実習		1	
	給食運営校外実習		1	
	給食運営校外実習事前事後指導	1		

本学規定科目は全て必修

食物栄養学科 食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する履修科目表

(必修科目を含め、合計40単位修得すること)

法定規定科目		本学規定科目				
科目群	単位	科目	単位数	必選の別	備考	
A群 化学関係	各群 1科目以上 合計 22 単位以上	基礎の化学	2	必		
		基礎の有機化学	2	必		
B群 生物化学関係		基礎の生物学	2	必		
		解剖生理学	2	必		
		生化学	2	必		
		食品学総論	2	必		
		食物栄養の化学	2	必		
		分子栄養学	2	必		
C群 微生物学関係		微生物学	2	必		
		食品学各論	2	必		
D群 公衆衛生学関係		公衆衛生学	2	必		
		食品衛生学	2	必		
E群 その他関連科目		基礎実験	1	必		4単位以上 修得すること
		食品学実験	2	必		
	応用調理学	2	必			
	基礎栄養学	2	必			
	生理学実験	1	必			
	食品衛生学実験	1	必			
	生化学実験	1	必			
	機器分析概論	2	必			
	食品加工学実習	1	選			
	臨床医学概論	2	選			
	応用生理学	2	選			
	臨床病態学	2	選			
	給食運営論	2	選			
	給食運営実習	1	選			
バイオテクノロジー実験	1	選				
公衆栄養学	2	選				

生活造形学科 1級建築士及び2級・木造建築士に関する履修科目表

指定科目の分類(単位数)		本学規定科目					
2級・木造	1級	科目名	単位数	備考			
				2級・木造	1級		
①建築設計製図 (3単位以上)	①建築設計製図 (7単位以上)	建築設計製図実習	2	2単位以上修得 すること	8単位以上修得 すること		
		空間デザイン実習ⅠA	2				
		空間デザイン実習ⅠB	2				
		空間デザイン実習ⅡA	2				
		空間デザイン実習ⅡB	2				
		空間デザイン実習ⅢA	2				
		空間デザイン実習ⅢB	2				
		建築CAD実習A	2				
		建築CAD実習B	2				
		空間造形実習A	2				
		空間造形実習B	2				
		空間造形実習C	2				
				空間デザイン実習ⅣA	2	2単位以上修得 すること	2単位以上修得 すること
				空間デザイン実習ⅣB	2		
②～④ 建築計画、建築環境工学 又は建築設備 (2単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	住宅計画	2	2単位以上修得 すること	8単位以上修得 すること		
		住宅再生論	2				
		建築計画1	2				
		建築計画2	2				
		西洋建築史	2				
		日本建築史	2				
		室内様式史	2				
		地域建築再生論	2				
		景観デザイン論	2				
		建築デザイン論	2				
	③建築環境工学 (2単位以上)	建築環境工学	2		2単位以上修得 すること		
		環境計画	2				
④建築設備 (2単位以上)	建築設備	建築設備	2		2単位必修		
⑤～⑦ 構造力学、建築一般構造 又は建築材料 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	構造力学Ⅰ	2	4単位以上修得 すること	4単位必修		
		構造力学Ⅱ	2				
	⑥建築一般構造 (3単位以上)	建築一般構造	2			4単位以上修得 すること	
		構造計画	2				
		伝統技法演習	2				
⑦建築材料	建築材料	2		2単位必修			
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	建築施工	2	2単位必修	2単位必修		
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	建築法規	2	2単位必修	2単位必修		
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	インテリア計画	2				
		インテリアエレメント	2				
				合計40単位以上 修得すること	合計60単位以上 修得すること		

※所定の科目を履修する事により1級、2級、木造建築士の受験資格が卒業後に得られる。

## 生活造形学科 衣料管理士(1級)に関する履修科目表

### ＜必修科目＞(すべて修得すること)

日本衣料管理協会指定科目		本学規定科目及び単位数		備考
材 料	被服繊維学	アパレル材料学1	2	
	被服材料学	アパレル材料学2	2	
	繊維学実験Ⅰ	アパレル繊維・材料学実験Ⅰ	2	
	材料学実験Ⅰ			
	繊維学実験Ⅱ	アパレル繊維・材料学実験Ⅱ	2	
	材料学実験Ⅱ			
	テキスタイルデザイン	テキスタイルデザイン実習	2	
加工・整理	被服整理学	アパレル管理学	2	
	染色加工学	アパレル染色学	2	
	被服整理学実験	アパレル染色整理学実験	2	
	染色加工学実験			
	工芸染色実習	工芸染色実習	2	
企画・設計 ・生産	アパレル企画論	アパレル企画論	2	
	アパレル設計論	アパレル設計学	2	
	アパレル設計実習	アパレル設計製図実習	2	
	アパレル生産実習	アパレル生産実習	2	
	アパレル生理衛生論	衣環境論	2	
	アパレルデザイン論	ファッションデザイン学	2	
	アパレルCAD実習	アパレルCAD実習	2	
	被服心理学	ファッション社会学	2	
	アパレル企画実習	アパレル企画実習	2	
	アパレルデザイン表現実習	ファッションデザイン学実習Ⅰ	2	
	(協会規定外科目)	アパレル体型学	2	
流通・消費	消費科学	消費科学	2	
	消費生活論	消費生活論	2	
	テキスタイルアドバイザー実習	テキスタイルアドバイザー実習	2	
	衣生活文化論	ファッション文化論	2	
	ファッションビジネス論	ファッションビジネス論	2	
	ファッション商品論	ファッションブランド論	2	



## 上級情報処理士及び情報処理士に関する履修科目表（現代社会学科）

### 上級情報処理士

区分	授業科目名	単位数
領域1	○ 情報リテラシー基礎	2
	情報学アプローチ	2
	プログラミング入門	2
	コンピュータ・ネットワークI	2
	コンピュータ・ネットワークII	2
領域2	○ 倫理学	2
	経営戦略論	2
	情報リテラシー応用	2
	○ アルゴリズム論	2
	市民活動論	2
	組織マネジメント論	2
	情報理論	2
	社会心理学	2
	情報ネットワーク	2
	統計学	2
	情報文明論	2
	データベース	2
	応用データベース	2
	Webシステムデザイン	2
	メディア文化論	2
	プロジェクト管理	2
	都市政策論	2
領域3	○ 社会情報学	2
	情報技術者の社会的責任	2
	環境政策論	2
	家族経済論	2
	環境開発論	2
	演習III	2
	演習IV	2
<b>○を付した科目は必修。 必修8単位を含めて合計24単位以上修得すること。</b>		

### 情報処理士

区分	授業科目名	単位数
領域1	○ 情報リテラシー基礎	2
	情報学アプローチ	2
	情報リテラシー応用	2
	プログラミング入門	2
	アルゴリズム論	2
	コンピュータ・ネットワークI	2
	コンピュータ・ネットワークII	2
	情報ネットワーク	2
	統計学	2
	データベース	2
	応用データベース	2
	Webシステムデザイン	2
領域2	○ 倫理学	2
	経営戦略論	2
	市民活動論	2
	組織マネジメント論	2
	社会心理学	2
	都市政策論	2
領域3	○ 社会情報学	2
	プロジェクト管理	2
	情報技術者の社会的責任	2
<b>○を付した科目は必修。 必修6単位を含めて合計16単位以上修得すること。</b>		

現代社会学科 社会調査士に関する履修科目表

社会調査士資格認定機構指定科目	本学規定科目及び単位数		
社会調査の基本的事項に関する科目	社会データ処理基礎	2	必
調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法Ⅰ	2	必
基本的な資料とデータの分析に関する科目	社会データ分析入門	2	必
社会調査に必要な統計学に関する科目	社会調査法Ⅲ	2	必
質的な分析の方法に関する科目	社会調査法Ⅱ	2	必
社会調査の実習を中心とする科目	ソーシャル・リサーチⅠ	2	選
	ソーシャル・リサーチⅡ	2	
	フィールド・ワークⅠ	2	選
	フィールド・ワークⅡ	2	

「ソーシャル・リサーチⅠ、Ⅱ」「フィールド・ワークⅠ、Ⅱ」どちらか一方4単位を選択必修とする。

情報処理士に関する履修科目表（現代社会学科以外）

区分	授業科目名	単位数	本学における科目区分
領域1	○ 情報リテラシー基礎	2	情報コミュニケーション科目
	情報リテラシー応用	2	
	情報コミュニケーションA	2	
	情報コミュニケーションB	2	
	情報コミュニケーションC	2	
	情報コミュニケーションD	2	
	情報コミュニケーションE	2	
	情報コミュニケーションF	2	
	情報コミュニケーションG	2	
	情報コミュニケーションH	2	
		情報文明論	2
	メディア文化論	2	
領域2	○ キャリア開発I	2	キャリア形成科目
	組織マネジメント論	2	諸課程履修科目
	社会心理学	2	
	市民活動論	2	
	都市政策論	2	
領域3	○ 社会情報学	2	諸課程履修科目
<p>○を付した科目は必修。 必修6単位を含めて合計16単位以上修得すること。</p>			

### 図書館司書に関する履修科目表

群	法定規定科目	本学規定科目及び単位数		備考	
甲群	生涯学習概論	生涯学習概論	2	必	<p>教育学科及び児童学科の学生は、「生涯学習概論」の履修にあたっては、専門科目の中の「生涯学習概論Ⅰ」を履修すること。</p> <p>「情報サービス演習」は、「情報サービス論」の単位を修得しなければ履修できない。</p> <p>情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱは、「情報資源組織論」の単位を修得しなければ履修できない。</p>
	図書館概論	図書館概論	2	必	
	図書館制度・経営論	図書館制度・経営論	2	必	
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	
	図書館サービス概論	図書館サービス概論	2	必	
	情報サービス論	情報サービス論	2	必	
	児童サービス論	児童サービス論	2	必	
	情報サービス演習	情報サービス演習	2	必	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	1	必	
情報資源組織演習Ⅱ		1	必		
乙群	図書館基礎特論	図書館基礎特論	2	選	<p>2科目4単位以上修得すること。</p> <p>「図書館実習」の履修についての条件は別に定める。</p>
	図書館サービス特論	図書館サービス特論	2	選	
	図書館情報資源特論	図書館情報資源特論	2	選	
	図書・図書館史	図書・図書館史	2	選	
	図書館施設論	図書館施設論	2	選	
	図書館総合演習	図書館総合演習	2	選	
	図書館実習	図書館実習	2	選	

### 学校図書館司書教諭に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目及び単位数		備考
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	必
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2	必
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必
情報メディアの活用	情報メディアの活用	2	必

## 学校司書に関する履修科目表

	規定科目	本学規定科目及び単位数			備考
学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目	学校図書館概論	学校経営と学校図書館	2	必	「情報サービス演習」は、「情報サービス論」の単位を修得しなければ履修できない。  情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱは、「情報資源組織論」の単位を修得しなければ履修できない。
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	1	必	
		情報資源組織演習Ⅱ	1	必	
	学校図書館サービス論	学校図書館サービス論	2	必	
	学校図書館情報サービス論	情報サービス論	2	必	
情報サービス演習		2	必		
児童生徒に対する教育支援に関する科目	学校教育概論	教育原論	2	必	「教育原論」「教育心理学」「教育課程論」の履修にあたっては、文学部、心理学科、家政学部、現代社会学部及び法学部の学生は諸課程履修科目より、教育学科及び児童学科の学生は専門科目より履修すること。 (児童学科の学生は、「教育心理学」にあつては、「教育心理学Ⅰ」を履修すること。)
		教育心理学	2	必	
		教育課程論	2	必	
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必	
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必	

日本語教師課程に関する履修科目表

(必修科目を含め、合計26単位以上修得すること。)

領域区分	本学規定科目及び単位数			備考		
社会・文化・地域	日本語教育入門	2	必	諸課程履修科目	全学共通科目	
言語と社会、言語と心理	言語と社会	2	必			
言語と心理、言語と教育	言語と心理	2	必			
言語と教育	言語と教育	2	必			
言語	日本語の構造	2	必			
言語と教育	日本語教育実習	2	必	(事前・事後指導を含む) 「日本語教育実習」は、「日本語教育入門」、「言語と教育」及び「日本語の構造」の単位を修得した者のみ履修することができる。	必修 20単位	
言語	英語 I A1	1	必	共通領域科目		
言語	英語 I B1	1	必			
言語と教育、言語	(初修外国語) I A1 (※1)	1	必			
言語と教育、言語	(初修外国語) I B1 (※2)	1	必			
言語と教育	情報リテラシー基礎	2	必			
言語	キャリア開発 I	2	必			
言語	ことばとコミュニケーション	2	選	学科・専攻開放科目		全学共通科目
社会・文化・地域、言語	中国文学史A	2	選	※文学部の学生は文学部共通専門科目として履修すること。		
社会・文化・地域、言語	中国文学史B	2	選			
社会・文化・地域	国文学史2A	2	選	学科・専攻開放科目		
社会・文化・地域	国文学史2B	2	選			
言語	国語史A	2	選	※国文学科の学生は国文学科専門科目として履修すること。		
言語	国語史B	2	選			
言語と社会、言語と心理、言語と教育、言語	多文化教育論	2	選	学科・専攻開放科目		
言語と教育	教育方法論 (※1)	2	選	※教育学専攻及び児童学科の学生は専門科目として履修すること。		
言語	生徒指導論 (※1)	2	選	諸課程履修科目		
社会・文化・地域、言語と社会	生涯学習概論 (※2)	2	選		(※1) 教育学科の学生は専門科目として履修すること。 (※2) 教育学科及び児童学科の学生は専門科目の「生涯学習概論 I」を履修すること。	
社会・文化・地域	国文学基礎講座A	2	選	国文学科専門科目 ※		
言語と社会、言語と教育、言語	入門演習A	2	選			
社会・文化・地域	国文学史1A	2	選			
社会・文化・地域、言語と心理、言語と教育、言語	漢文学A	2	選			
社会・文化・地域、言語と社会、言語と心理、言語と教育、言語	異文化理解基礎講義	2	選			
言語と心理	言語習得論	2	選	英文学科専門科目 ※		
言語と心理	比較文化研究1	2	選			
言語と社会	社会言語学	2	選			
社会・文化・地域、言語と社会	生涯学習概論 I	2	選	教育学科専門科目 ※		
社会・文化・地域、言語と社会、言語と教育	比較・国際教育論	2	選	教育学専攻専門科目 ※		
言語	幼児理解と教育相談	2	選			
社会・文化・地域、言語と社会	社会教育演習	2	選	児童学科専門科目 ※		
言語と心理、言語	発達支援演習	2	選			
社会・文化・地域、言語と社会	生涯学習概論 I	2	選	心理学科専門科目 ※		
言語と心理	学習・言語心理学B	2	選			
言語と教育	教育・学校心理学A	2	選	現代社会学科専門科目 ※		
言語	生徒指導心理学	2	選			
社会・文化・地域	国際結婚論	2	選	法学科専門科目 ※		
社会・文化・地域	マイノリティと法	2	選			
社会・文化・地域	多文化社会論	2	選			
社会・文化・地域	英米法 I	2	選			
社会・文化・地域	英米法 II	2	選			
社会・文化・地域	国際法 II	2	選			
社会・文化・地域	国際関係論	2	選			
社会・文化・地域	平和研究 I	2	選			
社会・文化・地域	平和研究 II	2	選			
合 計					26単位以上	

※各学科・専攻専門科目は当該所属の学生のみ履修可。

(注)本学が定める日本語教師課程は、文化庁が示す日本語教師養成課程の「副専攻課程」です。

## IV. 京都女子大学 履修要項

## 京都女子大学 履修要項

京都女子大学（以下「大学」という。）を卒業するために必要な単位の修得方法及び教育職員免許状その他の資格取得の所要資格を得るに必要な単位の修得方法、その他修学に必要な事項については、この要項の定めるところによる。

学生は本要項を熟知し、誤りのないようにしなければならない。

### 第1章 卒業の要件

#### （卒業の要件）

第1条 大学を卒業するためには、大学に4年以上在学し、その間に学科（専攻）ごとに定める教育課程に従って、授業科目を履修し合計132単位以上を修得しなければならない。

#### （卒業に必要な単位）

第2条 卒業に必要な科目及び単位数は、別表1「大学学則（以下「学則」という。）第13条別表」のとおりとする。

#### （履修方法）

第3条 前条に定める授業科目の履修方法は、それぞれ次のとおりとする。

#### (1) 仏教学

ア 1回生の前期及び後期、3回生の前期及び後期にそれぞれ開講される各2単位、合計8単位を必修とする。

イ 2回生の前期及び後期に開講されるアドバンスト科目は選択科目で、修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

#### (2) 言語コミュニケーション科目

ア 初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語）

a ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語のうち、1外国語の「IA1（基礎Ⅰ）」・「IB1（基礎Ⅱ）」・「IA2（実習Ⅰ）」・「IB2（実習Ⅱ）」各1単位4科目を履修し、合計4単位を修得しなければならない。

b 外国語検定等による単位認定も含め、「Ⅰ」の4単位すべてを修得した者は、当該外国語の「Ⅱ」を履修することができる。修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

c 「Ⅲ」を履修するためには、「Ⅱ」から「ⅡA1」を含む3科目の単位を修得していなければならない。修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

d 初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語）は、履修登録に先立って、指定された期日に予備登録をし、あらかじめ指定されたクラスで登録しなければならない。予備登録に際しては、「IRIS（イリス）」（「言語コミュニケーション科目」の手引き書）を参照すること。

#### イ 英語

a 英語「IA1」・「IA2」・「IB1」・「IB2」各1単位4科目を履修し、合計4単位を修得しなければならない。

b 英語「Ⅱ」・「Ⅲ」は選択科目で、指定された年次以降に自由に履修することができる。修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

c 英語「IA1」・「IA2」・「IB1」・「IB2」は、入学時に行うプレースメントテストの結果に基づき指定されたクラスで登録しなければならない。

ウ 本学入学前又は入学後に、文部科学大臣が定める英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の外国語検定等に合格又は規定の点数を取得した場合は、学則第19条の3及び第19条の4により、本学の授業科目に読み替え、単位を認定することができる。単位の認定等必要な事項は別に定める。

#### エ 語学研修科目

本学が行う語学研修に参加し、単位が認定された場合は、8単位までを卒業に必要な単位に含めることができる。履修登録、単位の認定等必要な事項は別に定める。

#### オ 外国人留学生の言語コミュニケーション科目履修

a 外国人留学生は、初修外国語として日本語（「日本語IA1」、「日本語IA2」、「日本語IB1」、「日本語IB2」）を履修することができる。

b 外国人留学生は、言語コミュニケーション科目として母語を履修することはできない。英語を母語とする外国人留学生は、「ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、日本語」より2外国語を選択し、それぞれにつき、IA1、IA2、IB1、IB2を修得して言語コミュニケーション科目の必修単位（合計8科目8単位）とする。

c 本学の「日本語プログラム科目」（学則別表3の2）を履修して

必要な単位を修得した場合は、当該修得単位を「日本語」の単位として認定することができる。

d 本学入学前に「日本語能力試験」又は「日本留学試験（日本語）」に合格又は規定の点数を取得した場合は、「日本語IA1」、「日本語IA2」、「日本語IB1」、「日本語IB2」の単位（合計4単位）に読み替え、認定することができる。

#### (3) 情報コミュニケーション科目

ア 「情報リテラシー基礎」2単位を必修とする。

イ 「情報リテラシー応用」2単位は選択科目で、修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

ウ 情報コミュニケーション科目のアドバンスト科目を履修する場合、「情報リテラシー基礎」の単位を修得しておかなければならない。修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

#### (4) 健康科学科目

ア 「運動と健康科学」2単位を必修とする。

イ 「スポーツ実践」1単位は選択科目で、修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。ただし、教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得しなければならない。

ウ 「スポーツ実践」を履修する者は、所定の期間内に別に定めるスポーツ実践実習費を納入しなければならない。

#### (5) 京女の教養学

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

#### (6) キャリア形成科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

#### (7) 連携活動科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

#### (8) 学科・専攻開放科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

#### (9) 他大学単位修得科目

ア 他の大学又は短期大学で修得した単位は学則第19条の2により、卒業に必要な単位に含めることができる。履修登録、単位の認定等必要な事項は別に定める。

イ 他の大学又は短期大学の授業科目の受講は、2回生から4回生前期の期間とする。

#### (10) 専門科目

ア 各学科（専攻）の教育課程に従い、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たしたうえで、72単位以上修得しなければならない。

イ 各学科（専攻）が指定する単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

#### (11) 本学入学前に大学等で修得した単位

本学入学前に大学又は短期大学で修得した単位は学則第19条の4により、本学の授業科目に読み替え単位を認定することができる。

2 第1項第2号ウ及び同第11号の規定により、本学入学前の本学以外での学修を本学の授業科目に読み替えて認定できる単位数は、あわせて60単位を上限とする。

3 第1項第2号ウ及び同第9号の規定により、本学入学後の本学以外での学修を本学の卒業に必要な単位に含めることができる単位数は、あわせて60単位を上限とする。

#### （諸課程履修科目）

第3条の2 資格等取得のために開講する「諸課程履修科目」で修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができず。

#### （副専攻プログラム）

第3条の3 学則第14条の2に規定する京都女子大学副専攻プログラムに関し必要な事項については、別に定める。

## 第2章 履修登録及び授業

#### （履修登録）

第4条 学生は、当該年度に履修しようとする授業科目について、あらかじめ指定された期日に、履修登録の手続きを行わなければならない。

2 授業科目の登録は、原則として当該学科（専攻）及び回生ごとに組



- まれた開講一覧表（時間割表）に従わなければならない。
- 前項の定めにかかわらず、他学部・他学科（専攻）の学科・専攻開放科目及び発達教育学部教育学科の各専攻において履修が認められている他専攻の科目については履修登録することができる。
  - 卒業要件として修得すべき単位のうち、1年間に登録できる授業科目の単位数の上限は49単位とする。ただし、校外実習・校外研修科目及び当該実習指導に関する科目、並びに卒業論文・卒業研究については、登録単位数の上限を超えて登録することができる。
  - 一度単位認定された授業科目は再登録できない。

#### （履修登録の修正）

第5条 履修登録後の追加・変更及び取り消しは、授業開始後の指定された期日に修正の手続きをした者についてのみ認める。

#### （授業の方法）

第6条 授業科目は、その授業方法により講義、演習（講読）、実験・実習又は実技に区分し、授業はそのいずれかにより行う。また、これらの併用により行う場合がある。

- 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

#### （単位の計算）

第7条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準による。（学則第17条）各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目の単位数については、論文等作成に必要な学修等を考慮して定める。

#### （必修科目・選択科目の区分）

第8条 授業科目は、その履修方法により必修科目及び選択科目（選択必修科目を含む。）に区分する。

#### （必修科目の再履修）

第9条 必修科目が不合格で単位が認定されなかった場合は、必ずその科目の単位が認定されるまで履修しなければならない。

#### （言語コミュニケーション科目の再履修）

第10条 言語コミュニケーション科目（英語を除く）の再履修については、別に定める。

#### （選択必修科目の再履修）

第11条 選択必修科目が不合格で単位が認定されなかった場合は、選択できる範囲内の科目を履修してこれに代えることができる。

#### （開講期間）

第12条 授業科目は、その開講期間により学則第11条に定める前期に開講する前期開講科目、後期に開講する後期開講科目及び前期、後期を通じて開講する通年開講科目に区分する。

- あらかじめ通年として開講されている授業科目は、通年受講しなければならない。

#### （受講）

第13条 受講に際しては、担当教員の出席簿に、出席・欠席・遅刻及び早退の記入をうけなければならない。

#### （出席日数）

第14条 当該授業科目の出席日数が、実験・実習・実技にあっては、開講日数の5分の4以下、その他にあっては開講日数の3分の2以下の者については、原則として単位認定は行わない。ただし、公欠及び忌引の期間は出席日数に含める。

- 削除

#### （公欠・忌引）

第15条 公欠又は忌引とは、次の各号のうち本学が認めた期間について適用する。

- 父母、配偶者又は子の死亡による忌引の期間
- 祖父母、兄弟、姉妹、曾祖父母、伯叔父母又は甥姪の死亡による忌引の期間

- 課程履修に伴う実習（介護等体験を含む。）の期間
- 就職試験の期日
- 学校保健法施行規則に定める伝染病治療の期日
- 団体等の学外活動の期間
- その他

#### （授業時間）

第16条 授業時間は、講時で表わし1講時を2時間と見なして計算する。講時配当時間は、次のとおりとする。

- |      |             |
|------|-------------|
| 1 講時 | 8:50～10:20  |
| 2 講時 | 10:35～12:05 |
| 3 講時 | 13:00～14:30 |
| 4 講時 | 14:45～16:15 |
| 5 講時 | 16:30～18:00 |
| 6 講時 | 18:10～19:40 |

## 第3章 試験

#### （試験）

第17条 学生は、履修登録を行った授業科目について、その担当教員の授業を受け、かつ、その指定するところから試験を受けなければならない。

- 前項の試験は、レポート等の提出をもってこれに代える場合がある。

#### （定期試験）

第18条 前条に定める試験のうち、本学が定める期間に行うものを定期試験という。

- 定期試験は、前期及び後期の各期末に行い、前期末に行うものを前期試験、後期末に行うものを学年末試験という。
- 定期試験は、前期開講科目については前期試験において、後期及び通年開講科目については学年末試験において実施する。ただし、通年開講科目にあっても、前期試験を実施する場合がある。

#### （受験資格）

第19条 定期試験は、所定の期日までに当該科目の履修登録を行った者のうち、第14条に該当しない者に限り受験資格を認める。

#### （受験心得）

第20条 受験に際しては、予め当該授業科目で定められた方法及び時間を厳正に守るものとし、試験場においては、すべて試験監督者の指示に従わなければならない。

#### （受験時の注意）

第21条 定期試験を受験する者は、試験場において次の規定を守らなければならない。

- 着席は、少なくとも一席おきとする。
- 学生証を机上に提示する。
- 筆記用具及び特別に持込みを許可されたもの以外は、すべて鞆等の中に収納する。
- 下敷の使用は、特に認められた場合を除き禁止する。
- 配布された答案用紙は、退室の際、必ず監督者に提出すること。

#### （仮学生証）

第22条 前条第2号に定める学生証を携帯していない者は、証明書発行センターにおいて仮学生証の交付を受けることができる。

#### （不正行為の禁止）

第23条 受験に際しては、一切の不正行為を厳禁する。

#### （不正行為者に対する処置）

第24条 不正行為者に対しては、当該試験科目の評価をDにする。  
2 学則第54条により懲戒されることがある。

#### （試験時間の重複）

第25条 同一時間に受験科目が重複するときは、定められた期間内に教務課へ申し出て、その指示を受けなければならない。

#### （レポート等の提出）

第26条 第17条第2項によるレポート等を提出する場合にあっては、提出期限を厳守しなければならない。

- 削除

#### （追試験）

第27条 定期試験が第15条又は次のいずれか一つに該当する事由により受験できなかった者で、第28条第1項に定める手続きを経て許可された者は、改めて追試験を受けることができる。

- 病気のために受験することができなかった者

- (2) 事故のために受験することができなかった者  
 (3) その他、やむをえざる事由により受験することができなかった者

**(追試験の手続)**

第28条 追試験を受けようとする者は、当該試験期間内に、所定の欠試験届に診断書又は事故証明書等、事由を証明する書類を添付して、副学長（教育・学生支援）に願い出て、その許可を受けなければならない。ただし、当該試験期間内に願い出ることが困難な特別な事情があった場合は、当該試験期間後3日以内に願い出れば期限内に願い出たものとみなす。

2 前項により追試験の受験を許可された者は、追試験受験願（教務課所定）に必要事項を記入し、教務課の承認を受けた後、所定の期間内に別に定める追試験料を納入しなければならない。

**(追試験の時期)**

第29条 追試験は、前期試験については9月、学年末試験については3月に実施する。

**(追試験の評価)**

第30条 追試験の成績評価方法は、正規の試験に準ずる。

**(再試験)**

第31条 卒業回生で、当該年度登録の卒業に必要な授業科目の単位のうち、未修得単位が最終的に6単位以内となり、かつ、卒業に必要な当該科目の採点結果が50点以上の者は、本学の指示する授業科目について第34条に定める手続を経たうえで、再試験を受けることができる。ただし、追試験受験科目については、これを適用しない。

**(再試験科目)**

第32条 前条に定める「本学が指示する授業科目」とは、当該年度登録の授業科目のうち、卒業の要件を満たすに必要な最低限度の科目で、かつ、当該科目の採点結果が50点以上、60点未満のものをいう。ただし、前期科目で該当する場合であっても後期に同一科目を再登録した場合、及び「他大学単位修得科目」については、これを適用しない。

**第33条 削除**

**(再試験の手続)**

第34条 再試験を受ける者は、再試験受験願（教務課所定）に必要事項を記入し、教務課の承認を受けた後、所定の期間内に別に定める再試験料を納入しなければならない。

**(再試験の時期)**

第35条 再試験は、3月に行う。  
 2 前項のほか、前期で卒業の要件を満たし得る者のみ9月に行う。

**(再試験の評価)**

第36条 再試験の合格者の評価は、Cとする。

**(規定の準用)**

第37条 第20条から第26条までの規定は、追試験及び再試験においてもこれを準用する。

**第4章 卒業論文又は卒業研究**

**(卒業論文又は卒業研究の履修登録)**

第37条の2 卒業論文又は卒業研究の履修登録は、第4条第1項の規定により、原則として最終学年の者で3年以上在学し、当該年度卒業が見込まれる者が行う。

**(論題の提出)**

第38条 卒業論文題目又は卒業研究題目は、卒業論文又は卒業研究の提出時に、指導教員の署名捺印した所定の用紙により、教務課に届け出るものとする。

**(卒業論文又は卒業研究の提出)**

第39条 文学部の卒業論文（英文学科は卒業研究）及び発達教育学部の卒業研究は最終学年の12月20日午後5時までに、家政学部の卒業研究は最終学年の1月20日午後5時までに、現代社会学部の卒業論文は最終学年の1月15日午後5時までに、法学部の卒業研究は最終学年の1月10日午後5時までに、教務課へ提出しなければならない。正当な理由がなく提出期限に遅れた場合は、受理されない。  
 2 4回生以上の学生で卒業論文または卒業研究の単位を修得せず、卒業延期となった者のうち、教務委員会の取り決めにより特に認められた場合に限り、最終学年前期（7月20日午後5時まで）にこれを提出し、単位の認定を受けることができる。

**(卒業論文又は卒業研究の試験)**

第40条 卒業論文試験又は卒業研究試験は、最終年次の学年で、所定の単位を修得した者について行う。

2 前項の試験は、審査及び試問（発表を含む。）によるものとする。

**第5章 単位認定及び成績**

**(成績評価と単位認定)**

第41条 授業科目の成績評価は、試験成績と平常成績を総合して判定し、上位よりSS、S、A、B、C及びDをもって表示し、C以上を合格として当該授業科目の単位を認定する。

種別	採点結果	成績評価	GP	判定の基準
合格	100点	SS	5.0	授業科目の目標を完全に達成している。
	90点～99点	S	4.0～4.9	授業科目の目標をほぼ完全に達成している。
	80点～89点	A	3.0～3.9	授業科目の目標を相応に達成している。
	70点～79点	B	2.0～2.9	授業科目の目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。
	60点～69点	C	1.0～1.9	授業科目の目標の最低限を満たしている。
不合格	G	G	—	100点法では評価できない科目の合格。
	D 0点～59点	D	0.0	授業科目の目標の最低限を満たしていない。
単位認定合格	N	N	—	他大学等で修得した単位。本学入学前に修得した単位。

- 文学部の卒業論文（英文学科は卒業研究）及び現代社会学部の卒業論文並びに法学部の卒業研究の成績評価は、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
- 発達教育学部及び家政学部の卒業研究の成績評価は、G、Dをもって表わし、Gを合格とする。
- 教職実践演習及び教育実習等の学外実習・研修にかかる授業科目の成績評価は、G、Dをもって表わし、Gを合格とする。
- 当該年度学費未納者については、単位認定を保留する。

**(成績の通知)**

第42条 履修した授業科目の成績は、履修登録までに本人に通知する。

2 前項による通知には、授業科目ごとの採点結果及び成績評価に加え、履修登録したすべての授業科目を対象として、それぞれの成績評価のGP（グレードポイント）から計算した単位あたりの平均値（GPA）を記入する。GPAの計算方法は別に定める。

第42条の2 GPAが一定基準を下回った者は、本学教員による面談を受けなければならない。

2 一定期間にわたり成績の改善が見られない者に対して、本学が別に定める方法により、学修上の指導または各種勧告（改善勧告、休学勧告、退学勧告のいずれか）を行う場合がある。

**(成績証明書の評語)**

第43条 本学で発行する成績に関する証明書は、単位を修得した授業科目について、第41条にもとづき、SS、S、A、B、C、G又はNの評語をもって記入する。

2 削除

**第6章 欠席・休学・復学・退学**

**(欠席届)**

第44条 正規の授業を引続き1週間以上3カ月以内欠席する場合は、所定の欠席届を学生支援課に提出しなければならない。

2 前項の欠席事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

3 3カ月をこえて、当該年度登録した授業科目のすべてを無断欠席した者は、学則第46条により除籍される。

**(休学願)**

第45条 学則第41条及び第42条に規定する休学の手続きは、所定の休学願を学生支援課に提出しなければならない。

2 前項の休学事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければ

らない。

(復学願)

第46条 学則第43条に規定する復学については、休学期間満了前に所定の復学願を学生支援課に提出しなければならない。

2 前項の休学事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

(退学願)

第47条 学則第44条に規定する退学については、所定の退学願を保証人連署のうえ、学生支援課に提出しなければならない。

2 学則第38条第2項に規定する他大学への転入学に際しては、退学願を学生支援課に提出しなければならない。

## 第7章 編入学及び転部・転科(転専攻)

(編入学)

第48条 学則第37条に規定する編入学の取扱いは、別に定める。

第49条 削除

(転部・転科・転専攻)

第50条 学則第40条に規定する転部・転科(転専攻)を希望する者は、所定の願書及び必要書類に検定料を添えて保証人連署のうえ、教務課に提出しなければならない。

2 転部・転科(転専攻)に関する内規は、別に定める。

## 第8章 科目等履修

(科目等履修)

第51条 学則第56条に規定する科目等履修の取扱いは、別に定める。

## 第9章 教職課程

(教職課程)

第52条 学則第24条に基づき、本学に教職課程を置く。

(規定の準用)

第53条 教職課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(教職に関する科目等の履修)

第54条 教育職員免許状取得の所要資格を得ようとする者の、教科及び教職に関する科目の単位の修得方法は、本学の定めるところによる。

2 教職実践演習(中・高)、教職実践演習(幼・小)、保育・教職実践演習(幼)、教職実践演習(栄養教諭)及び教職実践演習(養護教諭)は原則として最終学年の者で、各学科・専攻で実施する必要なすべての教職面談をうけ、かつ、教育実習の履修登録ができる者について、履修を許可する。

(履修制限)

第55条 各学年終了時に第42条第2項の規定により計算した累積GPAが「2.0」未満の者については、原則として教職課程の履修を制限する。

2 前項にくわえ、免許の種類・教科ごとに別に定める基準を満たさない者について、教職課程の履修を制限することがある。

(免許状の種類・教科)

第56条 学則第24条第3項に基づき、各学科(専攻)において所要資格を得ることのできる教育職員免許状の種類及び教科を次のとおり定める。

学部	学科・専攻	種類	教科
文学部	国文学科	中学校教諭一種免許状	国語
		高等学校教諭一種免許状	国語
	英文学科	中学校教諭一種免許状	外国語「英語」
		高等学校教諭一種免許状	外国語「英語」
	史学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史

発達教育学部	教育学科 教育学専攻	小学校教諭一種免許状	
		幼稚園教諭一種免許状	
	教育学科 養護・福祉教育 学専攻	特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者)(肢体不自由者) (病弱者)	
		中学校教諭一種免許状	保健
		高等学校教諭一種免許状	保健
		養護教諭一種免許状	
教育学科 音楽教育学専攻 児童学科	中学校教諭一種免許状	音楽	
	高等学校教諭一種免許状	音楽	
家政学部	食物栄養学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
		栄養教諭一種免許状	
	生活造形学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
現代社会学部	現代社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民
		高等学校教諭一種免許状	情報
法学部	法学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民

2 発達教育学部教育学科教育学専攻の者で、特別支援学校教諭一種免許状取得希望者は、免許状取得要領に基づき、基礎となる教諭の免許状を併せて取得しなければならない。

3 家政学部食物栄養学科の者で、栄養教諭一種免許状の取得希望者は、本学の定める管理栄養士に関する履修科目表に規定する科目及び単位を修得しなければならない。

4 第1項に定める以外の免許状取得のための他学部・他学科(専攻)における授業科目の履修については、教務課に申し出て許可を得なければならない。

5 前項により他学部・他学科(専攻)の授業科目を履修し、単位を修得した場合、単位認定はされるが卒業に必要な単位に含むことはできない。ただし、発達教育学部教育学科の各専攻において履修が認められている他専攻の科目についてはこの限りではない。

(教職課程履修費)

第57条 教職課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める教職課程履修費を納入しなければならない。

(他学部・他学科への聴講)

第58条 第56条第4項の規定により許可する場合は、第4条第2項の規定にかかわらず。

(教育実習)

第59条 教育実習及び中学校教育実習は、次表に定める先修条件科目を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に当該免許状取得の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

学部	学科・専攻	種類	教科	先修条件科目
文学部	国文学科	中学校教諭一種免許状	国語	教職論、教育原論、教育心理学、国語科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	国語	
	英文学科	中学校教諭一種免許状	外国語「英語」	教職論、教育原論、教育心理学、英語科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	外国語「英語」	
	史学科	中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(地理歴史分野)、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
発達教育学部	教育学科 教育学専攻	小学校教諭一種免許状		教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論
		幼稚園教諭一種免許状		
	教育学科 養護・福祉 教育学専攻	中学校教諭一種免許状	保健	教職論、教育原論、教育心理学、保健科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	保健	
	教育学科 音楽教育学専攻	中学校教諭一種免許状	音楽	教職論、教育原論、教育心理学、音楽科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	音楽	
	児童学科	幼稚園教諭一種免許状		教職論、教育原論、教育心理学I、人権教育論

家政学部	食物栄養 学科	中学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法Ⅰ、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法Ⅰ、人権教育論
	生活造形 学科	中学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法Ⅰ、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法Ⅰ、人権教育論
現代社会 学部	現代社会 学科	中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(地理歴史分野)、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	公民	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(公民分野)、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	情報	教職論、教育原論、教育心理学、情報科教育法Ⅰ、人権教育論
法学部	法学科	中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(地理歴史分野)、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	公民	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(公民分野)、人権教育論

- 2 教育実習及び中学校教育実習を履修する者は、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。
- 3 栄養教育実習は、次に定める6科目の単位を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に本学が定める管理栄養士に関する履修科目表に規定する科目及び単位、並びに栄養教諭一種免許状の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論、学校栄養実践論、学校栄養指導論

- 4 栄養教育実習を履修する者は、「栄養教育実習指導」を履修登録し、かつ、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。
- 5 養護教育実習は、次に定める4科目の単位を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に当該免許状取得の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論

- 6 養護教育実習を履修する者は、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。
- 7 特別支援学校教育実習は、次に定める4科目の単位を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に当該免許状ならびに基礎となる教諭の免許状の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

特別支援教育総論、知的障害者の生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、知的障害教育論

- 8 特別支援学校教育実習を履修する者は、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。
- 9 教育実習を履修する者のうち、教育実習委託費が必要となる者は、所定の期間内に別に定める教育実習委託費を納入しなければならない。
- 10 教育実習及び中学校教育実習を履修する者のうち、中学校教諭一種免許状外国語「英語」または高等学校教諭一種免許状外国語「英語」取得希望者は、別に定める基準を前年度までに満たさなければならない。

#### (教育実習の中止)

第60条 教育実習にあたっては、次の各号に掲げる事項をすべて満たさなければならないが、これに反する場合には実習を中止させることがあ

る。

- (1) 教員になる強い意志を有すること
- (2) 教育実習に耐え得る健康体であること
- (3) 本学の指示する諸規定及び実習校(園)の定める諸規定に従うこと

#### (介護等体験)

第60条の2 小学校及び中学校の教育職員免許状の取得を希望する者は、免許状取得に係る単位取得のほか、社会福祉施設等での7日間の介護等体験をしなければならない。

2 介護等体験を希望する者は、介護等体験の事前指導(オリエンテーションを含む。)に怠りなく出席し、本学の指示に従わなければならない。

3 介護等体験を希望する者は、所定の期間内に別に定める体験費等を納入しなければならない。

## 第10章 管理栄養士課程

### (管理栄養士課程)

第61条 学則第25条に基づき、本学に管理栄養士養成のための課程(以下「管理栄養士課程」という。)を置く。

### (規定の準用)

第62条 管理栄養士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

### (管理栄養士専門科目の履修)

第63条 家政学部食物栄養学科の者で、管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める管理栄養士に関する履修科目表及び栄養士に関する履修科目表によらなければならない。

### (管理栄養士課程実習費)

第64条 管理栄養士課程を履修し、給食運営校外実習の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める管理栄養士課程実習費を納入しなければならない。

### (給食運営校外実習事前事後指導)

第64条の2 給食運営校外実習を履修する者は、給食運営校外実習事前事後指導を履修しなければならない。

### (臨地実習事前事後指導)

第64条の3 臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)、臨地実習(給食経営管理論)及び臨地実習(公衆栄養学)を履修する者は、臨地実習事前事後指導を履修しなければならない。

### (校外実習・臨地実習)

第65条 校外実習及び臨地実習にかかる授業科目の履修は、それぞれ次に定める授業科目の単位をすでに修得し、かつ、当該授業科目にかかるオリエンテーションに怠りなく出席した者について、これを許可する。

#### 給食運営校外実習

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱの7科目

臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)及び臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、給食経営管理論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、臨床栄養学の9科目  
臨地実習(給食経営管理論)

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、給食経営管理論、臨床栄養学の9科目  
臨地実習(公衆栄養学)

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、給食経営管理論、臨床栄養学、公衆栄養学の10科目

2 前項の実習にあたり、本学の指示する諸規定及び実習施設の定める諸規定に反する場合には、実習を中止させることがある。

## 第11章 博物館学芸員課程

### (博物館学芸員課程)

第66条 学則第25条の2に基づき、本学に博物館学芸員養成のため

の課程（以下「学芸員課程」という。）を置く。

**(規定の準用)**

第67条 学芸員課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

**(学芸員関係科目の履修)**

第68条 文学部国文学科、同史学科、発達教育学部児童学科、家政学部生活造形学科及び現代社会学部現代社会学科の者で、学芸員資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める学芸員に関する履修科目表によらなければならない。

**(学芸員課程実習費)**

第69条 学芸員課程を履修し、「博物館実習Ⅱ」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める学芸員課程実習費を納入しなければならない。

**(博物館実習)**

第70条 博物館実習Ⅱは最終学年の者で、次に定める授業科目の単位をすでに履修し、かつ、当該年度中に所要資格取得のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

博物館概論、博物館資料論、博物館経営論、博物館情報論、博物館実習Ⅰ 以上5科目

## 第12章 社会教育主事課程

**(社会教育主事課程)**

第71条 学則第25条の3に基づき、本学に社会教育主事養成のための課程（以下「社会教育主事課程」という。）を置く。

**(規定の準用)**

第72条 社会教育主事課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

**(社会教育主事関係科目の履修)**

第73条 発達教育学部教育学科（教育学専攻・音楽教育学専攻）及び児童学科の者で、社会教育主事となる資格（「社会教育士」の称号）を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める社会教育主事に関する履修科目表によらなければならない。

**(社会教育主事課程実習費)**

第74条 社会教育主事課程を履修し「社会教育基礎実習」、「社会教育実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める社会教育主事課程実習費をそれぞれ納入しなければならない。

## 第13章 1級建築士及び2級・木造建築士養成課程

**(1級建築士及び2級・木造建築士養成課程)**

第75条 建築士法第14条第1号に定める1級建築士試験の受験資格並びに建築士法第15条第1号に定める2級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格を得るための養成課程（以下「建築士養成課程」という。）を置く。

**(規定の準用)**

第76条 建築士養成課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

**(建築士養成特別科目の履修)**

第77条 家政学部生活造形学科の者で、1級建築士試験及び2級建築士試験・木造建築士試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める1級建築士及び2級建築士・木造建築士に関する履修科目表によらなければならない。

**(1級建築士及び2級・木造建築士課程履修費)**

第78条 建築士の受験資格取得を目的として、建築士養成課程に次表のとおり「建築士養成特別科目」を置く。建築士養成特別科目をすべて履修する者は、所定の期間内に別に定める1級建築士及び2級・木造建築士課程履修費を納入しなければならない。

建築士養成特別科目	単位
建築法規	2
建築施工	2
空間デザイン実習Ⅳ A またはⅣ B	2

## 第14章 保育士課程

**(保育士課程)**

第79条 学則第25条の5に基づき、本学に保育士養成のための課程（以下「保育士課程」という。）を置く。

**(規定の準用)**

第80条 保育士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

**(保育士関係科目の履修)**

第81条 発達教育学部児童学科の者で、保育士となる資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める保育士に関する履修科目表によらなければならない。

**(保育士課程実習費)**

第82条 保育士課程を履修し、「保育実習Ⅰ」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める保育士課程実習費を納入しなければならない。

**(事前・事後指導)**

第83条 保育実習にかかる授業科目を履修しようとする者は、保育実習事前・事後指導（オリエンテーションを含む。）に怠りなく出席しなければならない。

**(保育実習)**

第84条 保育実習にかかる授業科目を履修することができる者は、次に定めるとりとする。

- (1) 「保育実習Ⅰ」については、2回生前期までに開講される保育士課程の必修科目すべてについて、単位修得又は履修登録している者。
- (2) 「保育実習Ⅱ」及び「保育実習Ⅲ」については、「保育実習Ⅰ」の単位を修得し、3回生前期までに開講される保育士課程の必修科目すべてについて、単位修得又は履修登録している者。

## 第15章 情報処理士課程

**(情報処理士課程)**

第85条 全国大学実務教育協会が認定する情報処理士養成のための課程（以下「情報処理士課程」という。）を置く。

**(規定の準用)**

第86条 情報処理士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

**(情報処理士関係科目の履修)**

第87条 情報処理士の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める情報処理士に関する履修科目表によらなければならない。

**(情報処理士資格申請手数料)**

第88条 情報処理士の資格を取得しようとする者は、所定の期間内に別に定める情報処理士資格申請手数料を納入しなければならない。

## 第16章 上級情報処理士課程

**(上級情報処理士課程)**

第89条 全国大学実務教育協会が認定する上級情報処理士養成のための課程（以下「上級情報処理士課程」という。）を置く。

**(規定の準用)**

第90条 上級情報処理士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

**(上級情報処理士関係科目の履修)**

第91条 現代社会学部現代社会学科の者で、上級情報処理士の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める上級情報処理士に関する履修科目表によらなければならない。

**(上級情報処理士資格申請手数料)**

第92条 上級情報処理士の資格を取得しようとする者は、所定の期間内に別に定める上級情報処理士資格申請手数料を納入しなければならない。

## 第17章 (第93条～第96条) 削除

### 第18章 社会調査士課程

(社会調査士課程)

第97条 一般社団法人社会調査協会が認定する社会調査士養成のための課程(以下「社会調査士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第98条 社会調査士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(社会調査士関係科目の履修)

第99条 現代社会学部現代社会学科の者で、社会調査士の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める社会調査士に関する履修科目表によらなければならない。

### 第19章 衣料管理士課程

(衣料管理士課程)

第100条 社団法人日本衣料管理協会が認定する衣料管理士(1級)養成のための課程(以下「衣料管理士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第101条 衣料管理士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(衣料管理士関係科目の履修)

第102条 家政学部生活造形学科の者で、衣料管理士の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める衣料管理士(1級)に関する履修科目表によらなければならない。

(衣料管理士資格申請手数料)

第103条 衣料管理士(1級)資格認定証の交付を受けようとする者は、所定の期間内に別に定める衣料管理士資格申請手数料を納入しなければならない。

## 第20章 (第104条～第108条) 削除

### 第21章 社会福祉士課程

(社会福祉士課程)

第109条 学則第25条の7に基づき、本学に社会福祉士養成のための課程(以下「社会福祉士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第110条 社会福祉士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(社会福祉士関係科目の履修)

第111条 発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻の者で、社会福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める社会福祉士に関する履修科目表によらなければならない。

(社会福祉士課程実習費)

第112条 社会福祉士課程を履修し、「ソーシャルワーク実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める社会福祉士課程実習費を納入しなければならない。

(ソーシャルワーク実習)

第113条 ソーシャルワーク実習は、「専門科目の必修科目」及び「社会福祉士に関する履修科目表に定める必修科目」のうち、2回生前期までに開講される科目の単位を修得したものにこれを許可する。

### 第22章 食品衛生管理者課程

(食品衛生管理者課程)

第114条 学則第25条の8に基づき、本学に食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成のための課程(以下「食品衛生管理者課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第115条 食品衛生管理者課程の履修にあたっては、第2章及び第3

章並びに第5章の規定を準用する。

(食品衛生管理者関係科目の履修)

第116条 家政学部食物栄養学科の者で、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する履修科目表によらなければならない。

### 第23章 図書館司書課程

(図書館司書課程)

第117条 学則第25条の4第1項に基づき、本学に図書館司書養成のための課程(以下「司書課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第118条 司書課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(司書科目の履修)

第119条 図書館司書となる資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める図書館司書に関する履修科目表によらなければならない。

(司書課程履修費)

第120条 司書課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める司書課程及び学校司書課程履修費を納入しなければならない。

(図書館実習費)

第120条の2 司書課程を履修し、「図書館実習」の受講を許可されたものは、所定の期間内に別に定める図書館実習費を納入しなければならない。

(図書館実習)

第120条の3 図書館実習の受講については、最終学年の者で、図書館司書に関する必修科目および「図書館総合演習」を履修済みであることを先修条件とするが、さらに図書館司書課程委員会の許可を必要とする。

### 第24章 学校図書館学講座

(司書教諭)

第121条 学校図書館法に定める司書教諭を養成するために、学校図書館学講座を開講する。

(学校図書館学講座)

第122条 司書教諭の資格を得ようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得するとともに、学校図書館司書教諭講習規程に基づく次の科目を履修し単位を修得しなければならない。

司書教諭講習規程に定める科目

科目	単位	必選の別
学校経営と学校図書館	2	必
学校図書館メディアの構成	2	必
学習指導と学校図書館	2	必
読書と豊かな人間性	2	必
情報メディアの活用	2	必

2 前項に定める単位の修得方法は、本学の定める学校図書館学講座要項によらなければならない。

(規定の準用)

第123条 学校図書館学講座の受講にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(学校図書館学講座受講料)

第124条 学校図書館学講座を受講する者は、所定の期間内に、別に定める受講料を納入しなければならない。

### 第25章 公認心理師課程

(公認心理師課程)

第125条 学則第25条の9に基づき、本学に公認心理師養成のための課程(以下「公認心理師課程」という。)を置く。

## (規定の準用)

第126条 公認心理師課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

## (公認心理師関係科目の履修)

第127条 発達教育学部心理学科の者で、公認心理師国家試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める公認心理師に関する履修科目表によらなければならない。

## (公認心理師課程実習費)

第128条 公認心理師課程を履修し、「心理実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める公認心理師課程実習費を納入しなければならない。

## (心理実習)

第129条 心理実習は、次に定める授業科目の単位をすべて修得したものについてこれを許可する。公認心理師の職責、心理学概論、臨床心理学概論、心理的アセスメント、心理学的支援法A、人体の構造と機能及び疾病、精神疾患とその治療、心理演習A（以上8科目）

## 第26章 スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程

## (スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程)

第130条 学則第25条の10に基づき、本学にスクールソーシャルワーカー養成のための課程（以下「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程」という。）を置く。

## (規定の準用)

第131条 スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

## (スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程関係科目の履修)

第132条 発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻の者で、スクールソーシャルワーカーの資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定めるスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程に関する履修科目表によらなければならない。

## (スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程実習費)

第133条 スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程を履修し、「スクールソーシャルワーク実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定めるスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程実習費を納入しなければならない。

## (スクールソーシャルワーク実習)

第134条 スクールソーシャルワーク実習は、別に定める条件を満たしたのものについてこれを許可する。

## 第27章 日本語教師課程

## (日本語教師課程)

第135条 学則第25条の10に基づき、本学に日本語教師養成のための課程（以下「日本語教師課程」という。）を置く。

## (規定の準用)

第136条 日本語教師課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

## (日本語教師関係科目の履修)

第137条 日本語教師課程修了証を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める日本語教師に関する履修科目表によらなければならない。

## (日本語教師課程実習費)

第138条 日本語教師課程を履修し、「日本語教育実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める日本語教師課程実習費を納入しなければならない。

## (日本語教育実習)

第139条 日本語教育実習の履修は、次に定める授業科目の単位をすべて修得した者について、これを許可する。  
日本語教育入門、言語と教育、日本語の構造（以上3科目）

## 第28章 学校司書課程

## (学校司書課程)

第140条 学則第25条の4の第3項に基づき、本学に学校司書養成のための課程（以下「学校司書課程」という。）を置く。

## (規定の準用)

第141条 学校司書課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

## (学校司書関係科目の履修)

第142条 学校司書課程修了証を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める学校司書に関する履修科目表によらなければならない。

## (学校司書課程実習費)

第143条 学校司書課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める司書課程及び学校司書課程履修費を納入しなければならない。

## 第29章 履修上の伝達事項

## (履修上の伝達事項)

第144条 履修上の伝達事項はすべて本学のポータルサイトに掲載する。

2 自己の責に帰すべき伝達事項の見落としとして不利益を蒙った場合には、本学は、その責を負わない。

## 附 則

- この要項は、昭和53年4月1日から施行する。
- この要項の改廃は、連合教授会又は短期大学部教授会の議を経て学長が行う。
- 昭和45年4月1日制定の「教務規則」は、廃止する。

## 附 則

この要項は、昭和56年6月24日から施行する。

## 附 則

- この要項は、昭和60年4月1日から施行する。
- 第65条の規定は、昭和60年度入学生より適用する。

## 附 則

1 昭和59年度以前に入学した者の卒業に必要な単位数

学科	区分	仏教学	一般教育科目	保健体育科目	外国語科目	基礎教育科目	専門教育科目	合計
国文学科		8	24	4	8	12	76	132
英文学科		8	32	4	8	4	76	132
東洋史学科		8	24	4	8	12	76	132
教育学科(初等)		8	32	4	8	4	76	132
教育学科(音楽)		8	36	4	8	0	76	132
食物学科		8	36	4	8	0	76	132
被服学科		8	36	4	8	0	76	132
児童学科		8	24	4	8	12	76	132

一般教育科目及び基礎教育科目は学科によって必要な単位数が異なる。自分の所属する学科の必要単位を修得すること。

## 附 則

- この要項は、昭和62年4月1日から施行する。
- 第65条の規定は、昭和62年度入学生より適用する。

## 附 則

この要項は、平成元年4月1日から施行する。

## 附 則

- この要項は、平成2年4月1日から施行する。
- この要項の改廃は、連合教授会の議を経て学長が行う。

## 附 則

この要項は、平成3年4月1日から施行する。

## 附 則

- この要項は、平成4年4月1日から施行する。
- 第5条、第16条、第31条、第32条第1項、第35条、第11章、第12章及び第13章の規定は、昭和61年度入学生より適用するものとし、他は従前のとおりとする。

## 附 則

- この要項は、平成5年4月1日から施行する。
- 第15条第3項、第41条第4項の規定は、昭和61年度入学生より適用するものとし、他は従前のとおりとする。

附 則

この要項は、平成6年4月1日から施行する。ただし、第39条、第41条第2項、第3項、第4項、第5項及び第6項の規定は、平成6年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第38条の規定は、平成7年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成8年4月1日から施行する。ただし、第37条の2の規定は、平成8年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この要項の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 この要項は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、本学入学前に大学又は短期大学で修得した単位の認定は、当分の間、次の各号に基づき取り扱うものとする。
  - (1) 本学入学前に大学又は短期大学で修得した単位は、当該科目の内容を精査のうえ、本学の授業科目の一に読み替え、単位認定できるものとする。
  - (2) 前号により認定できる単位の上限は16単位とする。
  - (3) 単位の認定を希望する者は、原則として入学年度の4月末日までに修得した大学又は短期大学の学業成績証明書及び当該科目の講義概要を記載した書類を添えて、教務部長に願出するものとする。
  - (4) 単位の認定は、教務委員会で整合の上、教授会の議を経てこれを行う。
  - (5) 第3号の定めにかかわらず、教務部長が教育上特に有益と認めるときは、平成13年度入学生にも適用できるものとし、その取扱いはいずれの号によるものとする。

附 則

この要項は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成17年4月1日から施行する。ただし、第28条及び第32条の規定は平成17年4月1日現在在籍している学生から適用し、第13章及び第18章の規定は平成16年度入学生から適用する。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第18章の規定は平成17年度入学生から適用する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第39条第2項の規定は、平成21年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。ただし、第6条第2項及び第3項の規定は、平成22年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。ただし、第120条の2及び第120条の3の規定は、平成24年4月1日現在在籍している学

生から適用する。

また、学芸員に関する履修科目表による本学規定科目及び単位数は、平成24年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第54条第2項の規定は、平成27年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。ただし、教育職員免許状に関する履修科目表による本学規定科目及び単位数は、平成27年度入学生から適用する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第13号連携活動科目及び別表1については、平成27年度入学生から適用する。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

別表1  
教育課程及び履修方法

1 卒業に必要な単位

領域	科目区分	卒業要件単位数	
		必修	選択
共通領域	仏教学	8単位	6単位以上
	言語コミュニケーション科目	8単位	
	情報コミュニケーション科目	2単位	
	健康科学科目	2単位	
	京女の教養学 キャリア形成科目	—	
	連携活動科目	—	
	学科・専攻開放科目	—	
	他大学単位修得科目	—	
共通領域 計	20単位	6単位以上	
専門領域	専門科目	72単位以上	
合 計		132単位	







